SHARP®

取扱説明書

デジタルハイビジョンレコーダー

形名 DV-ARW22（ディー ブイ エー アール ダブル）
DV-ARW25

1. 接続・準備編

はじめにお読みください。
操作については別冊の取扱説明書 2. 操作編 をご覧ください。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。（7ページ）
- この取扱説明書および別冊の取扱説明書 2. 操作編 は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

はじめに
本機の付属品や、本機を正しくお使いいただくための注意事項について説明しています。

接続・準備
アンテナ・テレビ・外部機器との接続のしかた、リモコンと本機の準備について説明しています。

設定
時計合わせ、初期設定、接続設定、チャンネル設定など、本機をお使いになる前に必要な設定について説明しています。

ディスクについて
本機で使用するHDD（ハードディスク）とDVDディスクについて説明しています。

その他
接続や設定の補足説明や、よくあるお問い合わせ、索引など、便利な情報のページです。

最初にお読みください

- 取扱説明書は4冊あります。
  - 取扱説明書に記載しております 1. 接続・準備編 は本書を指します。
  - 取扱説明書に記載しております 2. 操作編 は別冊の取扱説明書「2.操作編」を指します。
  - 別冊の「接続・設定ガイド」は、接続と設定の基本的な手順を説明しています。
  - 別冊の「かんたん!!ガイド」は、録画、再生、予約録画の基本的な操作について説明しています。
- 最初に本書 1. 接続・準備編 をお読みになってから 2. 操作編 をお読みください。

- 取扱説明書では、「デジタルハイビジョンレコーダー　DV-ARW22／DV-ARW25」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。

- 1. 接続・準備編 では、本機の接続方法と、最初に必要な設定を説明しています。

1 箱に入っているものを確認しよう
- 付属品を確認する

3 ページ

2 接続しよう
- アンテナ、ケーブルテレビ（CATV）ボックス、テレビ、ビデオ機器、オーディオ機器などと接続する

16〜41 ページ

3 本機を使うための準備をしよう
- 本機の電源プラグをコンセントにつなぐ
- リモコンの準備をする
- B-CASカードをセットする
- 本機の電源を入れる

42〜46 ページ

4 設定しよう
- 初期設定とかんたん設定をする

> 接続後、初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。初期設定およびかんたん設定を行ってください。設定を行わないと本機の操作ができません。

- 時計を合わせる
- リモコン番号の設定をする
- テレビのメーカー指定をする
- VHF／UHF（地上アナログ放送）の設定をする
- デジタル放送の設定をする
- 双方向通信の設定をする

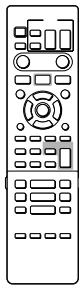
48〜110 ページ

5 ディスクの基本を知ろう
- 本機で使えるディスクやディスクの持ちかたなどを知る

112〜120 ページ

付属品

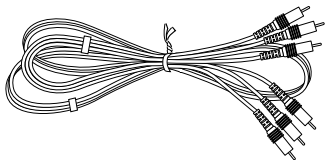
- 箱を開けて、本機とつぎの付属品が揃っているか確認してください。
- B-CASカードは開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。
  開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

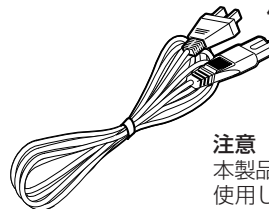
リモコン×1個、単4形乾電池×2個

使いかた→42ページ

B-CASカード×1枚

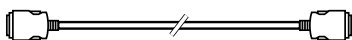
使いかた→43ページ

（B-CASカードユーザー登録はがき、B-CASカード使用許諾契約約款付き）

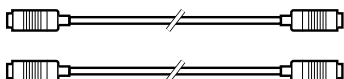
映像・音声コード（約1m20cm）×1本

電源コード（約2m）

使いかた→42ページ

注意
本製品以外にこの電源コードを使用しないでください。

D映像ケーブル（約1m50cm）×1本

コンポーネントビデオコード（D-D）

電話線（10m）×1本、モジュラー分配器×1個

使いかた→95ページ

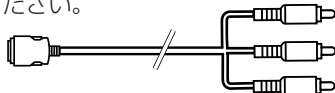
アンテナケーブル（約1m20cm）（両側F接栓ケーブル）×2本

保証書

- 本機の保証書は、本機の梱包箱に貼り付けています。

テレビとつなぐときに使う映像ケーブルについて

- S映像入力端子付きテレビと接続するときは、市販のS映像コードをお使いください。

- D映像入力端子付きテレビと接続するときは、付属のD映像ケーブル（D-D）をお使いください。

- コンポーネント入力端子付きテレビと接続するときは、市販のコンポーネントビデオコード（D-3ピン）をお使いください。

- HDMI入力端子付きテレビと接続するときは、市販のHDMIケーブル（Aタイプ）をお使いください。

もくじ

はじめに

接続・準備

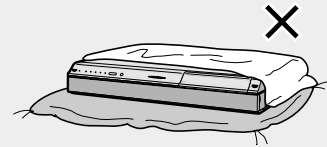
設定

ディスクについて

その他

本機の取り扱いに関するご注意とお知らせ

設置時のお願い

- 本体後面にある冷却ファンや通風孔をふさがないでください。冷却ファンや通風孔をふさぐと放熱の妨げとなり、故障の原因となります。

使用時のお知らせ

- 本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
- 「設置調整」の「アンテナ設定」で「電源・受信強度表示」のBS・CSアンテナ電源を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体やキャビネットが多少温かくなります。
- 「使用上のご注意」（**12～14**ページ）もご覧ください。

本機をお使いになる前に、必ず設定をしてください

- 接続（**16～41**ページ）と準備（**42～46**ページ）が終わったら、必ず初期設定およびかんたん設定（**48～57**ページ）を行ってください。設定を行わないと、本機の操作が行えません。
- 後から設定し直すときは、**58～110**ページをご覧になり、必要な設定を行ってください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

- **デジタル放送への移行スケジュール**

  地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年末までに全国で放送が開始される予定です。受信可能エリアは、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

- **アナログ放送受信チューナー内蔵の録画機器でデジタル放送を録画するには**

  別売りのデジタルチューナーまたはデジタルチューナー内蔵テレビと、お手元の録画機器を接続することにより、デジタル放送を録画していただけます。ただし、録画機器の種類により、接続方法は異なります。また、録画機器により録画画質は異なります。番組によっては、著作権保護の目的により、録画や一度録画した番組のダビングができない場合があります。

本機の電源について

- 衛星からの情報をHDD（ハードディスク）に取り込むため、電源プラグは差し込んだままにしてください。
- 移動などで電源プラグを抜く場合は、HDD（ハードディスク）保護のため、クイック起動設定を「しない」に設定してから電源を切った状態（本体の待機ランプが赤色点灯後、約2分程度待ってから）で行ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数十秒程度は動作しない場合があります。
  また、テレビ画面にディスク確認中を示す表示が出たときは、ディスクの状態の確認に10分以上かかる場合があります。
- 電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
- 電源を切っていても次のような場合は内部の電源が入っているため、本体内部の冷却ファンが回転します。
  - 電子番組表データの取得中は、本体内部の電源が入った状態となります。
  - 「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「デジタル番組表設定」で「番組表取得設定」が「する」に設定されているときは、電源を切ると番組表データを取得するため約30分本体内部の電源が入った状態となります。
  - 「スタートメニュー」－「各種設定」－「管理設定」－「クイック起動設定」が「する（設定1）」または「する（設定2）」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。
  - 本機がB-CASカードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

安全にお使いいただくために

- 「安全にお使いいただくために」は使う前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。
- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

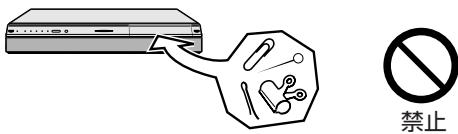
電源プラグを抜く

- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

内部に物や水などを入れない

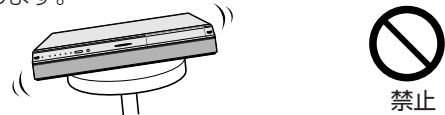
- 本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

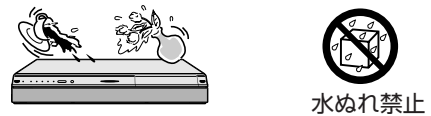
電源プラグを抜く

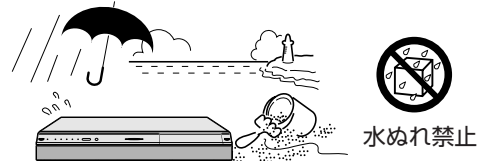
不安定な場所に置かない

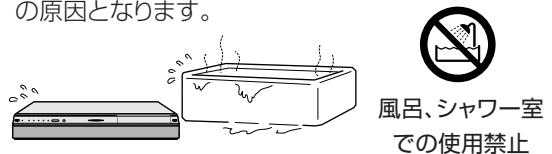
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

- 水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

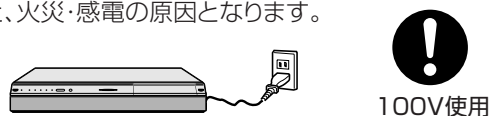
水ぬれ禁止

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V使用

次ページへつづく ▶▶▶

⚠警告

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない

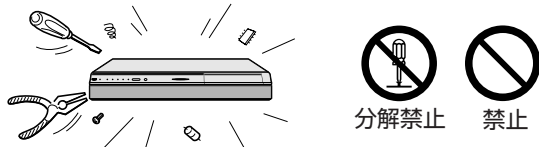
● 感電の原因となります。

接触禁止

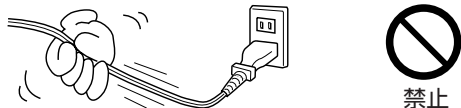
キャビネットは絶対に開けない

● 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

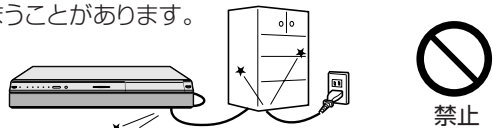
● 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止
禁止

電源コードを破損するようなことはしない

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

● そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

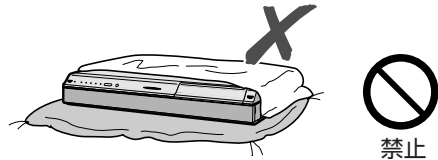
ほこりを取る

⚠注意

本機の通風孔をふさがない

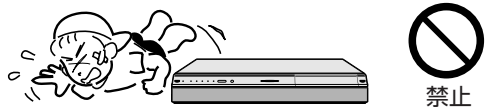
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。

● 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。

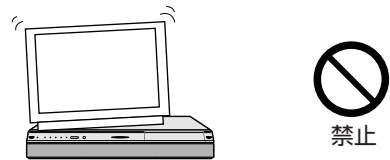
● テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

● あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

重いものを置かない

● 本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

● 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

● ディスクトレイの上にものを置かないでください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

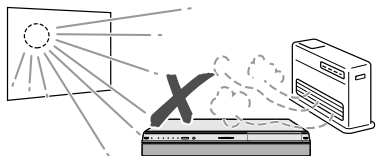
⚠ 注意

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

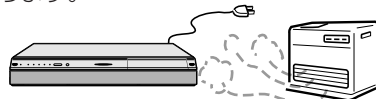
- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない

- コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

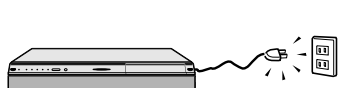
- 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行なってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

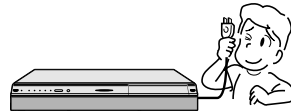
- 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
- 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

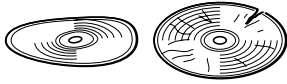
ディスクトレイ開閉口に手を入れない

- 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

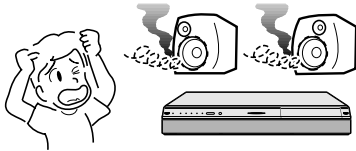
指のケガに注意

⚠ 注意

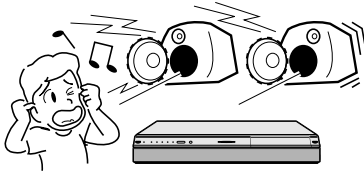
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

- 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

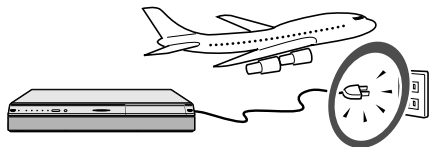
長時間、音が歪んだ状態で使わない

- スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

- 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

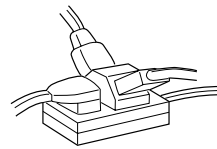
- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

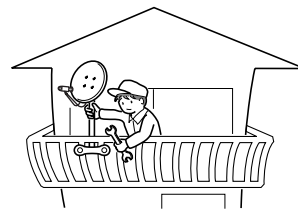
- 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店などにご相談ください。

注意

タコ足配線をしない

- 感電･火災の原因となることがあります。

禁止

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、電気工事店などにご相談ください

- 送配電線から離れたところに設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

ご相談ください

⚠ 注意

電池についての安全上のご注意

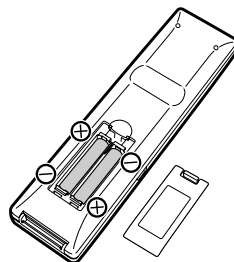
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

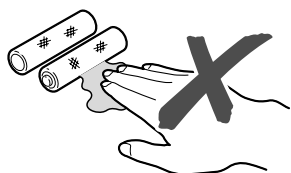
- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

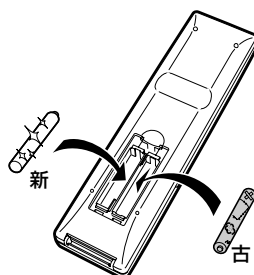
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

表示どおりに入れる

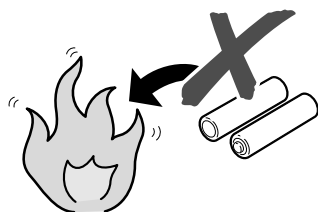
電池の液が漏れたときは素手でさわらない

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

禁止

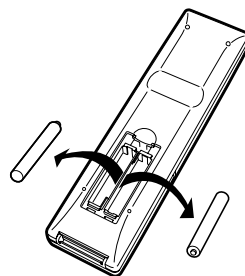
指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を取り出す

- お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

重要 必ずお読みください

■ 大切な録画の場合は……… 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。大切な映像はHDD(ハードディスク)に録画したままではなく、DVD(DVD-RW/-R)ディスクにダビング保存しておくことをおすすめします。

■ 録画(録音)内容の補償はできません…………… 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償については、ご容赦ください。

■ 著作権について……………… あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、著作権保護のための信号が記録されている放送番組の録画・録音はできません。

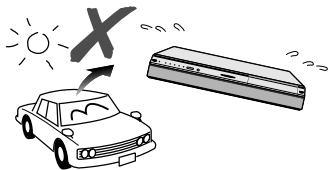
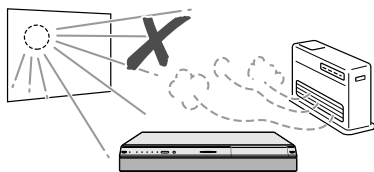
■ 録画防止機能について…… 本機は、複製防止機能(コピーガード)を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

■ 保証について………………… 本機を分解しますと、保証が無効になります。

ご注意

• お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

高温の場所で使用しないでください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

雨天・降雪中でのご使用の場合は

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機を濡らさないようにご注意ください。

本体後面のファンや通風孔をふさがないでください

- 本体を設置する際は、本体後面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台やAVラック等に収納して設置するときはご注意ください。
- 毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

- 不安定な場所や振動の多い場所やほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

設置するときは水平に置いてください

- 立てて置いたり、逆さまにするなどしたときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

- 本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
- 本機の上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。
- ディスクトレイの上に物を置かないでください。

取扱いはていねいに

- 落下させたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。持ち運びや移動の際にもご注意ください。

引っ越しや輸送のときは

- ディスクを取り出してから梱包してください。
また、ふだんご使用にならないときも、ディスクを取り出してから、電源を切ってください。

接続機器について

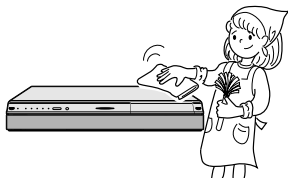
- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」もよくご覧ください。

結露（つゆつき）について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

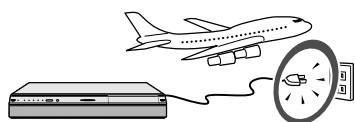
- キャビネットやリモコンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れはネルなど柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

磁気について

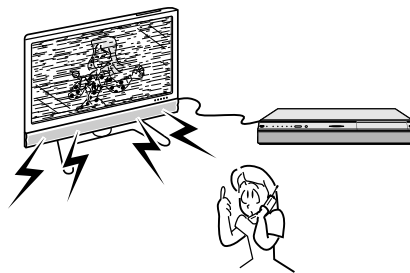
- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

節電について

- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電磁波妨害について

- 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- BS・CSアンテナ用のケーブルは、必ず専用品を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、電気工事店などにご相談ください。

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはIC（集積回路）が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して差し込んでください。

国外では使用できません

- 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

次ページへつづく ▶▶▶

HDD（ハードディスク）について

- 本機は、HDD（ハードディスク）に番組を記録します。HDD（ハードディスク）には衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、つぎの点に特にご注意ください。
  - 衝撃を与えないでください。
  - 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
  - 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
  - 録画中や再生中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源を「切」にしてから電源プラグをコンセントから抜き差ししてください。
  - 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
  - 寒い場所（5℃以下）や極端に暑い場所（35℃以上）での使用は、故障の原因となります。
  - 寒いところから暖かい部屋に持ちこんで使用する場合は、しばらく放置してからお使いください。
  - 極端に寒い場所で本機を使用するときは、HDD（ハードディスク）保護のため（暖機のため）にHDD（ハードディスク）の準備が必要です。電源を入れてから使用できるまで、しばらく時間がかかります。
    HDD（ハードディスク）の保護のため、使用温度範囲内でのご使用をお願いいたします。
- HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。大切な録画内容は、DVD-RW/-Rディスクにダビングして保存しておくことをおすすめします。
- 万が一何らかの原因でHDD（ハードディスク）が故障した場合、ご自分で交換することはできません。
  本機を分解しますと、保証が無効になります。お早めにお買い上げの販売店、またはもよりのシャープ修理相談センター（2. 操作編 **207**ページ）にご連絡ください。
  なお、データが消失した場合、または録画・録音されなかった場合のデータ内容の補償については、ご容赦ください。（HDD（ハードディスク）が故障した場合、録画内容の修復はできません。）
- 「HDD（ハードディスク）について」（**113**ページ）もあわせてご覧ください。

著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビーデジタルステレオクリエーターによって、ドルビーデジタルの目の覚めるような音質でステレオ音声のDVDビデオを作成することができるようになります。
  この技術をPCM記録の代わりに用いることで記録容量を節約することが可能となり、その結果、より高い解像度（ビットレート）の映像、または、より長い記録時間を実現することが可能になります。
  ドルビーデジタルステレオクリエーターを用いてマスタリングしたDVDは全てのDVDビデオプレーヤーで再生することが可能です。
  注:使用した記録型DVDに対してプレーヤーが互換性を持っている場合。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

G-CODE®

- Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
- Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

G-GUIDE®

- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
- Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- 米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

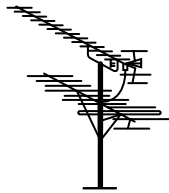
接続・準備

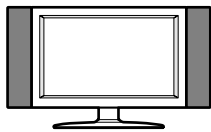
もくじ　　ページ

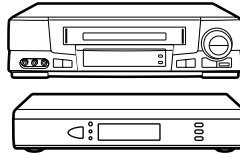
各入出力端子とおもな接続機器

■ 各入出力端子にケーブルなどを接続するときは、ケーブルなどの接続端子を各入出力端子の奥までしっかり差し込んでください。

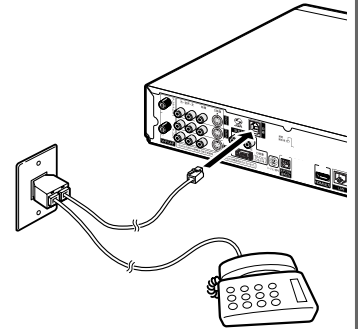
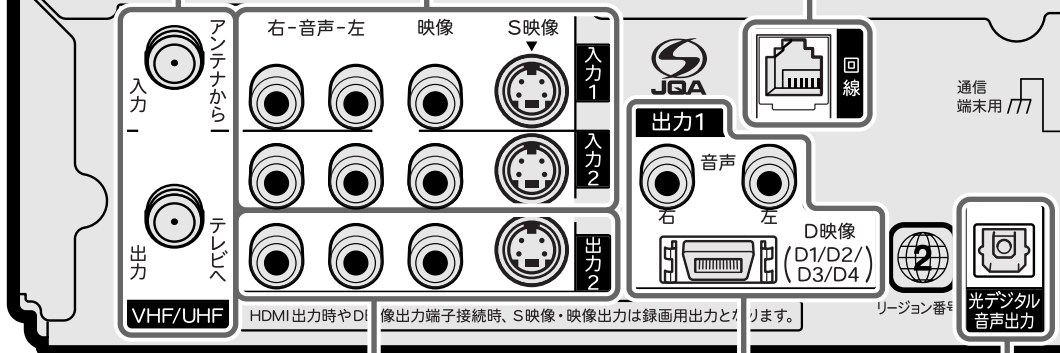
VHF/UHF アンテナから入力端子

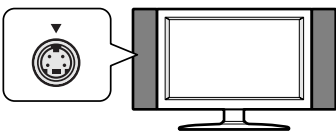
ご家庭のアンテナ端子、またはテレビに接続されていたアンテナ線を接続します。（**22**～**24**・**27**～**32**ページ）

VHF/UHF テレビへ出力端子

テレビのVHF/UHFアンテナ端子に接続します。（**22**～**24**・**27**～**32**ページ）

入力1/入力2 端子

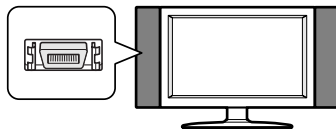
■S映像入力端子
■映像・音声入力端子
ケーブルテレビ（CATV）ボックス、ビデオデッキなどの機器と接続します。（**33**・**39**ページ）

※S映像出力端子のある機器と接続したときは、S映像コード（市販品）と、音声コード（付属品または市販品）を接続します。

電話回線端子

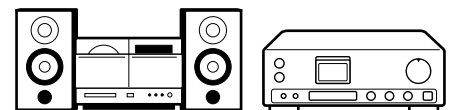
デジタル放送の双方向番組に参加したり有料番組を視聴したいときは、付属の電話線を接続します。（**95**ページ）

▶本機後面

出力2端子

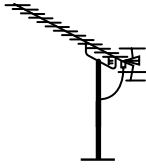
■S映像出力端子
■映像・音声出力端子
おもにテレビと接続します。（**37**ページ）

※S映像入力端子のあるテレビと接続するときは、S映像コード（市販品）と、音声コード（付属品または市販品）で接続します。

出力1端子

■D映像出力端子
D映像入力端子（コンポーネント映像入力端子）のあるテレビと接続します。（**34**・**35**ページ）
※接続するときは、D映像ケーブル（コンポーネントビデオコード／D-Dタイプ、付属品）と、音声コード（付属品または市販品）で接続します。

■音声出力端子
D映像出力端子に接続したとき、音声コードを接続します。

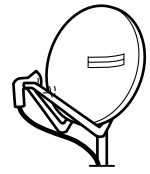
光デジタル音声出力端子

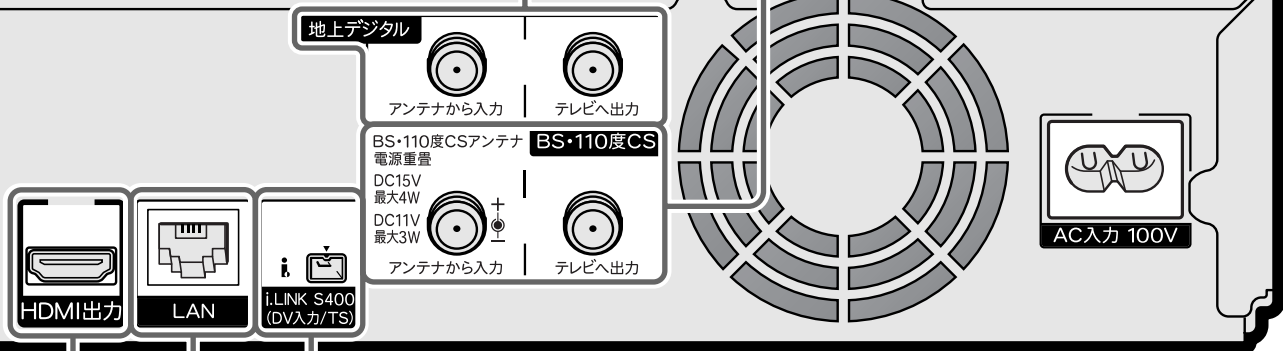
光デジタル入力端子のあるAVアンプ、MDデッキ、オーディオデコーダーなどの機器と接続します。（**41**ページ）
※接続するときは、光デジタルケーブル（市販品）で接続します。

地上デジタル アンテナから入力端子

UHFアンテナ端子を接続します。
（**23**・**24**・**29**〜**31**ページ）

地上デジタル テレビへ出力端子

- テレビのアンテナ端子に接続します。
（**23**・**24**・**31**ページ）
- 地上デジタル放送と地上アナログ放送の両方を受信したいときは、地上デジタルアンテナ出力端子をVHF/UHFアンテナ入力端子に接続します。
（**23**ページ）

BS・110度 CS アンテナから入力端子

BS・110度CS共用アンテナを接続します。
（**25**〜**31**ページ）

BS・110度 CS テレビへ出力端子

テレビのBS・110度CSアンテナ入力端子に接続します。
（**26**・**28**・**30**・**31**ページ）

HDMI出力端子

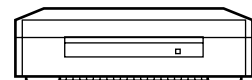
映像と音声のデジタル信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。（**36**ページ）

LAN端子

デジタル放送の双方向通信に使う端子です。
インターネット接続環境があるご家庭で使用する場合などにLAN接続を行うと、電話回線に比べてより速い通信が可能となります。
（**107**ページ）

i.LINK（DV入力／TS）端子

D-VHSビデオデッキなどと接続します。

■D-VHSビデオデッキを接続
（2. 操作編 **146**ページ）

※ CSチューナーなどのi.LINK（TS）端子と本機のi.LINK（TS）端子は接続できません。

■HDVカメラを接続
（2. 操作編 **154**ページ）

■DV端子付きデジタルビデオカメラを接続
（2. 操作編 **156**ページ）

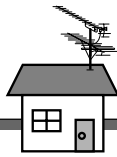
接続のながれ

■ここでは、個人でアンテナを設置している場合の接続のながれを説明します。

ステップ1 アンテナを接続しよう

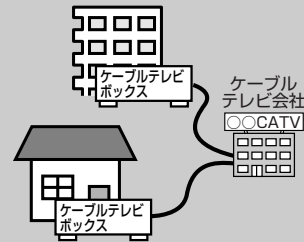
個人でアンテナを設置しているとき

アンテナの種類は？

- **BS・110度CS共用アンテナを設置していない。**（VHF/UHFのみ設置）
  - BS放送は視聴していない
  - **地上デジタル放送は？**
    - 放送されていない → **テレビのタイプは？**
      - VHF/UHF（地上アナログ） → 22ページ
    - 視聴する → **テレビのタイプは？**
      - VHF/UHF（地上アナログ） → 23ページ
      - 地上デジタルチューナー内蔵 → 24ページ
- **BS・110度CS共用アンテナを個人で設置した。**（VHF/UHF信号とBS信号が、別々の端子で受信できる）
  - アンテナが別々
  - BS　VHF/UHF　部屋のアンテナ端子
  - **地上デジタル放送は？**
    - 放送されていない → **テレビのタイプは？**
      - VHF/UHF（地上アナログ） → 22ページと25ページ
      - BS・110度CSデジタルチューナー内蔵またはアナログBSチューナー内蔵 → 22ページと26ページ
    - 視聴する → **テレビのタイプは？**
      - VHF/UHF（地上アナログ） → 23ページと25ページ
      - BS・110度CSデジタルチューナー内蔵またはアナログBSチューナー内蔵 → 23ページと26ページ
      - 地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵 → 24ページと26ページ

ご覧になるページ

ステップ2 テレビと接続しよう（映像・音声コードで接続）

ステップ3 その他の機器を接続しよう

- ビデオデッキを接続して使いたい → 38ページの接続をしましょう。
- オーディオ機器を接続して使いたい → 40ページの接続をしましょう。

34ページの
接続をしましょう。

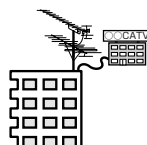
■ここでは、集合住宅などでアンテナが共聴タイプの場合の接続のながれを説明します。

ステップ1 アンテナを接続しよう

集合住宅などでアンテナが共聴タイプのとき

アンテナの種類は？

共聴タイプのアンテナ設備だがBS放送は配信されていない。また、個人でもBS・110度CS共用アンテナは設置していない。（BS放送は視聴していない）

- 地上デジタル放送は？
  - 放送されていない → テレビのタイプは？
    - VHF/UHF（地上アナログ） → 22ページ
  - 視聴する → テレビのタイプは？
    - VHF/UHF（地上アナログ） → 23ページ
    - 地上デジタルチューナー内蔵 → 24ページ

BS・110度CS共用アンテナを個人で設置した。

- 地上デジタル放送は？
  - 放送されていない → テレビのタイプは？
    - VHF/UHF（地上アナログ） → 22ページと25ページ
    - BS・110度CSデジタルチューナー内蔵またはアナログBSチューナー内蔵 → 22ページと26ページ
  - 視聴する → テレビのタイプは？
    - VHF/UHF（地上アナログ） → 23ページと25ページ
    - BS・110度CSデジタルチューナー内蔵またはアナログBSチューナー内蔵 → 23ページと26ページ
    - 地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵 → 24ページと26ページ

ご覧になるページ

ステップ2 テレビと接続しよう（映像・音声コードで接続）

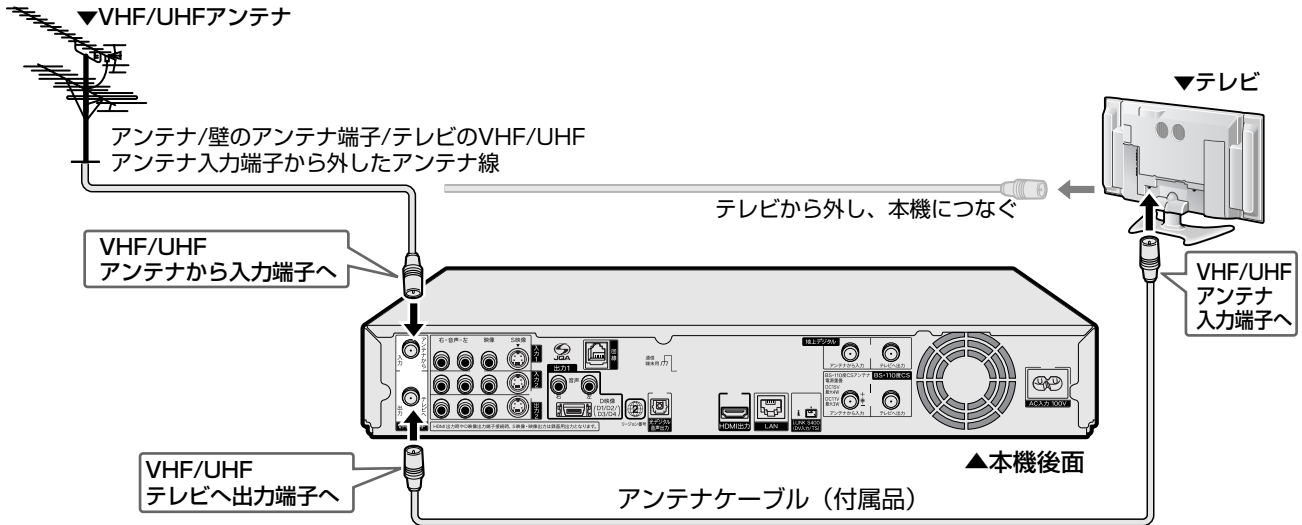
ステップ3 その他の機器を接続しよう

- ビデオデッキを接続して使いたい 38ページの接続をしましょう。
- オーディオ機器を接続して使いたい 40ページの接続をしましょう。

34ページの
接続をしましょう。

アンテナ線を接続しよう

■ 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
■ アンテナケーブルの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

VHF／UHF（地上アナログ）放送を見る場合の接続（基本的な接続）

部屋のアンテナ端子や、テレビから外したアンテナ線、テレビのアンテナ入力端子の種類によりアンテナ線の加工が必要となります。下記を参考に本機やテレビと接続します。

VHF/UHFアンテナ線と本機との接続

本機のアンテナから入力端子へ接続します。

■テレビから外したアンテナ線
（F型コネクター付きのとき）
そのまま接続します。

（F型コネクターなしのとき）
アンテナ線接続プラグ（別売品または市販品）を取り付けます。

（平行フィーダー線のとき）
アンテナ線接続プラグ（別売品または市販品）を取り付けます。

■VHF/UHFが別々のアンテナ線
混合器（市販品）を取り付けます。

■部屋のアンテナ端子
VHF/UHF

VHFまたはUHF
平行フィーダー線
アンテナ整合器（市販品）

VHFとUHF
U/V混合器（市販品）

アンテナから 入力
テレビへ 出力
VHF/UHF

アンテナ線との接続が終わったら、テレビと接続します。

本機とテレビとの接続

本機のテレビへ出力端子へ接続します。

※テレビの端子の図は一例です。テレビによってアンテナ端子の形状が異なります。

■VHF/UHF混合のテレビの場合
付属のアンテナケーブルをそのまま接続します。
テレビの端子 VHF/UHF

■VHF/UHF端子が別々のテレビの場合
分波器（市販品）を取り付け、接続します。
テレビの端子 VHF UHF

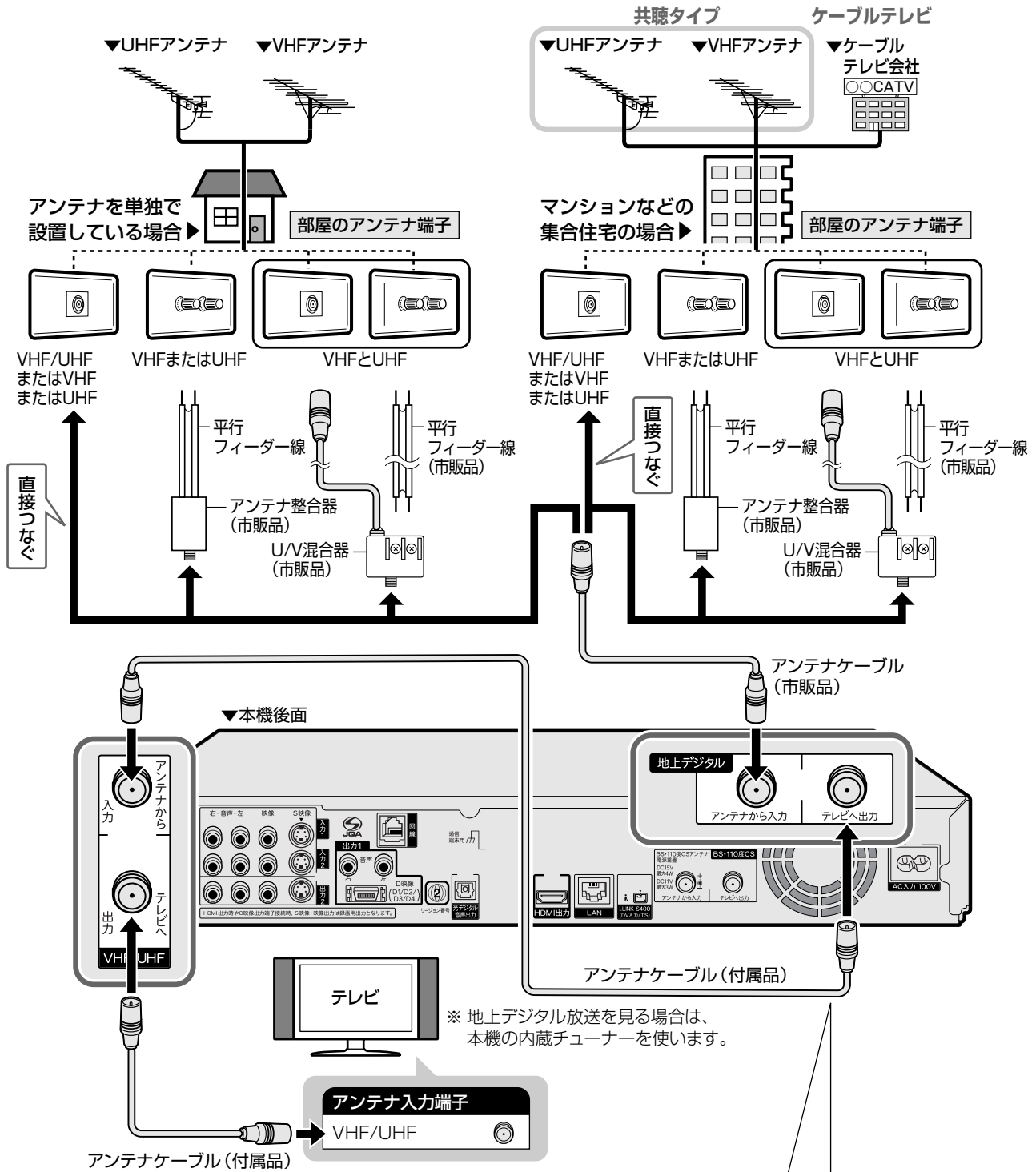
■VHF/UHF端子が別々で、VHF端子が留め金固定式のテレビの場合
分波器（市販品）を取り付け、接続します。
テレビの端子 VHF UHF

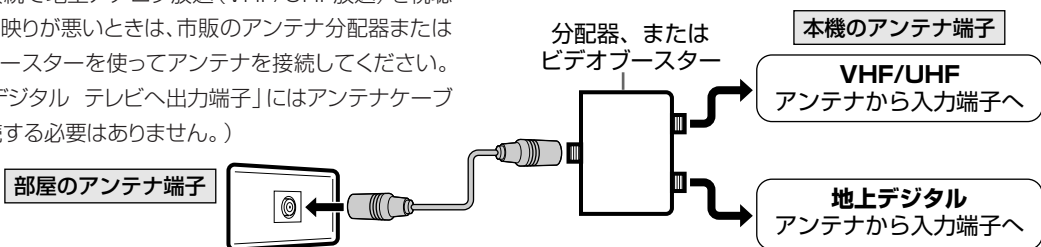
の中は市販品が必要です。

お知らせ

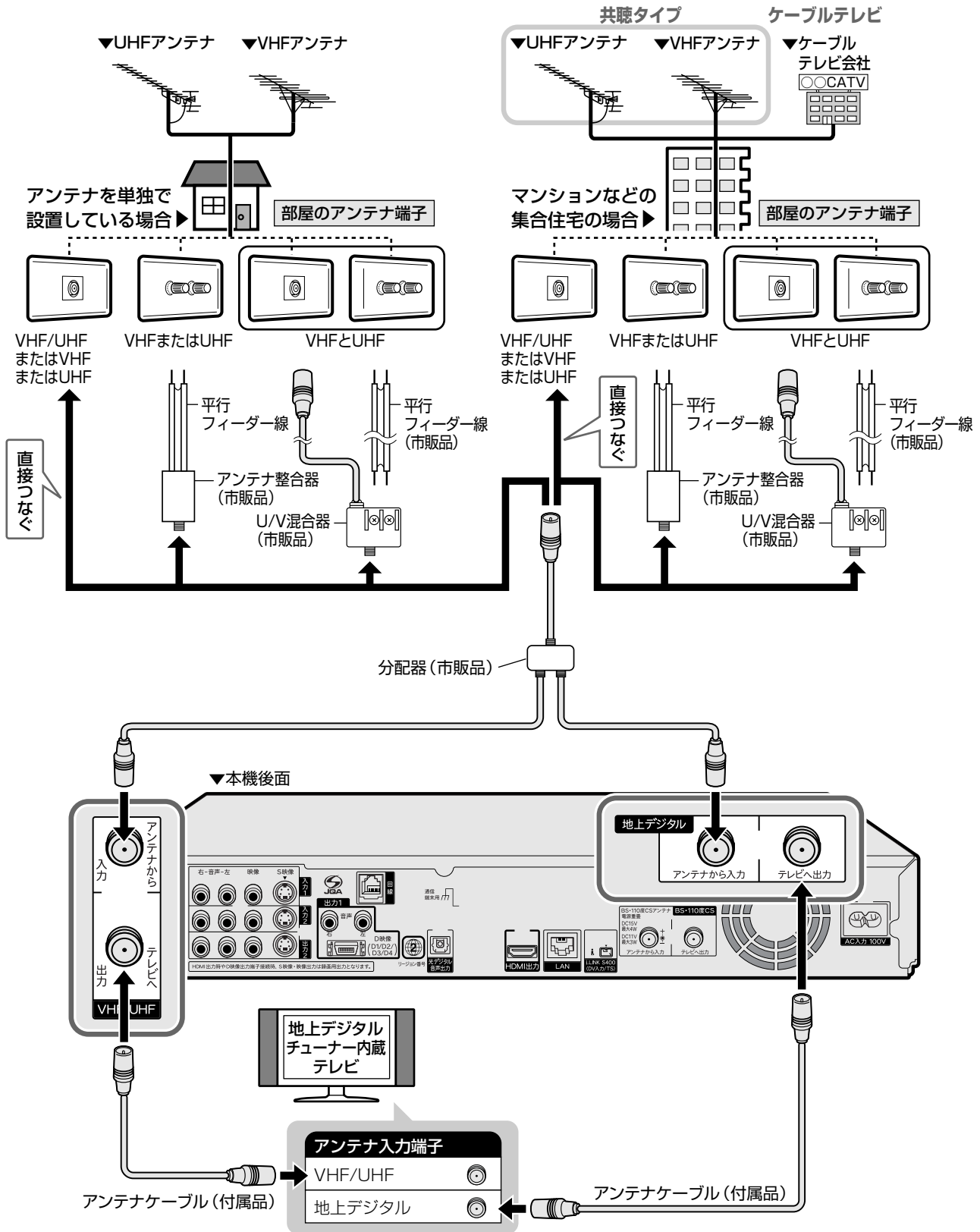
● アンテナ線がF型コネクターのついていない同軸ケーブルのときは、先端を加工してアンテナ線接続プラグ（別売品または市販品）を取り付けます。同軸ケーブルの先端加工のしかたと、アンテナ線接続プラグの取り付け例について、図解の説明があります。**122**ページをご覧ください。

VHF／UHF（地上アナログ）放送と地上デジタル放送を見る場合の接続

● 地上デジタルチューナーがないテレビをお使いの場合

地上アナログ放送の映りが悪いときは

上記の接続で地上アナログ放送（VHF/UHF放送）を視聴していて映りが悪いときは、市販のアンテナ分配器またはビデオブースターを使ってアンテナを接続してください。（「地上デジタル　テレビへ出力端子」にはアンテナケーブルを接続する必要はありません。）

アンテナ線を接続しよう　つづき

VHF／UHF（地上アナログ）放送と地上デジタル放送を見る場合の接続

● 地上デジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合

BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナを単独で設置している場合）

● BS・110度CSデジタルチューナー(BSチューナー)がないテレビをお使いの場合

- BS･110度CSデジタル放送を見るためには、BS･110度CS共用アンテナをお使いください。
- アンテナとの接続には、「BS･110度CS放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。「BS･110度CS放送用同軸ケーブル」は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの(S-5C-FBなど)をお使いください。

▼BS・110度CS 共用アンテナ

アンテナを単独で設置している場合▶

▼BS・110度CS 共用アンテナ

マンションなどの集合住宅で、アンテナは個人で設置している場合▶

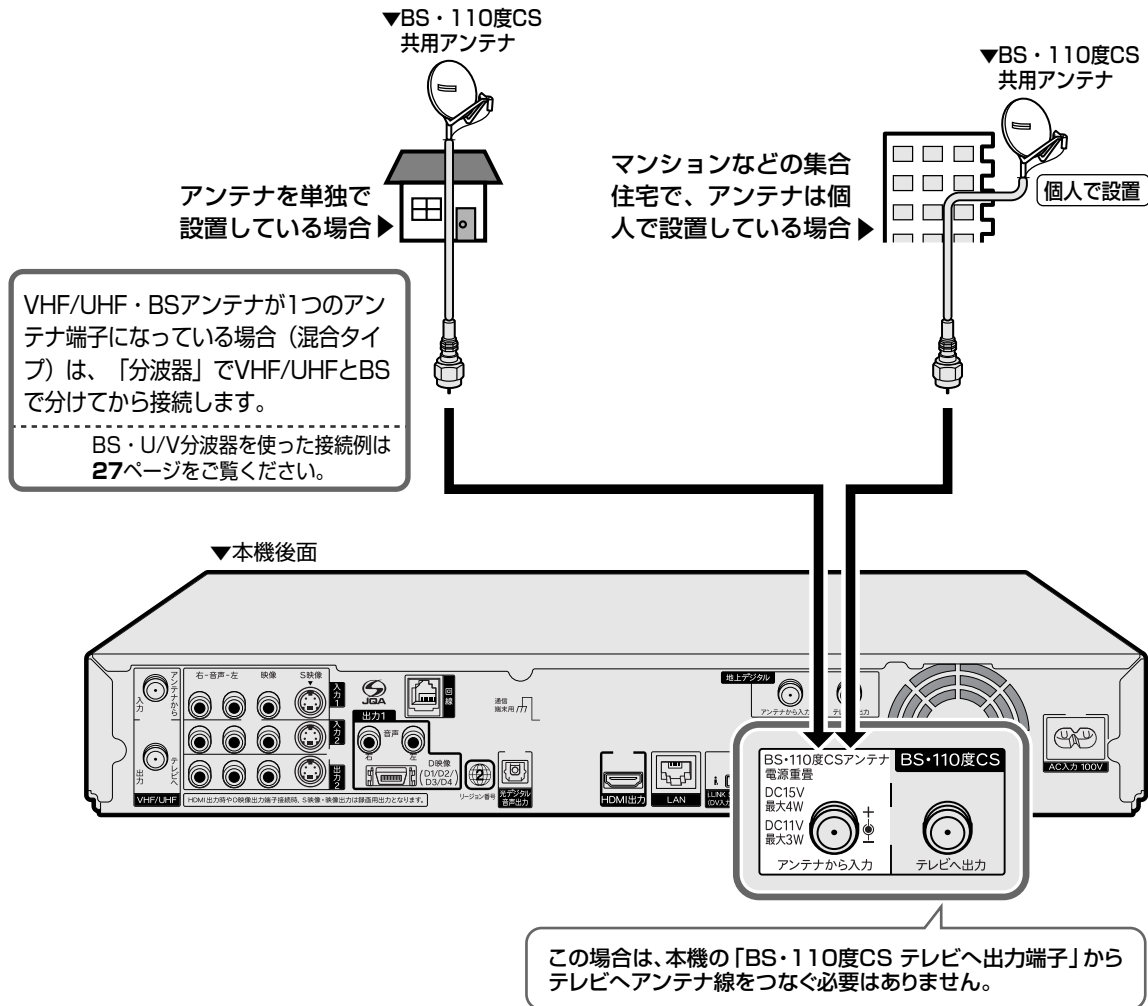
個人で設置

VHF/UHF・BSアンテナが1つのアンテナ端子になっている場合（混合タイプ）は、「分波器」でVHF/UHFとBSで分けてから接続します。

BS・U/V分波器を使った接続例は**27**ページをご覧ください。

▼本機後面

BS･110度CSアンテナ 電源重畳 DC15V 最大4W DC11V 最大3W
BS･110度CS
アンテナから入力　テレビへ出力

この場合は、本機の「BS･110度CS テレビへ出力端子」からテレビへアンテナ線をつなぐ必要はありません。

※ BS･110度CSデジタル放送を見る場合は、本機の内蔵チューナーを使います。

BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS･110度CS アンテナから入力」端子は、BS･110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」を設定したときやBS･CSアンテナ電源設定（**82**ページ）が「入」になっているとき、本機からBS･110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS･110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS･110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナを単独で設置している場合）

● BS・110度CSデジタルチューナー（BSチューナー）内蔵テレビをお使いの場合

- BS･110度CSデジタル放送を見るためには、BS･110度CS共用アンテナをお使いください。
- アンテナとの接続には、「BS･110度CS放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。「BS･110度CS放送用同軸ケーブル」は、110度CS帯域（2150MHz）まで対応しているもの(S-5C-FBなど)をお使いください。

▼BS・110度CS共用アンテナ

▼BS・110度CS共用アンテナ

アンテナを単独で設置している場合▶

マンションなどの集合住宅で、アンテナは個人で設置している場合▶

個人で設置

VHF/UHF・BSアンテナが1つのアンテナ端子になっている場合（混合タイプ）は、「分波器」でVHF/UHFとBSで分けてから接続します。

BS・U/V分波器を使った接続例は**28**ページをご覧ください。

▼本機後面

BS･110度CSアンテナ電源重畳
BS･110度CS
DC15V 最大4W
DC11V 最大3W
アンテナから入力
テレビへ出力

BS･110度CSデジタルチューナー（BSチューナー）内蔵テレビ

アンテナ入力端子
BS･110度CSデジタル

デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）

BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS･110度CS アンテナから入力」端子は、BS･110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」を設定したときやBS･CSアンテナ電源設定（**82**ページ）が「入」になっているとき、本機からBS･110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS･110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS･110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

VHF／UHF（地上アナログ）放送とBS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナが共聴（混合）タイプの場合）

● BS・110度CSデジタルチューナー（BSチューナー）がないテレビをお使いの場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS共用アンテナ　▼UHFアンテナ　▼VHFアンテナ

BS/VHF/UHF混合器

アンテナを単独で設置している場合▶

部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS共用アンテナ　▼UHFアンテナ　▼VHFアンテナ

ケーブルテレビ
▼ケーブルテレビ会社
○○CATV

マンションなどの集合住宅の場合▶

部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

BS・U/V分波器（市販品）
BS U/V

デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）

アンテナケーブル（付属品）

▼本機後面

アンテナから入力
テレビへ出力
VHF/UHF

BS・110度CSアンテナ電源重畳
DC15V 最大4W
DC11V 最大3W
BS・110度CS
アンテナから入力　テレビへ出力

テレビ

※ BS・110度CSデジタル放送を見る場合は、本機の内蔵チューナーを使います。

アンテナ入力端子
VHF/UHF

アンテナケーブル（付属品）

BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS·110度CS アンテナから入力」端子は、BS·110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」を設定したときやBS·CSアンテナ電源設定（**82**ページ）が「入」になっているとき、本機からBS·110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS·110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS·110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

アンテナ線を接続しよう　つづき

VHF／UHF（地上アナログ）放送とBS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナが共聴（混合）タイプの場合）

● BS・110度CSデジタルチューナー（BSチューナー）内蔵テレビをお使いの場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS共用アンテナ　▼UHFアンテナ　▼VHFアンテナ
BS/VHF/UHF混合器
アンテナを単独で設置している場合▶
部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS共用アンテナ　▼UHFアンテナ　▼VHFアンテナ
ケーブルテレビ
▼ケーブルテレビ会社
○○CATV
マンションなどの集合住宅の場合▶
部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

BS・U/V分波器（市販品）
BS
U/V
デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）
アンテナケーブル（付属品）

▼本機後面
アンテナから入力
テレビへ出力
VHF/UHF
BS・110度CSアンテナ電源重畳
BS・110度CS
DC15V 最大4W
DC11V 最大3W
アンテナから入力
テレビへ出力

BS・110度CSデジタルチューナー（BSチューナー）内蔵テレビ

アンテナ入力端子
VHF/UHF
BS・110度CSデジタル

アンテナケーブル（付属品）
デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）

BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS・110度CS アンテナから入力」端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定（**82**ページ）が「入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

VHF／UHF（地上アナログ）放送と地上・BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナが共聴（混合）タイプの場合）

● 地上デジタルチューナーがないテレビをお使いの場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS共用アンテナ
▼UHFアンテナ
▼VHFアンテナ
BS/VHF/UHF混合器
アンテナを単独で設置している場合▶
部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS共用アンテナ
▼UHFアンテナ
▼VHFアンテナ
ケーブルテレビ
▼ケーブルテレビ会社
○○CATV
マンションなどの集合住宅の場合▶
部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

BS・U/V分波器（市販品）
BS
U/V
デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）
分配器（市販品）

▼本機後面
アンテナから入力
テレビへ出力
VHF/UHF
地上デジタル
アンテナから入力
テレビへ出力
BS・110度CSアンテナ電源重畳
DC15V
最大4W
BS・110度CS
アンテナから入力
テレビへ出力

テレビ
※ デジタル放送を見る場合は、本機の内蔵チューナーを使います。

アンテナ入力端子
VHF/UHF
アンテナケーブル（付属品）

BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS･110度CS アンテナから入力」端子は、BS･110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」を設定したときやBS･CSアンテナ電源設定（**82**ページ）が「入」になっているとき、本機からBS･110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS･110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS･110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

アンテナ線を接続しよう つづき

VHF/UHF（地上アナログ）放送と地上・BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナが共聴（混合）タイプの場合）

● BS・110度CSデジタルチューナー（BSチューナー）内蔵テレビをお使いの場合

共聴タイプ
▼BS・110度CS 共用アンテナ ▼UHFアンテナ ▼VHFアンテナ

共聴タイプ
▼BS・110度CS 共用アンテナ ▼UHFアンテナ ▼VHFアンテナ

ケーブルテレビ
▼ケーブルテレビ会社
○○CATV

BS/VHF/UHF混合器

アンテナを単独で設置している場合▶

マンションなどの集合住宅の場合▶

部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

部屋のアンテナ端子
VHF/UHF放送とBS放送が混合されている場合

BS・U/V分波器（市販品）
BS
U/V

デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）

分配器（市販品）

▼本機後面

アンテナから入力
テレビへ出力
VHF/UHF

地上デジタル
アンテナから入力
テレビへ出力

BS・110度CSアンテナ電源重畳
DC15V 最大4W
BS・110度CS
アンテナから入力
テレビへ出力

BS・110度CS デジタルチューナー（BSチューナー）内蔵テレビ

※ 地上デジタル放送を見る場合は、本機の内蔵チューナーを使います。

アンテナ入力端子
VHF/UHF
BS・110度CSデジタル

アンテナケーブル（付属品）

デジタル放送用同軸ケーブル（市販品）

BSアンテナ接続時に気をつけてほしいこと

F型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルにF型コネクターを接続してご使用ください。
- F型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BSアンテナの電源について

- 本機の「BS・110度CS アンテナから入力」端子は、BS・110度CSアンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定で「個別のアンテナ（電源入）」を設定したときやBS・CSアンテナ電源設定（**82**ページ）が「入」になっているとき、本機からBS・110度CSアンテナに電源が供給されます。
- BS・110度CSアンテナを接続するときは、必ずBS・110度CSアンテナ電源を「切」にしてください。工場出荷時は「切」に設定されています。

放送局との自動通信について

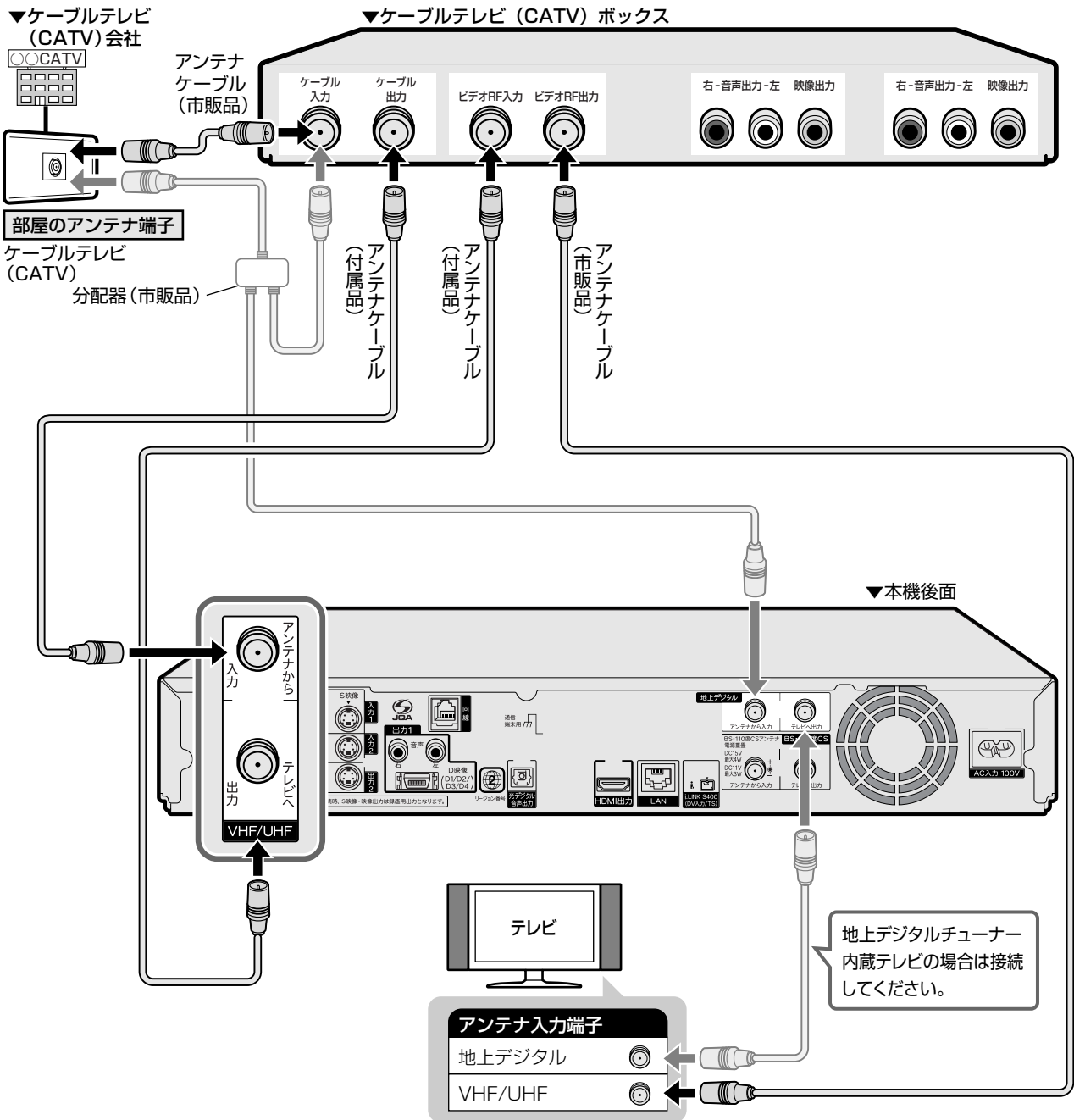
- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

VHF／UHF（地上アナログ）放送と地上・BS・110度CSデジタル放送を見る場合の接続（アンテナが共聴（混合）タイプの場合）

● 地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合

ケーブルテレビ（CATV）ボックスを使ってケーブルテレビ（CATV）を見る場合の接続

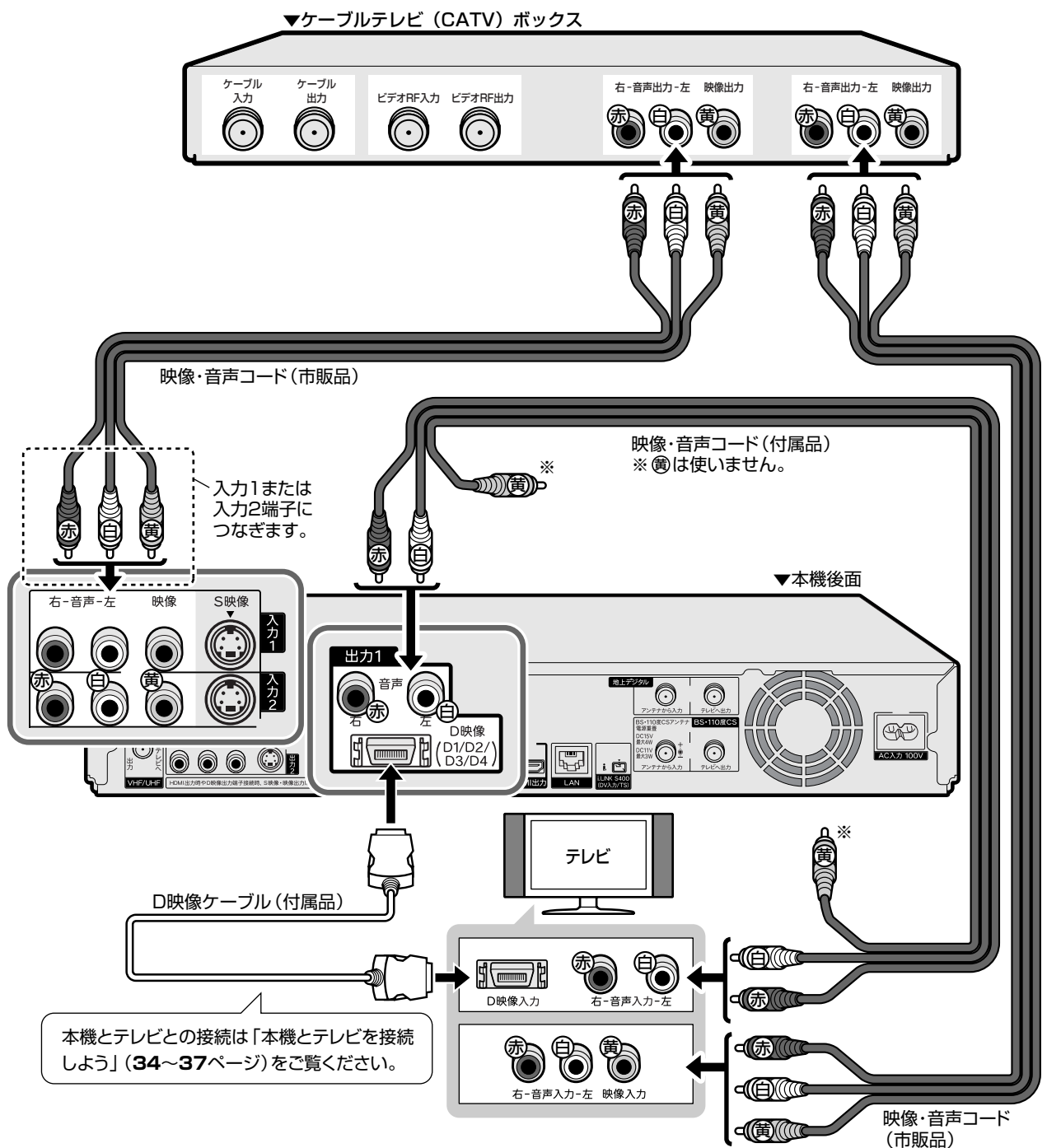
ケーブルテレビ（CATV）の接続のしかたは、ケーブルテレビ（CATV）ボックスにより異なります。接続について詳しくは、ケーブルテレビ（CATV）会社にお問い合わせください。下記の接続は、一例です。

まず、アンテナ線を接続します。

お知らせ

- CATVパススルー方式とは
  CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に渡す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド（MID:C13～C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23～C62）帯」です。（トランスモジュレーション方式には対応していません。）
- BS・110度CS共用アンテナを個人で設置している場合は、**25・26**ページをご覧ください。

■ 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
■ ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ（CATV）会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ケーブルテレビ（CATV）専用のホームターミナル（アダプター）が必要です。詳しくはケーブルテレビ（CATV）会社にご相談ください。
■ アンテナケーブル（CATV）や映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
■ ケーブルテレビ（CATV）ボックスを使ってアンテナ線を接続したときは、電子番組表（Gガイド）が表示されない場合があります。
■ ケーブルテレビ（CATV）ボックスを経由して、BS・110度CS・地上デジタル放送を録画したときは、ハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画はされません。

次に、映像・音声コードを接続します。

本機とテレビとの接続は「本機とテレビを接続しよう」（**34**～**37**ページ）をご覧ください。

本機とテレビを接続しよう

- 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- テレビの接続端子の種類に合わせて、付属の映像・音声コードや市販のケーブル・コードを使い、本機とテレビを接続してください。テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

D映像入力端子付きテレビと接続する場合

- D映像ケーブルや音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

▼本機後面

出力1 音声 赤 白 右 左 D映像 (D1/D2/D3/D4)

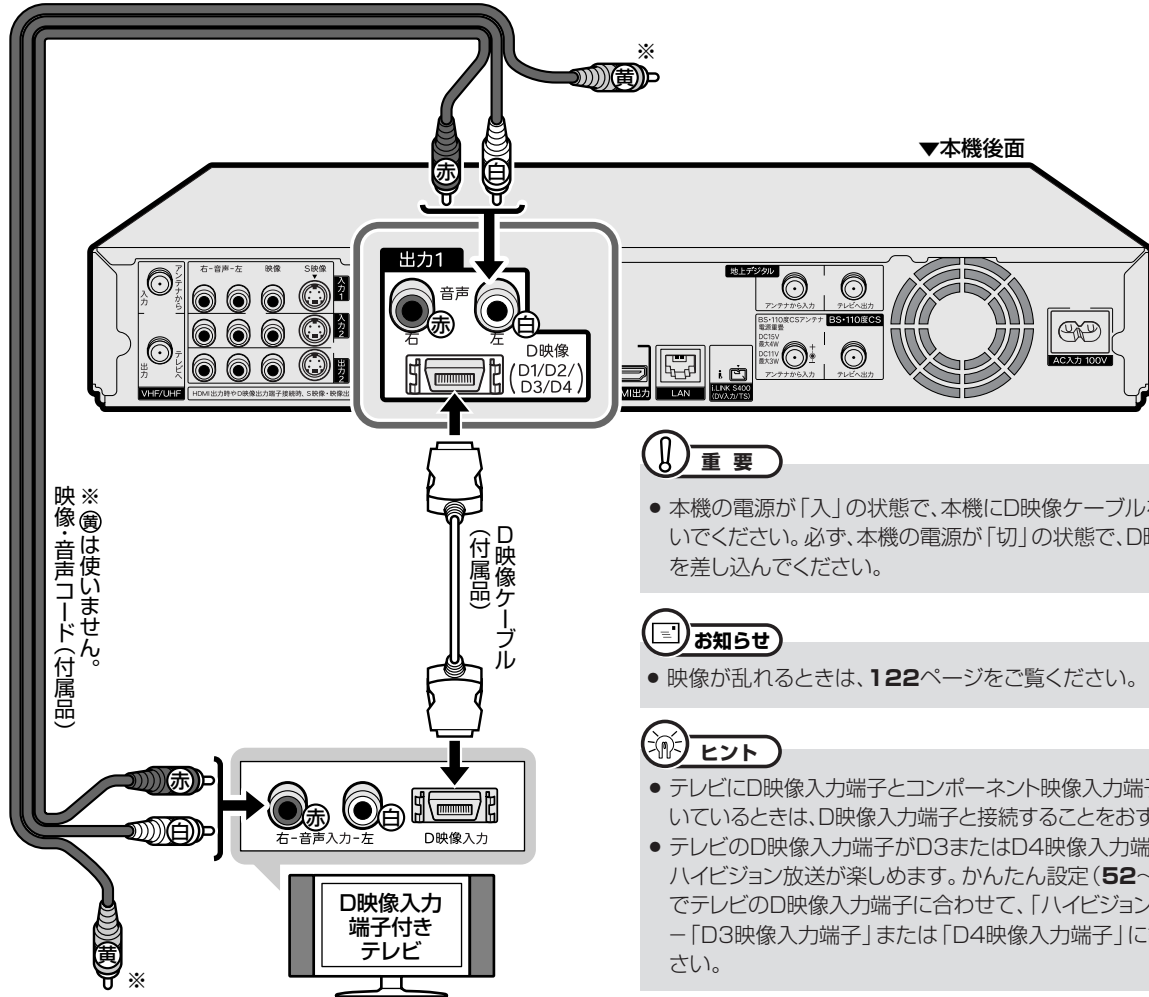
D映像ケーブル(付属品)

※黄は使いません。

映像・音声コード(付属品)

右-音声入力-左 D映像入力

D映像入力端子付きテレビ

重要

- 本機の電源が「入」の状態で、本機にD映像ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D映像ケーブルを差し込んでください。

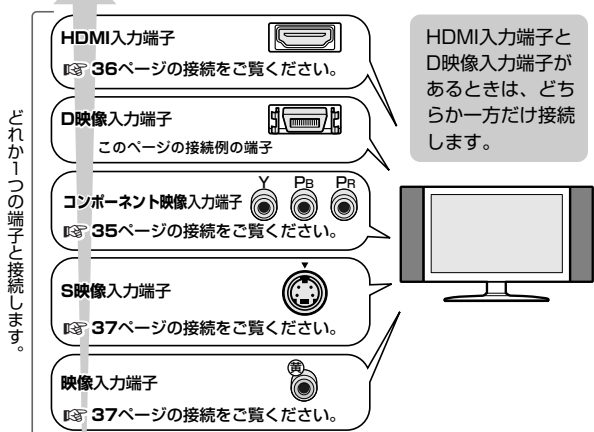
お知らせ

- 映像が乱れるときは、**122**ページをご覧ください。

ヒント

- テレビにD映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D映像入力端子と接続することをおすすめします。
- テレビのD映像入力端子がD3またはD4映像入力端子の場合は、ハイビジョン放送が楽しめます。かんたん設定(**52**〜**53**ページ)でテレビのD映像入力端子に合わせて、「ハイビジョン対応テレビ」−「D3映像入力端子」または「D4映像入力端子」に設定してください。

つなぐ端子と画質について

- つなぐ端子により、お楽しみいただける画質が異なります。テレビの入力端子をお調べになり、できる限り高画質に対応している端子とおつなぎください。

ハイビジョン映像をご覧いただくには

テレビのタイプは

- ハイビジョン映像をご覧いただくには、次のうち、いずれかの端子の付いているテレビ(モニター)が必要です。
  - HDMI入力端子
  - D3映像入力端子
  - D4映像入力端子
  - コンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子
- ハイビジョンタイプのテレビ(モニター)以外では、ハイビジョン画質の映像が楽しめません。

テレビとの接続は

- 本機とテレビを、D映像ケーブル(付属品)またはHDMIケーブル(Aタイプ/市販品)で接続します。
- コンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子付きテレビ(モニター)と接続するときは、D−コンポーネント変換ケーブル(市販品)で接続します。

D映像ケーブルで接続したときは

- 「かんたん設定」−「テレビとの接続」(**52**〜**54**ページ)で次のいずれかを選び、設定します。
  - 「D3映像入力端子」
  - 「D4映像入力端子」
  - 「コンポーネント映像入力端子」

■ 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
■ テレビの接続端子の種類に合わせて、付属の映像・音声コードや市販のケーブル・コードを使い、本機とテレビを接続してください。テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

■ D−コンポーネント変換ケーブルや音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

- テレビにD映像入力端子とコンポーネント映像入力端子の両方が付いているときは、D映像入力端子と接続することをおすすめします。

お知らせ

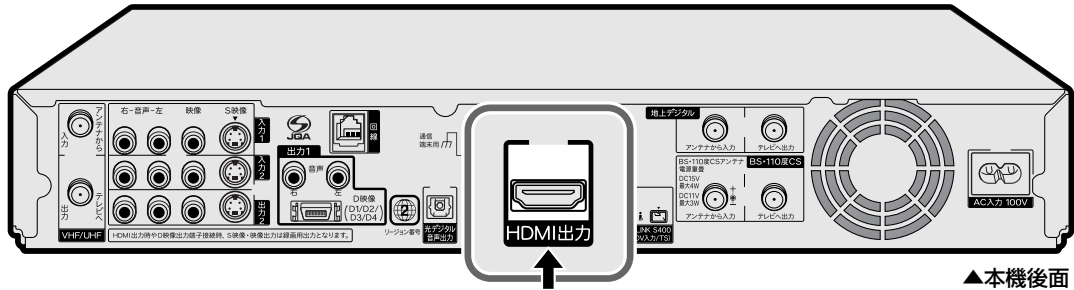
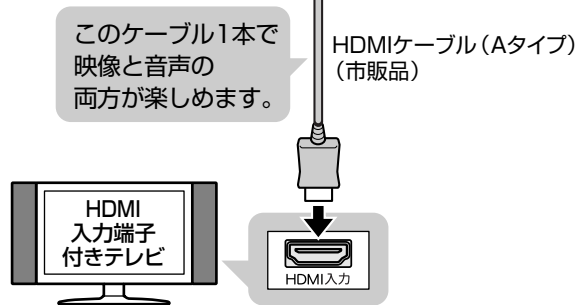
- 映像が乱れるときは、**122**ページをご覧ください。
- 映像が映らないときは、**122**ページをご覧ください。

重 要

- 本機の電源が「入」の状態で、本機にD−コンポーネント変換ケーブルを差し込まないでください。必ず、本機の電源が「切」の状態で、D−コンポーネント変換ケーブルを差し込んでください。
- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切換え（メニュー設定やスイッチの切換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書にしたがって操作してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子（Y, P_B, P_R）に接続したときは、DVDの再生映像は楽しめません。DVDの再生映像は525iまたは525pの信号が出力されます。

■ 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
■ テレビの接続端子の種類に合わせて、付属の映像・音声コードや市販のケーブル・コードを使い、本機とテレビを接続してください。テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

HDMI入力端子付きテレビと接続する場合

■ HDMIケーブルは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

- HDMI出力端子は、映像と音声のデジタル信号を1本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。HDMIケーブル（Aタイプ）（市販品）を使うと、他の映像ケーブル・音声ケーブルを接続する必要はありません。
- **HDMIケーブルのみ接続している場合、接続したテレビの電源が入っているときは自動的に「HDMI出力」に切り換わります。上記の設定は必要ありません。（D映像ケーブルが接続されている場合や、「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「映像・音声設定」－「HDMI自動切換設定」が「しない」に設定されている場合は、自動で切り換わりません。）**
- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方にケーブルを接続したときは、映像出力する端子をリモコンで切り換えてください。（D映像端子とHDMI端子の両方からは映像は出力されません。）

HDMI出力に切り換える

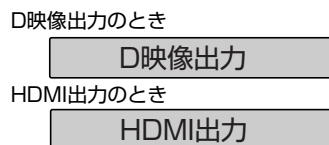
① 本機の電源を入れる
② リモコンのふたを開ける
③ 本体の表示が「HDMI出力」に切り換わるまで、リモコンの［HDMI切換］を押し続ける

D映像出力に戻すときは、本体の表示が「D映像出力」に切り換わるまで、リモコンの［HDMI切換］を押し続けます。

本体前面の本体表示部には、次のように表示されます。

D映像出力のとき

D映像出力

HDMI出力のとき

HDMI出力

▼リモコンのふたを開けたところ

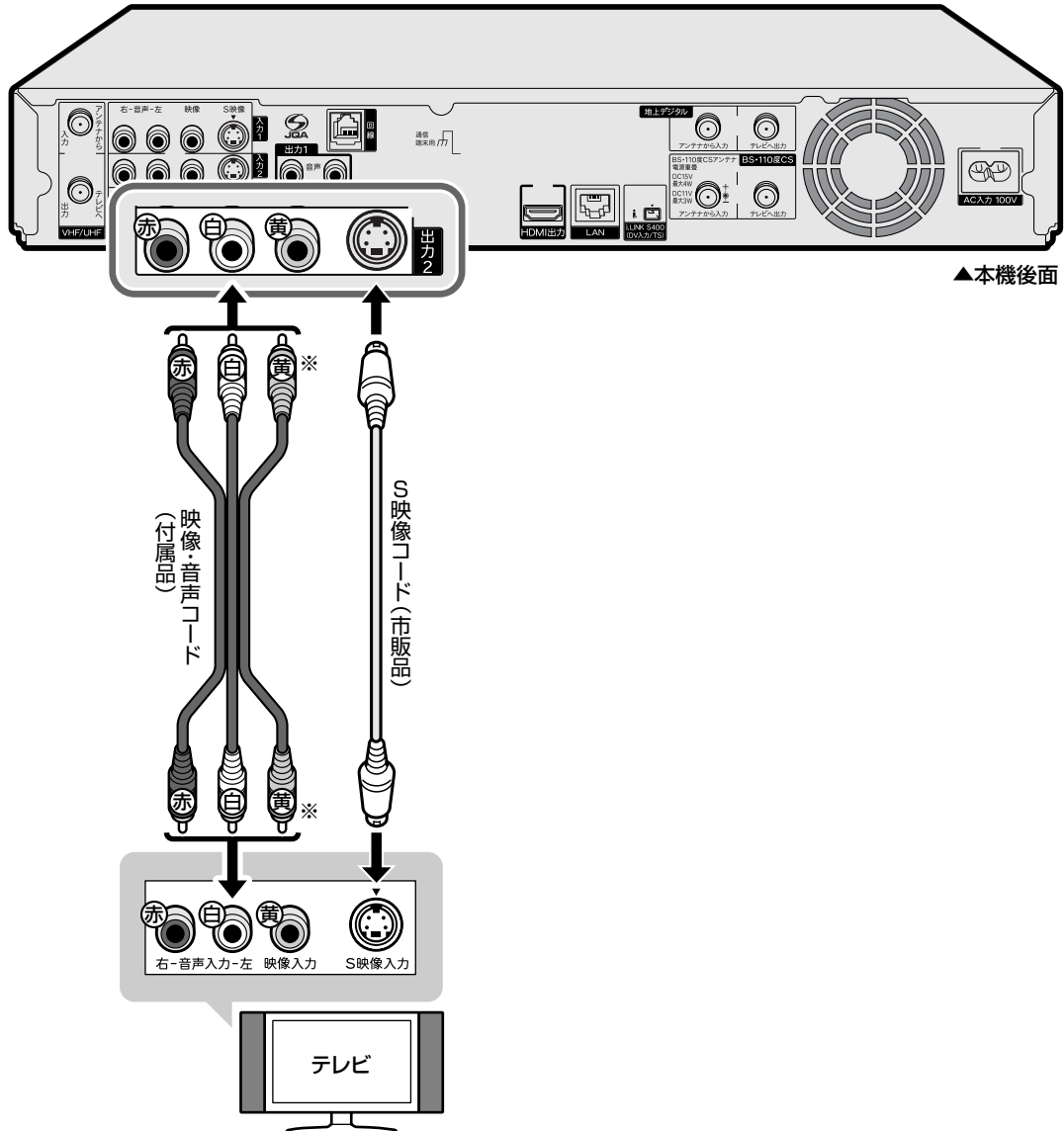
お知らせ

- HDMI出力端子を使って接続したときは、出力解像度は「オート」に設定されます。
「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、**124**ページ一番下の表を参考に出力解像度を変更してください。
- DVIデジタル入力端子付きの機器とDVI/HDMI変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機のHDMI出力端子は、HDMI機器との接続を目的に設計されています。また、DVI/HDMI変換ケーブルを使いDVI機器と接続したときは、DVI機器に音声が入力されません。）
- HDMI設定を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（ケーブルが接続されていない、または電源が入っていないときも選択できません。）
- HDMIケーブル（市販品）をご使用の際は、HDMI規格に適合したケーブルをご使用ください。

HDMI 映像出力（解像度）の設定とデジタル音声出力の設定は、スタートメニューの「各種設定」－「設置調整」－「映像・音声設定」（2. 操作編 **177** ページ）で行います。

- ■ 安全のため本機とテレビの電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ■ テレビの接続端子の種類に合わせて、付属の映像・音声コードや市販のケーブル・コードを使い、本機とテレビを接続してください。テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

S映像・映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合

■ S映像・映像・音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

※S映像コードを接続したときは、映像端子㊩は接続しません。

重 要

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

お知らせ

- 映像が乱れるときは、**122**ページをご覧ください。
- デジタル放送を受信しているとき、HDMI出力端子（**36**ページ）やD映像出力端子（**34**ページ）を接続していると、S映像出力端子・映像出力端子からはメニュー画面・チャンネル表示などの画面表示や、データ放送の表示は出力されません。（テレビ映像と再生映像のみ通常画質（525i）で出力されます。ただし、録画リスト・編集・DVD再生・地上アナログ放送受信時は、画面に表示している映像が、そのまま出力されます。）

ビデオデッキを接続するときは

■ アンテナケーブル、S映像コード、映像コード、音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

まず、アンテナ線を接続します。

次に、映像・音声コードを接続します。

▼本機後面

右-音声-左　映像　S映像

入力1　入力2

赤　白　黄

入力1または入力2端子につなぎます。

本機とテレビとの接続は、**34**～**37** ページをご覧ください。

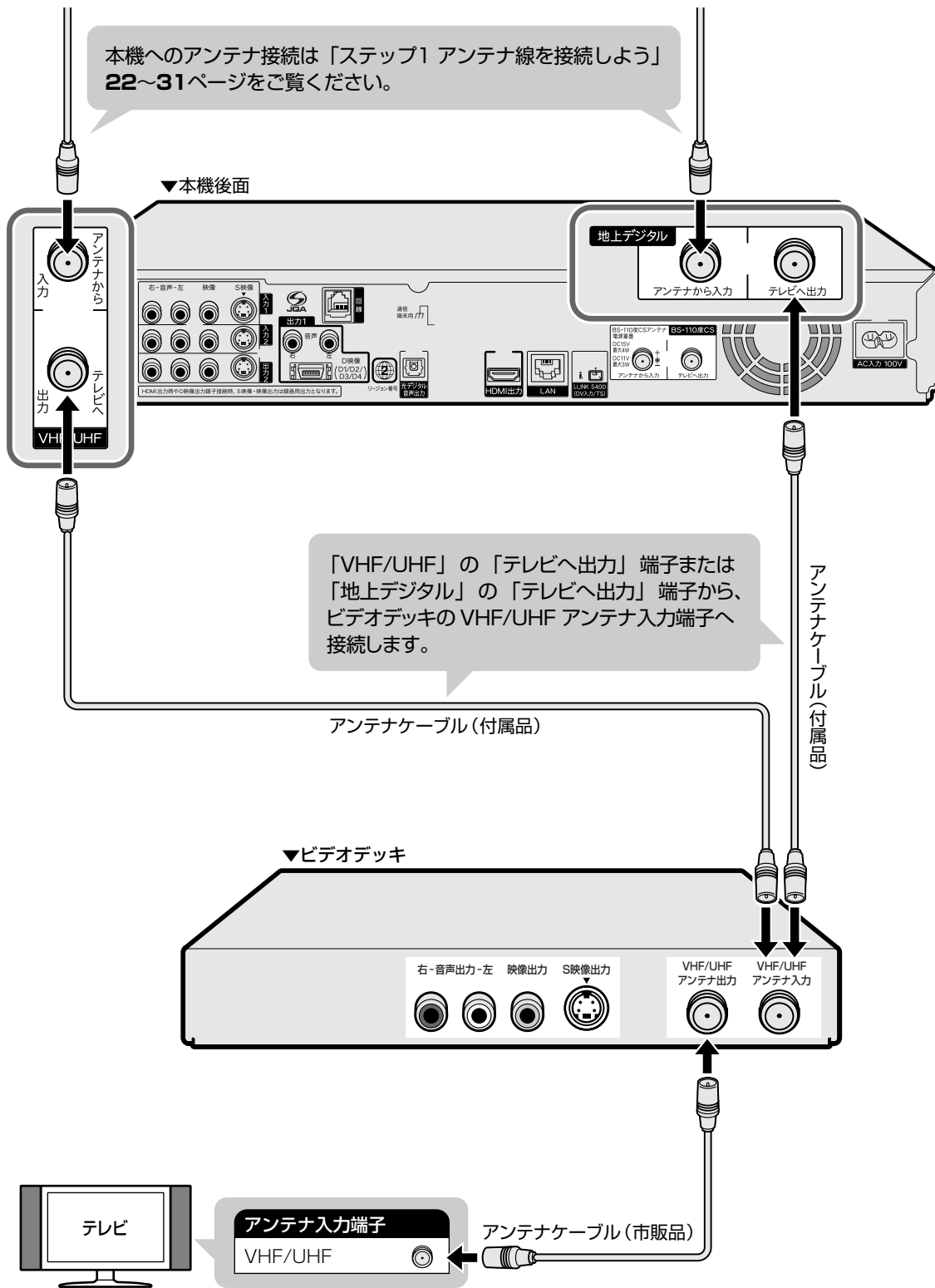
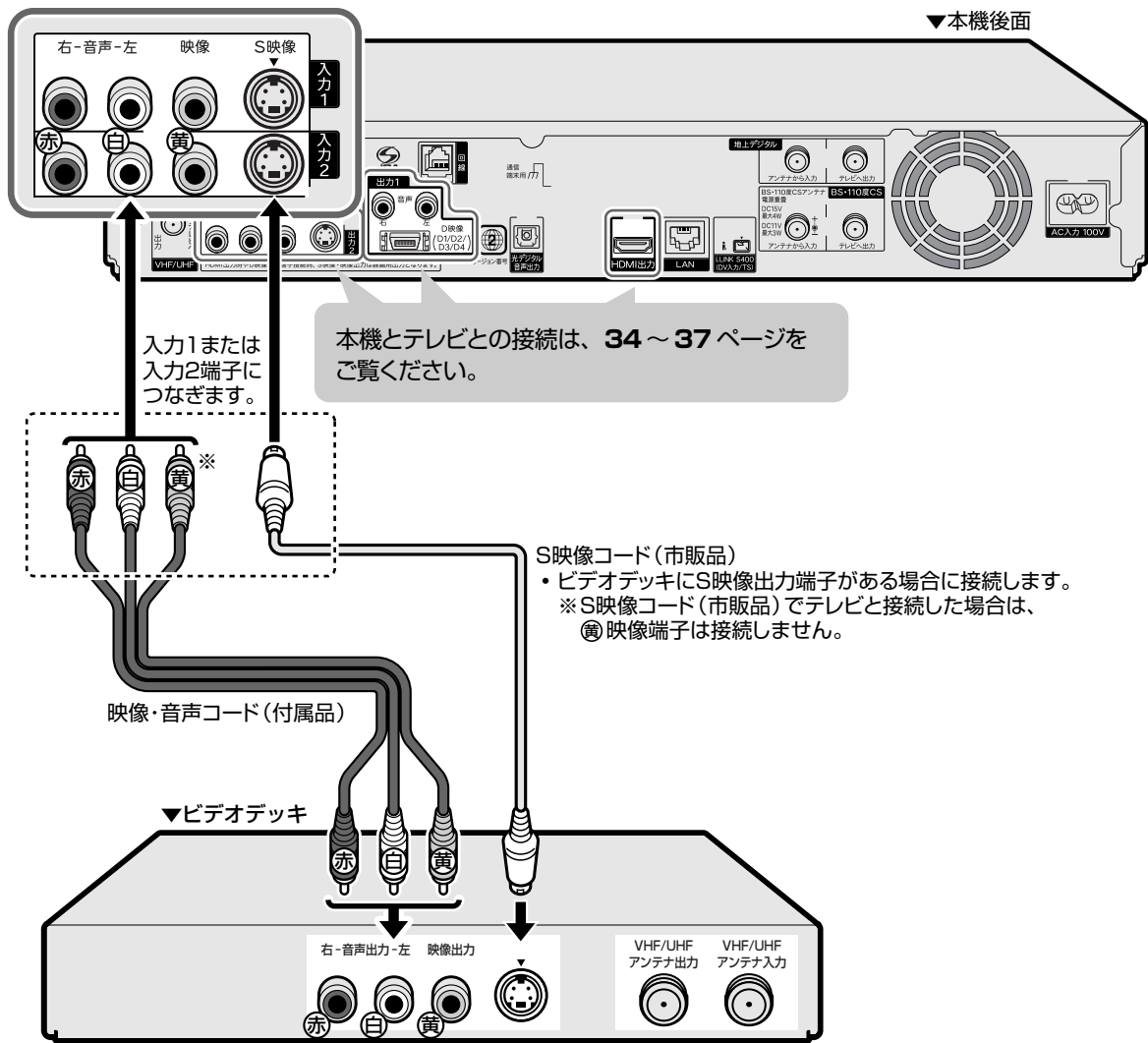
※

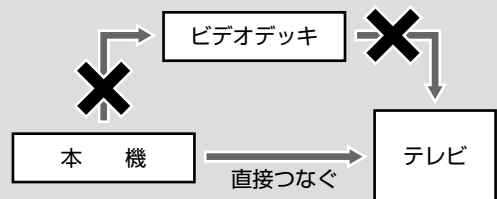
S映像コード（市販品）
・ビデオデッキにS映像出力端子がある場合に接続します。
※S映像コード（市販品）でテレビと接続した場合は、黄 映像端子は接続しません。

映像・音声コード（付属品）

▼ビデオデッキ

右-音声出力-左　映像出力

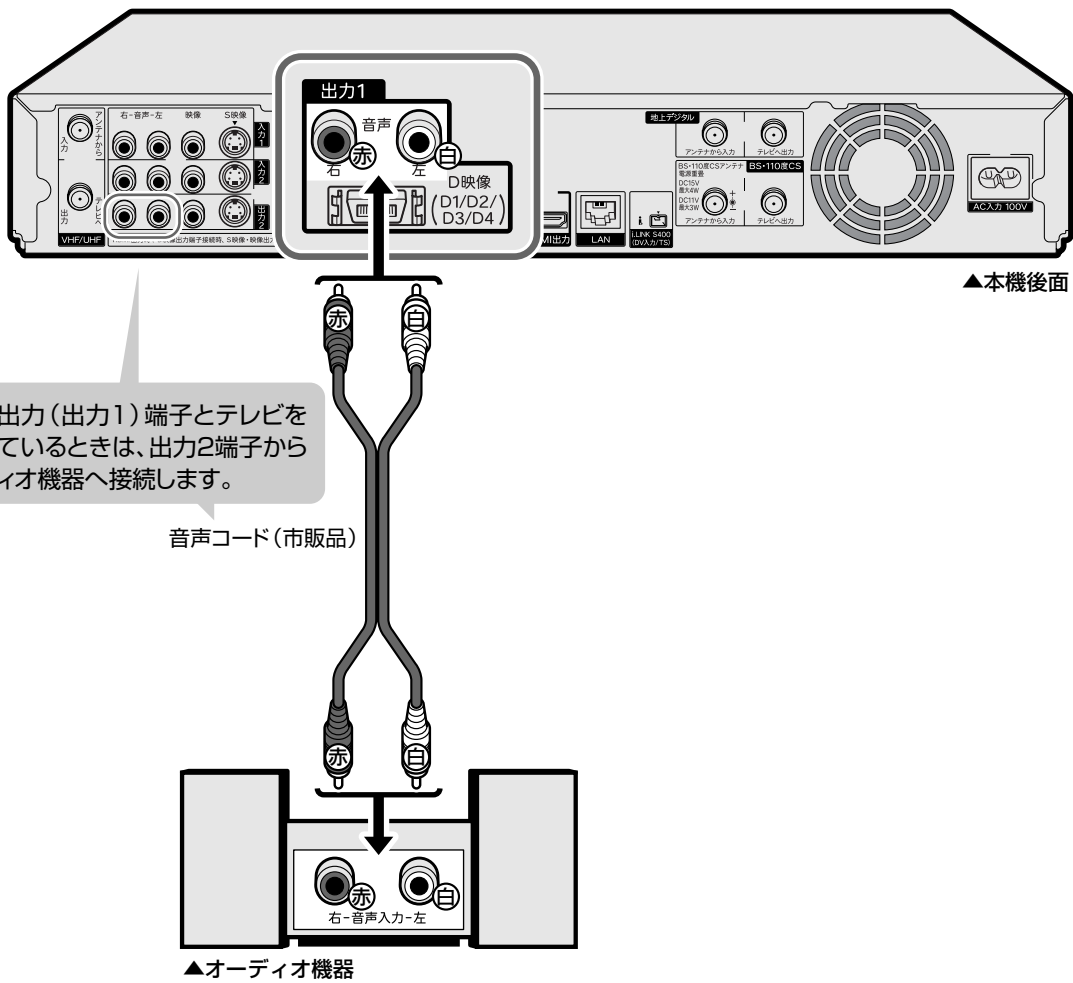
VHF/UHF アンテナ出力　VHF/UHF アンテナ入力

重 要

- 本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

お知らせ

- 映像が映らないとき、テレビの映りが悪いとき、正常な録画ができないときは、**123**ページをご覧ください。

オーディオ機器と接続するときは

アナログ接続で音声を楽しむ場合の接続

- 本機の音声を2chオーディオ機器で楽しむときの接続です。
- 音声コードは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは、**123**ページをご覧ください。
- 本機とテレビとの接続について詳しくは**34**～**37**ページをご覧ください。

デジタル接続で音声を楽しむ場合の接続

■ 本機の音声を光デジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

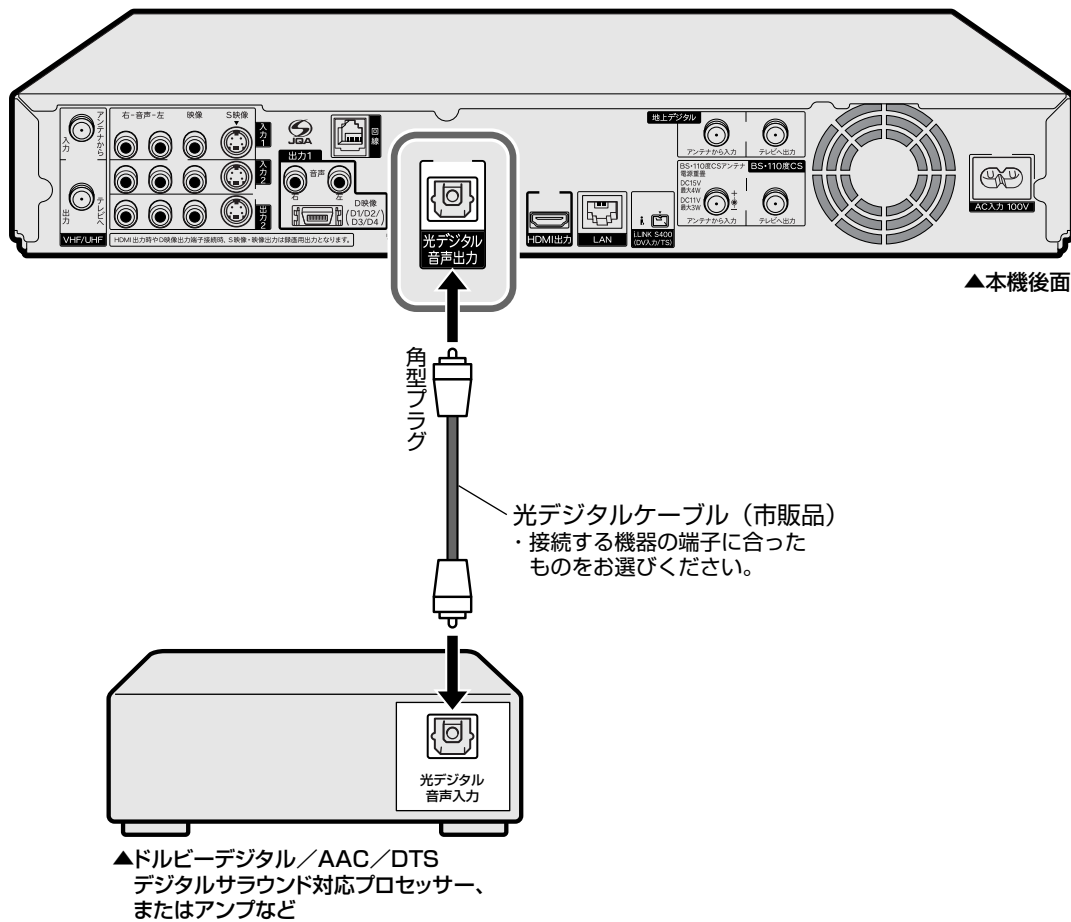
■ 光デジタルケーブルは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

■ 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタル(5.1ch)やDTSなどの迫力ある音響効果を楽しめます。

- ドルビーデジタル/AAC/DTSデジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル/AAC/DTSデジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
- DTS音声を楽しむには、DTSデジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
- DTS デジタルサラウンド音声を楽しむときは、DVD 再生時にディスクメニューで DTS 音声を選ぶか、リモコンの[音声]で DTS 音声を選んでください。音声の選びかたについては、[2. 操作編] **99**･**104** ページをご覧ください。
- DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「デジタル音声出力設定」を「ドルビーデジタル/ DTS」に設定します。([2. 操作編] **177** ページ)

■ オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

▲本機後面

▲ドルビーデジタル/AAC/DTS
デジタルサラウンド対応プロセッサー、
またはアンプなど

重 要

- 市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは「デジタル音声出力設定」の各項目の設定をしてください。設定については、**123**ページをご覧ください。
- DTS音声を楽しめるのは、DTSデコーダーに対応した機器です。DTSデコーダーに対応した機器でDTS音声を楽しむときは、「デジタル音声出力設定」を「ドルビーデジタル/DTS」に設定したうえで、ディスクの音声をDTS音声に切り換えてお楽しみください。DTSに対応していない機器で楽しむときは、ディスクの音声を「PCM」または「ドルビーデジタル」に切り換えてお楽しみください。

お知らせ

■デジタル音声出力について
- 二ヶ国語放送や二ヶ国語放送を録画したタイトルの再生では、音声の切り換えはできません。(プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。)
- 音楽用CDを再生したとき、音声の切り換えはできません。
- 96kHz/24bit(LPCM)音声を楽しむときは、96kHzに対応しているプロセッサーまたはアンプが必要です。

■MDとデジタル接続し、録音して楽しむとき
- 本機とMDをデジタル接続しCDをMDに録音したときに、CDとMDの曲番(トラック番号)が一致しないことがあります。

■DTSデコーダーを内蔵していないデジタル入力付きのオーディオ機器やMDプレーヤーとデジタル接続したとき
- DTSで記録されているディスクは正常な音声がでません。

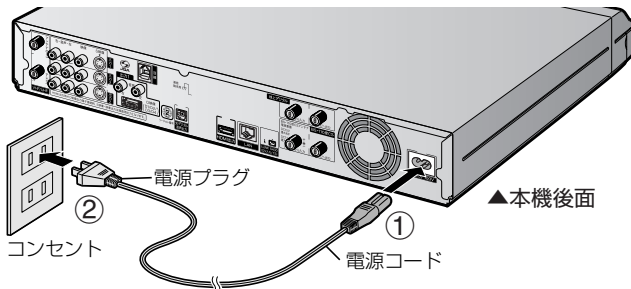
電源の準備とリモコンの準備をしよう

電源プラグをコンセントに接続する

■ 全ての接続が終わったら、本機の電源プラグをコンセントに接続してください。

- ご使用の際は、電源コードを束ねずに引き伸ばしてご使用ください。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音等を避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

① 電源コード接続部に電源コードを接続する

② 電源プラグをコンセントに差し込む

重要

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。

- 本機の電源が切れているときは、本体の待機ランプ（赤色）が点灯します。電源プラグを差し込んだときは、自動的にHDD（ハードディスク）の信頼性を確認するため、待機ランプが点灯するまでに多少時間がかかります。待機ランプが点灯するまでお待ちください。（待機ランプ点滅中はシステム準備中のため、電源「入」にできません。）

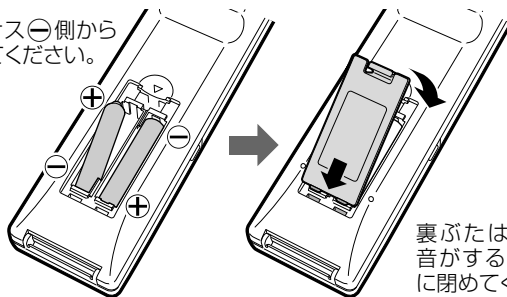
リモコンに乾電池を入れる

① 裏ぶたを開ける

- 矢印の方向に裏ぶたを開けます。

② 乾電池を入れ、裏ぶたを閉める

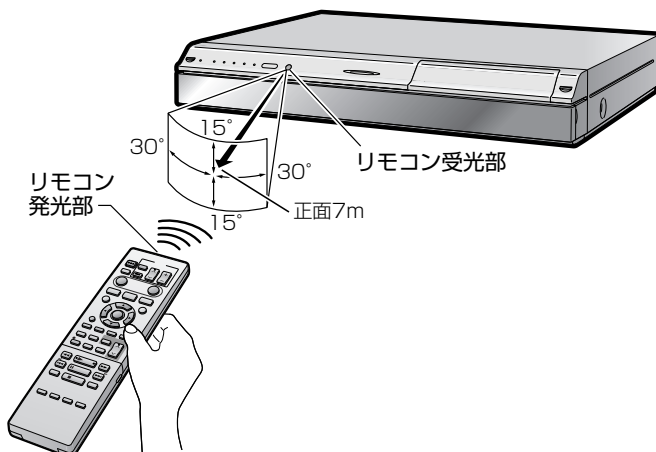
- 付属の乾電池〈単4形×2個〉を、収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。

リモコンの操作範囲

⚠注意　乾電池使用上のご注意

■**乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。**

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。**
- **乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。**
- **乾電池は種類によって特性が異なります。**
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- **新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。**
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- **乾電池が使えなくなったら…**
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- **不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。**

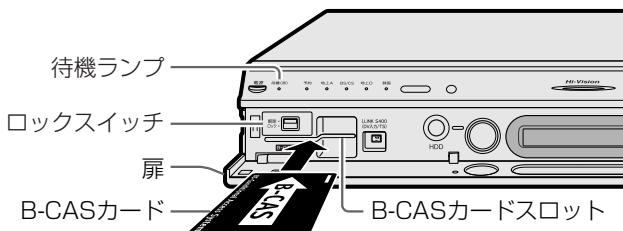
重要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。
  このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、5分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しい乾電池と交換してください。
  （寿命は通常6カ月～1年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 長時間（約1日）電池のない状態が続いたときは「リモコン番号（**60**ページ）」や「テレビメーカー指定（**62**ページ）」がリセットされますので、設定し直してください。

B-CASカードをセットしよう

B-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するために、B-CASカードを必ず挿入してください。

- 2004年4月から、コピー制御のためにB-CASカードの機能が利用されています。
- B-CASカードを挿入していただくことで、NHKや無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。
  B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送やBSデジタル放送が映りません。

● B-CASカードを入れる

操作開始

1 本機の電源を「切」にする

- 本機の電源を切り、待機ランプを赤点灯にします。

2 本機前面の扉を開ける

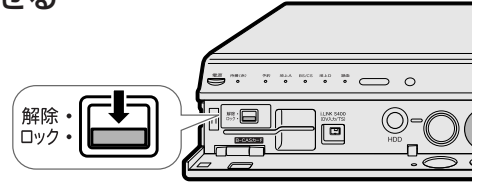
くぼみに指をかけ、手前に引いて扉を開けます。

3 ロックスイッチが「解除」の位置になっていることを確認する

- ロックスイッチを「解除」の位置にスライドさせてください。

4 B-CASカードを下図のように、表面の矢印の方向に差し込む

- 奥まで確実に挿入してください。
- 挿入が不完全な状態でロックスイッチをスライドさせたり本体前面の扉を閉めると、カードの破損、本機の故障の原因となります。

5 ロックスイッチを「ロック」の位置にスライドさせる

- カード挿入後、必ずロックしてください。
  ロックしないとB-CASカードは働きません。

6 扉を閉める

お知らせ

- B-CASカードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。

● B-CASカードを取り出す

① 本機の電源を「切」にする

② 本機前面の扉を開ける

③ ロックスイッチを「解除」にする

④ B-CASカードをまっすぐに手で引き抜く

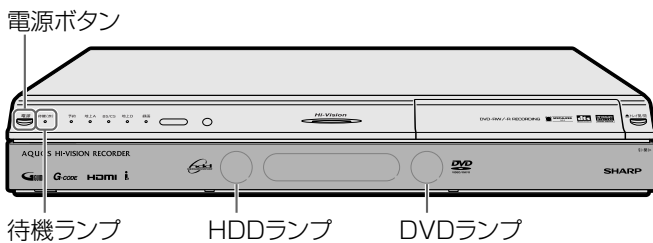
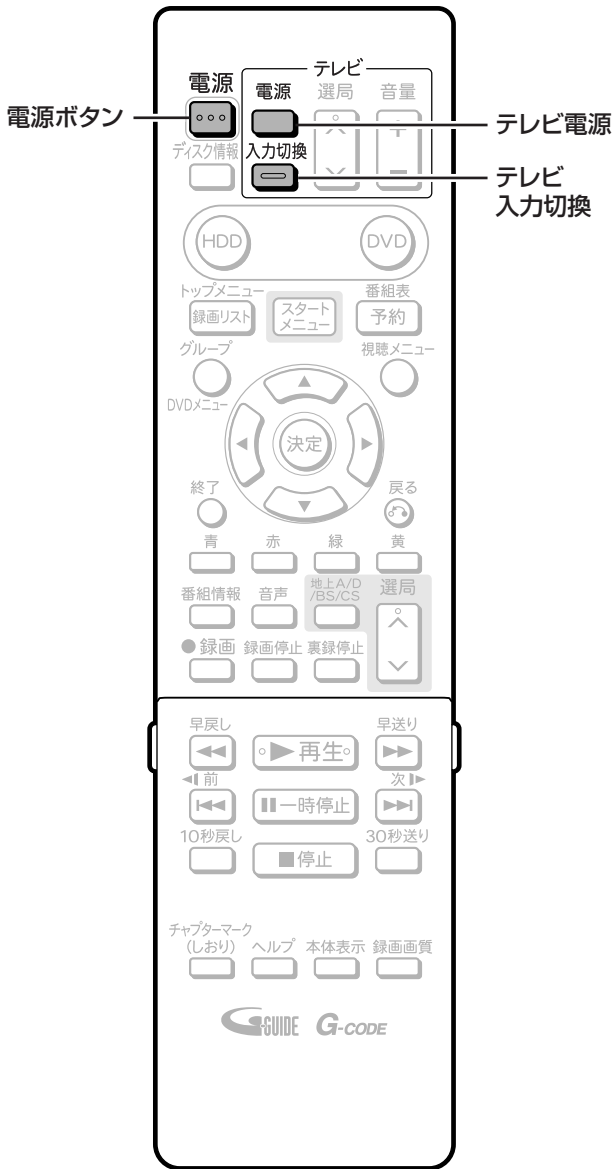
⑤ 扉を閉める

重　要

B-CASカードの取扱い上のご注意

- B-CASカードスロットには、B-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- 本機のご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CASカードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CASカードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CASカードの金属部には手を触れないでください。
- B-CASカードを分解、加工しないでください。
- B-CASカードは大切に保管してください。仮に他人があなたのB-CASカードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。
- 破損等によりB-CASカードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。（2006年4月現在）
  詳しくは、（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターまでご連絡ください。
  （連絡先:0570-000-250）

操作するための準備をしよう

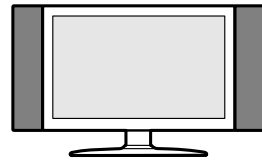
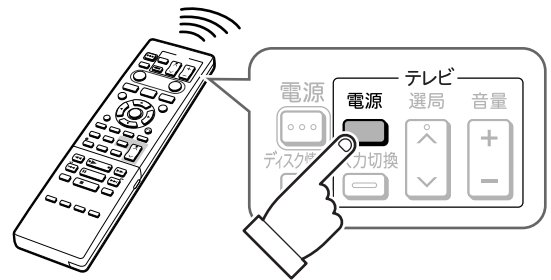
テレビと本機の準備をしよう

他のシャープ製DVDレコーダーやDVDプレーヤーも動作してしまうときは

- **60**ページの「リモコン番号を設定しよう」をご覧ください。

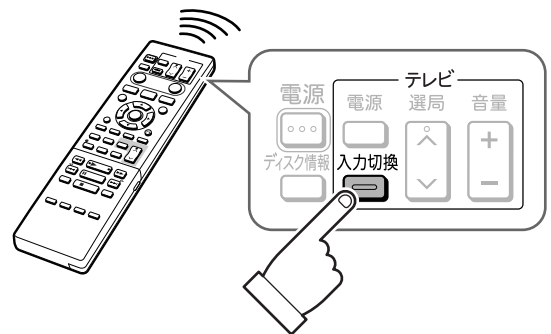
▶テレビの準備

操作開始

1

① リモコンのテレビ 電源 を押して、テレビの電源を入れる

リモコンをテレビに向けて操作します。

② リモコンのテレビ 入力切換 をくり返し押して、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力1」など）に切り換える

表示は例です。
お使いのテレビにより異なります。
本機の画面が映るように切り換えてください。

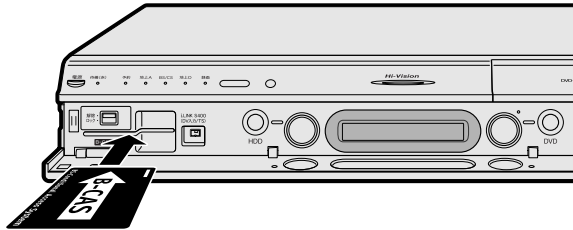
リモコンをテレビに向けて操作します。

お手持ちのテレビを本機のリモコンで操作するには

- **62**ページの「お使いのテレビを本機のリモコンで操作しよう（メーカー指定）」をご覧ください。

次ページの手順2へつづく

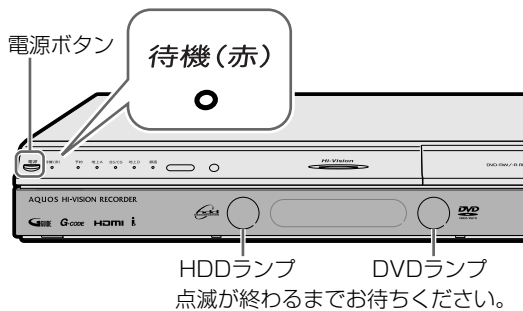
▶本機の準備

2 付属のB-CASカードをセットする

- B-CASカードのセットのしかたは**43**ページをご覧ください。

お知らせ

- 本機の電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、システム処理のため待機ランプが点滅します。電源は待機ランプが点灯してから入れてください。

3 リモコンの電源、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

電源を入れると、待機ランプが消灯します。

リモコンを本体に向けて操作します。

- 電源を入れると、本体のHDDランプ･DVDランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまでお待ちください。
- はじめて電源を入れたときは、「初期設定」画面になります。（**50**ページ）

ヒント

本機とテレビをHDMIケーブル（市販品）でつないだ場合

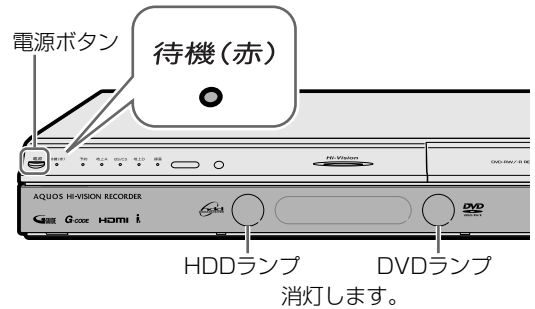
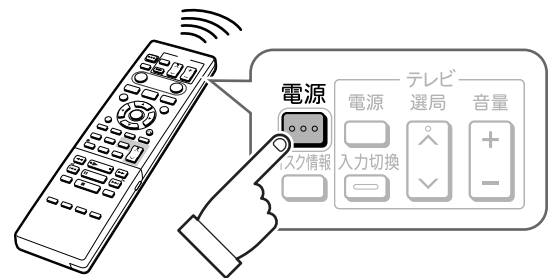
- 「初期設定」画面が表示されないときは、本機の設定をHDMI出力に切り換えてください。（**46**ページ）

● 電源の切りかた

操作開始

1 リモコンの電源、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を切る

- 本体のHDDランプ･DVDランプが消灯し、本体の待機ランプが点灯します。

電源を切ると、待機ランプが点灯します。

リモコンを本体に向けて操作します。

- 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

接続・準備

操作するための準備をしよう

●HDMI入力端子付きテレビと接続したときの設定をする

- 本機とテレビをHDMIケーブル(Aタイプ)のみで接続しているときは、自動的に「HDMI出力」が選ばれます。
- D映像出力端子とHDMI出力端子の両方を接続したときは、「D映像出力」が選ばれます。
「HDMI出力」にするときは、リモコンの HDMI切換 で出力を切り換えます。

操作開始

1 ① リモコンのテレビ 電源 を押して、テレビの電源を入れる

② リモコンのテレビ 入力切換 をくり返し押して、テレビの入力を本機を接続した入力(「ビデオ1」など)に切り換える

2 リモコンの 電源 、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」(**44**ページ)をご覧ください。

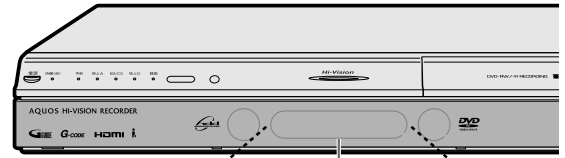
3 本体の表示が切り換わるまで、リモコンふた内の HDMI切換 を押し続ける

- HDMI出力にするときは、「HDMI出力」と表示されるまで押し続けます。
- D映像出力にするときは、「D映像出力」と表示されるまで押し続けます。

D映像出力のとき

D映像出力

HDMI出力のとき

HDMI出力

- 接続したテレビに合わせて、「映像・音声設定」で映像の出力解像度や音声の信号形式を設定することもできます。
詳しくは、2. 操作編 **177**ページ「HDMI映像出力設定」および「デジタル音声出力設定」をご覧ください。
- 接続したテレビのサイズに合わせて、テレビの画面サイズを設定してください。
設定は、「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「映像・音声設定」－「画面サイズ設定」で行います。(2. 操作編 **177**ページ)

お知らせ

- テレビの画面サイズが正しく設定されていないと、DVDを再生したときワイド(16:9)テレビと接続しているのにレターボックス(4:3)の映像になるなど、意図しない再生映像になります。
- HDMI出力に切り換えたときは、D映像出力端子から信号が出力されません。
- リモコンふた内の 接続設定リセット を「かんたん設定」画面が表示されるまで押し続けると、映像設定がリセットされます。

設定

もくじ　ページ

設定の概要

- 本機を初めてお使いになるときは、「初期設定」→「かんたん設定」を行ってください。
- 「初期設定」→「かんたん設定」でうまく設定できない場合、または個別に設定を変えたい場合は、地上アナログ放送の設定やデジタル放送の設定の中から、必要な設定を行ってください。
- デジタル放送の双方向番組に参加したり有料放送の視聴契約をする場合は、双方向通信の設定が必要です。

本機をはじめてお使いになるときは

初期設定→かんたん設定

☞ 49ページ

- 地上アナログ放送、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送など、各放送をお楽しみいただくための設定が、かんたんに行えます。

必要な設定だけをしたいときは

地上アナログ放送の設定

☞ 63ページ

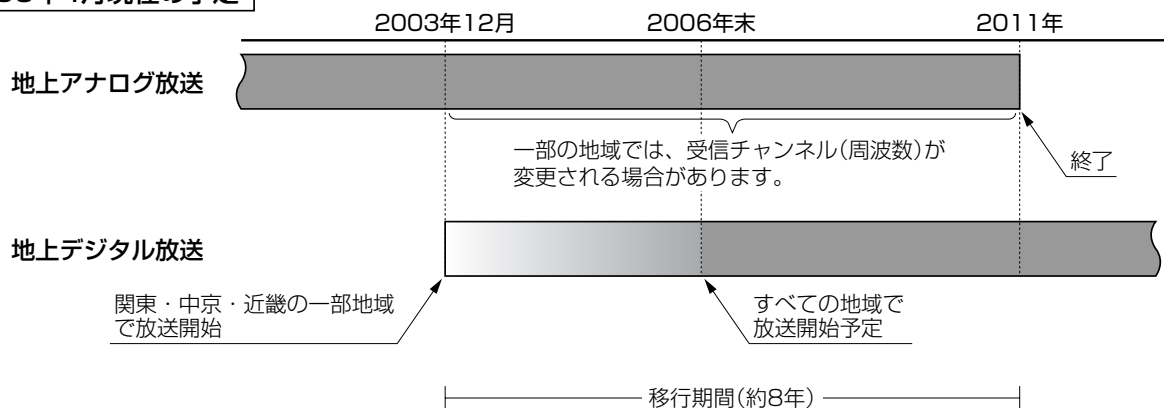
- 地上アナログ放送に関する設定です。
  チャンネルを個別に設定したり、電子番組表（Gガイド）の取得などの設定ができます。

デジタル放送の設定

☞ 79ページ

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送に関する設定です。
  チャンネルを個別に設定したり、地上デジタル放送の電子番組表（EPG）データの取得などの設定ができます。
- デジタル放送の双方向番組に参加したり、有料放送の契約をする場合に必要な、双方向通信の設定ができます。

■現行の地上アナログ放送は2011年7月までに終了します。

2011年7月までに地上アナログ放送は終了する予定です（2006年4月現在）。それまで現行の地上アナログ放送は、地上デジタル放送と並行して続けられます。（※地上アナログ放送と地上デジタル放送では、放送内容が異なる場合があります。）

お知らせ

- ARIB放送規格の変更により、メニューなどの仕様が変わる場合があります。

初期設定→かんたん設定のながれ

● 接続が終わってはじめて電源を入れたときは、テレビ画面に「初期設定」→「かんたん設定」の画面が表示されます。
● 本機を正しくお使いいただくために、次の手順に従って正しく設定してください。

ヒント

● 接続後、はじめて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されないときは、**122**ページをご覧ください。

本機のリモコンを使うと、他のシャープ製DVDレコーダーやDVDプレーヤーが動いてしまう場合は

● リモコンで本機を操作するためのリモコン番号の設定については、**60**ページをご覧ください。

お使いのテレビを本機のリモコンで操作したい場合は

● 本機のリモコンでテレビを操作するためのメーカー指定については、**62**ページをご覧ください。

初期設定をしよう

はじめに

● お買いあげ後、はじめて電源を入れたときは「初期設定」画面が表示されます。
初期設定では、次の設定を行います。

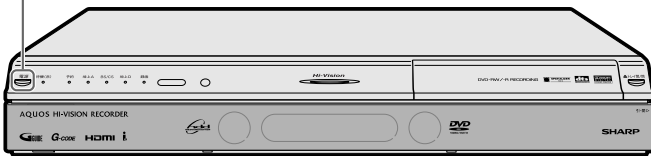
- BS・110度CS共用アンテナの電源供給の設定
- 放送中の番組の時間をずらして視聴できる「タイムシフト視聴」の設定

画面の案内にしたがって初期設定を行ってください。

● 「初期設定」→「かんたん設定」と、続けて設定します。

お知らせ

- 「初期設定」画面が表示されているときは、録画や再生など、本体の操作ができません。

電源ボタン

● 電源を入れる

操作開始

1 ① リモコンのテレビ［電源］を押して、テレビの電源を入れる

② リモコンのテレビ［入力切換］を押し、テレビの入力を本機を接続した入力（入力1など）に切り換える

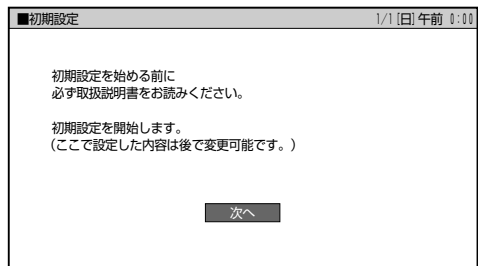
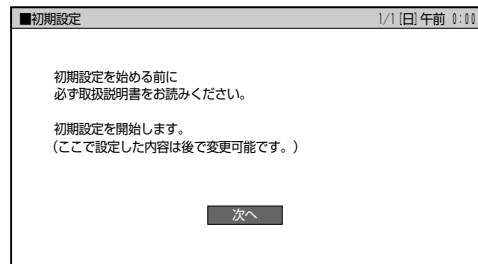
表示は例です。お使いのテレビにより異なります。

2 リモコンの［電源］、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」（**44**ページ）をご覧ください。
- 電源が入るとテレビ画面に「初期設定」画面が表示されます。

ヒント

- HDMIケーブル（市販品）でテレビと接続している場合で、「初期設定」画面が表示されないときは、「HDMI端子付きテレビと接続したときの設定をする」（**46**ページ）でHDMI出力に切り換えてください。

「初期設定」画面

3 「次へ」で［決定］を押す

次ページの手順4へつづく

BS•110度CS放送用アンテナ電源の設定をする

- BS･110度CS共用アンテナの設置のしかたにより、本機からアンテナに電源を供給する必要があります。

4 ▲▼で接続したアンテナの形態を選び、決定を押す

BS・110度CSデジタル放送を視聴するためにはアンテナを接続し、
アンテナ電源の設定をする必要があります。

BS・110度CSデジタル放送のアンテナ電源の設定を行います。
接続したアンテナはどのような形態ですか？

マンション等の集合アンテナ（電源切）
個別のアンテナ（電源入）
アンテナを接続しない

設定内容について

「マンション等の集合アンテナ（電源切）」
- マンション等の共聴タイプでBS･110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給する必要がないときに選びます。

「個別のアンテナ（電源入）」
- 個別にBS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置している場合で、アンテナに電源を供給する必要があるときに選びます。

「アンテナを接続しない」
- BS･110度CSデジタル放送用アンテナを設置していない場合に選びます。

タイムシフトの設定をする

- 放送中の番組を一時停止するなど、時間をずらして視聴できます。
これを「タイムシフト視聴」と表現しています。
ここでは、ずらせる時間の最長値を設定します。

5 で「する」または「しない」を選び、

決定を押す

タイムシフト視聴機能を使用すると、電源を入れている
あいだ中、放送中の番組を一定時間ぶん自動録画します。
これにより、見ている番組を一時停止したり、早戻しする
といった視聴ができるようになります。

※ただし、一定時間ぶんハードディスクに録画できる
時間が短くなります。

タイムシフト視聴機能をご使用になりますか？

する　しない

「する」 ☞ 手順**6**へ

「しない」 ☞ 手順**7**へ

6 ◀▶でタイムシフト視聴できる時間を選び、決定を押す

タイムシフト視聴できる時間を何分にしますか？

30分　60分　90分

※この値はあくまでも目安です。

- 「かんたん設定」画面（手順**7**）が表示されます。

ヒント

- 設定したタイムシフト視聴時間は、「スタートメニュー」－「各種設定」－「視聴･再生設定」－「タイムシフト視聴設定」で設定し直せます。（2. 操作編 **176**ページ）

かんたん設定の設定項目を選ぶ

7 ▲▼で設定項目を選び、決定を押す

「かんたん設定」画面

「テレビとの接続」 ☞ **53**ページの手順**5**へ

- HDMIケーブル（市販品）でテレビと接続した場合は、この「テレビとの接続」設定は不要です。

「オーディオ機器との接続」 ☞ **55**ページの手順**4**へ

「地上デジタル設定」 ☞ **56**ページの手順**4**へ

「地上アナログ設定」 ☞ **57**ページの手順**3**へ

- 「かんたん設定を終了する」を選んで「かんたん設定」を終了させた後でも、上記の項目は「スタートメニュー」から設定できます。（**52**～**57**ページ）

かんたん設定をしよう

はじめに

「かんたん設定」では、次の設定をします。

- テレビ側の入力端子の設定 ☞ 52～54ページ
- オーディオ機器の設定 ☞ 55ページ
- 地上デジタル放送の設定 ☞ 56ページ
- 地上アナログ放送の設定 ☞ 57ページ

お知らせ

- **「ハイビジョン対応テレビ」を選んだときの設定**または**「通常のテレビ」を選んだときの設定**で「ワイド（16:9）」を選択したときは、接続したワイドテレビの画面サイズを「フル」にすることをおすすめします。（これ以外の画面サイズではうまく映らない場合があります。）

ヒント

- スタートメニュー画面は1分間何も操作しないと、自動的に解除され、テレビ画面に戻ります。

HDMIケーブル（市販品）でテレビと接続した場合は ☞ **55**ページから設定を行ってください。

テレビと接続したときの設定をする

テレビと本機の準備

① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機と接続した入力（入力1など）に切り換える
③ B-CASカードをセットする
- B-CASカードのセットのしかたは**43**ページをご覧ください。

④ リモコンの［電源］、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」（**44**ページ）をご覧ください。

操作開始

1 ［スタートメニュー］を押す

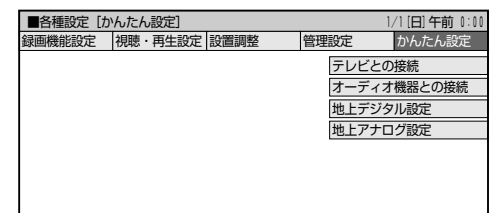
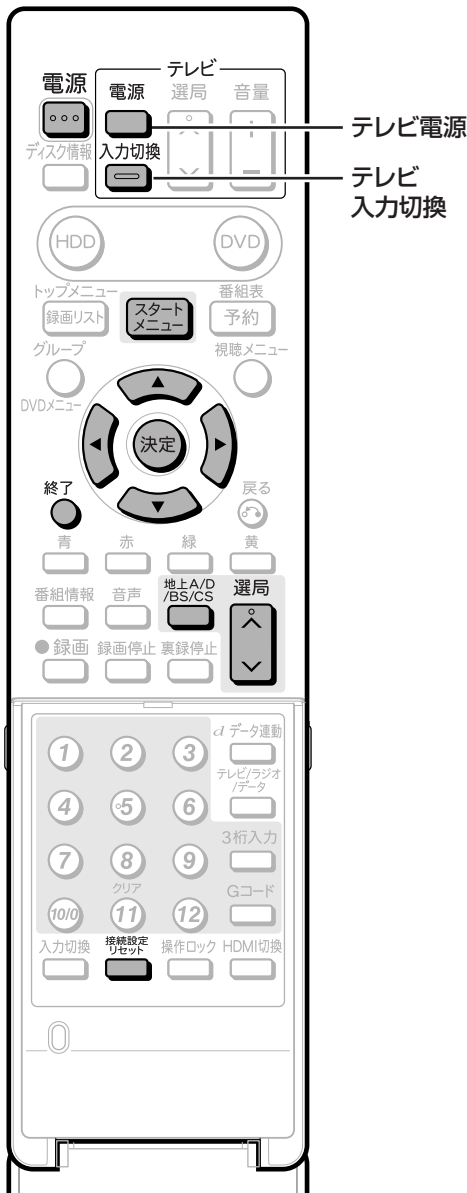
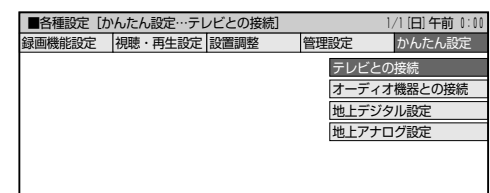
- スタートメニューが表示されます。

2 ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、［決定］を押す

3 ◀▶で「かんたん設定」を選ぶ

■各種設定 ［かんたん設定］　1/1［日］午前 0:00
録画機能設定｜視聴・再生設定｜設置調整｜管理設定｜かんたん設定
- テレビとの接続
- オーディオ機器との接続
- 地上デジタル設定
- 地上アナログ設定

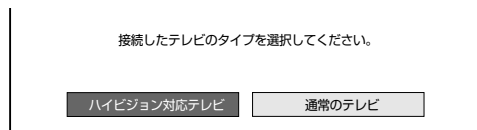
4 ▲▼で「テレビとの接続」を選び、［決定］を押す

■各種設定 ［かんたん設定…テレビとの接続］　1/1［日］午前 0:00
録画機能設定｜視聴・再生設定｜設置調整｜管理設定｜かんたん設定
- テレビとの接続
- オーディオ機器との接続
- 地上デジタル設定
- 地上アナログ設定

次ページの手順5へつづく

● 接続したテレビの種類や接続した端子を選ぶ

5 ◀▶で「ハイビジョン対応テレビ」または「通常のテレビ」を選び、決定を押す

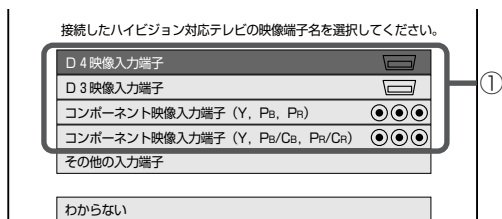
接続したテレビのタイプを選択してください。

ハイビジョン対応テレビ　通常のテレビ

「ハイビジョン対応テレビ」 ☞ 手順**6**へ

「通常のテレビ」 ☞ **54**ページの手順**6**へ

● 「ハイビジョン対応テレビ」を選んだときの設定

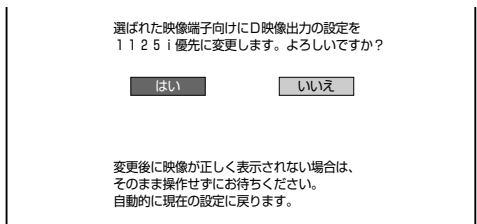
6 ▲▼でテレビ側の端子名を選び、

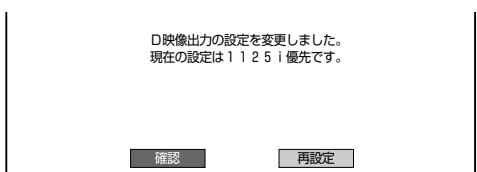
- 本機を接続したテレビの端子名を選びます。

- 「その他の入力端子」または「わからない」を選んでを押すと、手順**9**の画面になります。

7 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

選ばれた映像端子向けにD映像出力の設定を
１１２５ｉ優先に変更します。よろしいですか？

はい　いいえ

変更後に映像が正しく表示されない場合は、
そのまま操作せずにお待ちください。
自動的に現在の設定に戻ります。

- 手順**6**で①の端子を選んだときは、「1125i優先」※に設定されます。
- 「いいえ」を選んで決定を押すと、手順**6**の画面に戻ります。

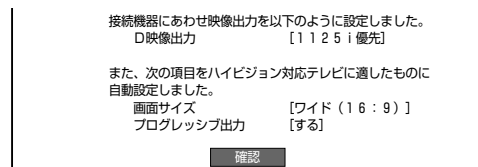
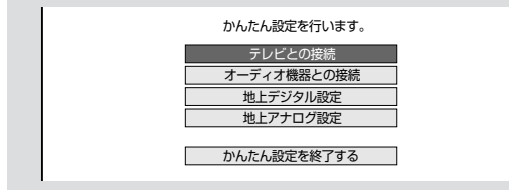
8 ◀▶で「確認」を選び、決定を押す

- 「再設定」を選んで決定を押すと、手順**6**の画面に戻ります。

9 設定内容を確認し、決定を押す

［例］「D4映像入力端子」を選んだときの画面

接続機器にあわせ映像出力を以下のように設定しました。
D映像出力　［１１２５ｉ優先］

また、次の項目をハイビジョン対応テレビに適したものに
自動設定しました。
画面サイズ　［ワイド（１６：９）］
プログレッシブ出力　［する］

確認

- 「画面サイズ」と「プログレッシブ出力」は、自動的に設定されます。
- スタートメニューから設定した場合は、**52**ページの手順**4**の画面に戻ります。

「初期設定」画面から操作をしているときは
- 次の画面が表示されます。

- 続けて別の設定をするときは、▲▼で設定したい項目を選んで決定を押します。

「オーディオ機器との接続」 ☞ **55**ページの手順**4**へ

「地上デジタル設定」 ☞ **56**ページの手順**4**へ

「地上アナログ設定」 ☞ **57**ページの手順**3**へ

10 終了 を押す

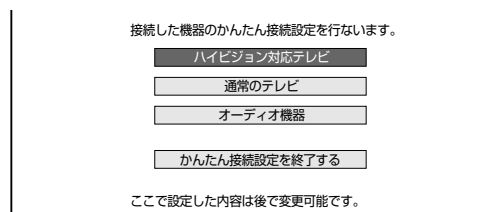
- かんたん設定が終了します。

ヒント

- 手順**6**で「わからない」を選択したときは、「D映像出力」が「D1」（**54**ページ）に自動的に設定されます。

※「1125i優先」とは、映像を1125iで出力する設定です。
市販のDVDビデオは525i（525p）で出力されます。

● 接続設定をリセットするときは

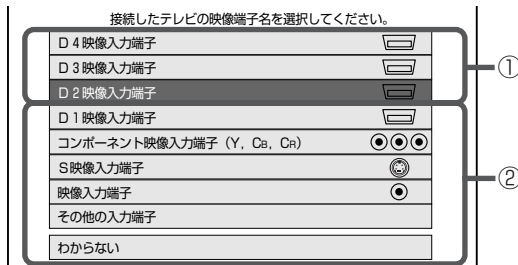
- 映像端子の設定を間違えて画面が映らなくなったときは、リモコンふた内の 接続設定リセット を「かんたん設定」画面が表示されるまで押し続けてください。「テレビとの接続」と「オーディオ機器との接続」の設定がリセットされ、下の画面になります。

- 接続設定をリセットする前に、テレビと接続する映像ケーブルを次のどれか一つのタイプだけにしてください。
  - 映像ケーブル
  - S映像ケーブル
  - D映像ケーブル
  - HDMIケーブル

  リセットすると、映像出力の種類が自動設定されます。

次ページへつづく ▶▶▶

● 「通常のテレビ」を選んだときの設定

● **53**ページの手順**5**で「通常のテレビ」を選んだときの設定手順です。

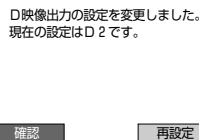
6 でテレビ側の端子名を選び、決定を押す

①の端子名を選んだとき　☞ 手順**7**へ
②の端子名を選んだとき　☞ 手順**9**へ
「わからない」を選んだとき　☞ 手順**9**へ

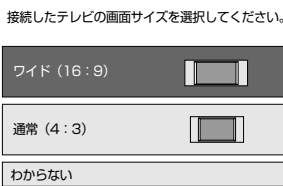
● 接続した端子の名前が画面に表示されない場合や、わからない場合は、「その他の入力端子」または「わからない」を選んで決定を押します。（「わからない」を選ぶと、自動的に「D1」に設定されます。）

7 で「はい」を選び、決定を押す

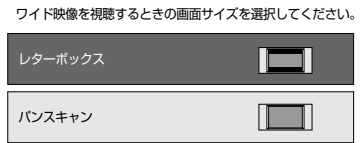
● 「いいえ」を選んで決定を押すと、手順**6**の画面に戻ります。

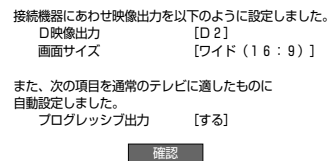
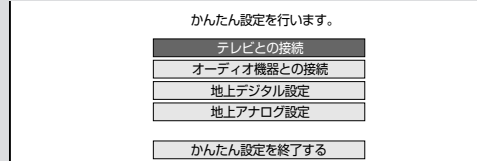
8 で「確認」を選び、決定を押す

D映像出力の設定を変更しました。
現在の設定はD２です。
確認　再設定

● 「再設定」を選んで決定を押すと、手順**6**の画面に戻ります。

9 でテレビの画面サイズを選び、決定を押す

「ワイド（16:9）」　☞ 手順**11**へ
「通常（4:3）」　☞ 手順**10**へ

● 接続したテレビの画面サイズがわからない場合は、「わからない」を選んで決定を押します。
（「わからない」を選ぶと、自動的に「通常（4:3）」に設定されます。）

10 でワイド映像を視聴するときの画面サイズを選び、決定を押す

11 設定内容を確認し、決定を押す

［例］「D2映像入力端子」「ワイド（16:9）」を選んだときの画面

● 「プログレッシブ出力」は自動的に設定されます。
● 手順**6**で②の端子名を選んだときは、「D映像出力」が「D1」に設定されます。
● スタートメニューから設定した場合は、**52**ページの手順**4**の画面に戻ります。

「初期設定」画面から操作をしているときは
● 次の画面が表示されます。

● 続けて別の設定をするときは、で設定したい項目を選んで決定を押します。

「オーディオ機器との接続」　☞ **55**ページの手順**4**へ
「地上デジタル設定」　☞ **56**ページの手順**4**へ
「地上アナログ設定」　☞ **57**ページの手順**3**へ

12 終了を押す

● かんたん設定が終了します。

● オーディオ機器やHDMI端子付きテレビと接続したときの設定をする

● オーディオ機器を接続したときは、オーディオ機器の種類に合わせて設定します。

操作開始

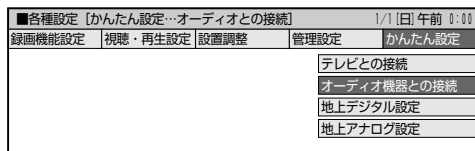
1 スタートメニュー を押す

● スタートメニューが表示されます。

2 ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

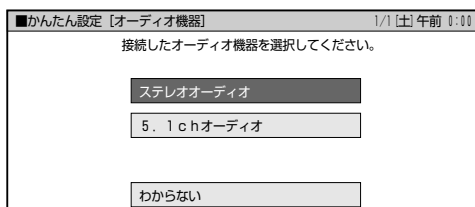
3 ① ◀▶で「かんたん設定」を選ぶ

② ▲▼で「オーディオ機器との接続」を選び、決定を押す

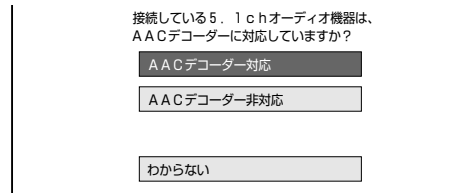
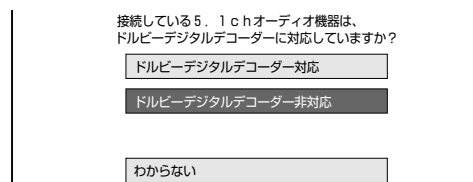
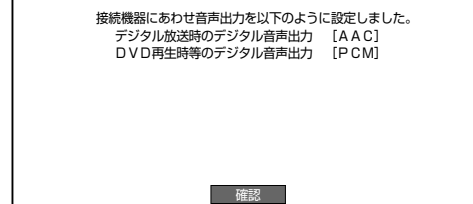
■各種設定 [かんたん設定…オーディオとの接続] 1/1 [日] 午前 0:00
録画機能設定 | 視聴・再生設定 | 設置調整 | 管理設定 | かんたん設定
テレビとの接続
オーディオ機器との接続
地上デジタル設定
地上アナログ設定

4 ▲▼で「ステレオオーディオ」、または「5.1chオーディオ」を選び、決定を押す

「ステレオオーディオ」･･･ 2ch（ステレオタイプ）のオーディオ機器、HDMI端子付きのテレビと接続したときに選びます。

「5.1chオーディオ」･･･ 5.1ch対応のオーディオ機器とデジタル接続したとき、または5.1ch対応のHDMI端子付きテレビと接続したときに選びます。

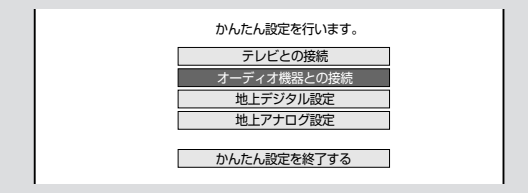
■かんたん設定 [オーディオ機器] 1/1 [土] 午前 0:00
接続したオーディオ機器を選択してください。
ステレオオーディオ
５．１ｃｈオーディオ
わからない

「ステレオオーディオ」 ☞ 手順**7**へ
「5.1chオーディオ」 ☞ 手順**5**へ
「わからない」 ☞ 手順**7**へ

5 ▲▼で「AACデコーダー対応」、または「AACデコーダー非対応」を選び、決定を押す

接続している５．１ｃｈオーディオ機器は、
ＡＡＣデコーダーに対応していますか？
ＡＡＣデコーダー対応
ＡＡＣデコーダー非対応
わからない

6 ▲▼で「ドルビーデジタルデコーダー対応」、または「ドルビーデジタルデコーダー非対応」を選び、決定を押す

7 設定内容を確認し、決定を押す

接続機器にあわせ音声出力を以下のように設定しました。
デジタル放送時のデジタル音声出力 ［ＡＡＣ］
ＤＶＤ再生時等のデジタル音声出力 ［ＰＣＭ］
確認

● スタートメニューから設定した場合は、手順**3**の画面に戻ります。

「初期設定」画面から操作をしているときは

● 次の画面が表示されます。

● 続けて別の設定をするときは、▲▼で設定したい項目を選んで決定を押します。

「地上デジタル設定」 ☞ **56**ページの手順**4**へ
「地上アナログ設定」 ☞ **57**ページの手順**3**へ

8 終了を押す

● かんたん設定が終了します。

● 手順**5**･**6**で「わからない」を選んだときは、「ステレオオーディオ」で楽しめる設定に、自動的に設定されます。

次ページへつづく ▶▶▶

● 地上デジタル放送の受信設定をする

操作開始

1 地上A/D/BS/CS をくり返し押して「地上デジタル放送」を選び、決定を押す

■放送切換
地上アナログ放送
地上デジタル放送
ＢＳデジタル放送
ＣＳデジタル放送

2 ① スタートメニューを押す

② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

3 ① ◀▶で「かんたん設定」を選ぶ

② ▲▼で「地上デジタル設定」を選び、決定を押す

■各種設定 [かんたん設定…地上デジタル設定]　1/1 [日] 午前 0:00
録画機能設定 | 視聴・再生設定 | 設置調整 | 管理設定 | かんたん設定
テレビとの接続
オーディオ機器との接続
地上デジタル設定
地上アナログ設定

4 ▲▼◀▶でお住まいの地域を選び、決定を押す

お住まいの地域を選択してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

5 ▲▼◀▶でお住まいの住所に最も近い地域を選び、決定を押す

茨城	栃木
群馬	埼玉
千葉	東京
東京　島部	神奈川

● 設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

チャンネルサーチを行いお住まいの地域の地上デジタル放送のチャンネルを自動登録します。
現在の地域設定は○○○です。

視聴可能な放送局を確認しています。
しばらくお待ちください。

受信チャンネル　：　○○ｃｈ
リモコン番号　：　1
放送局名　：　○○○総合

を確認しました。
○○○ｃｈを確認しています。

中止

● 途中で「中止」で決定を押したときは、チャンネル設定がされません。再度設定し直すときは、「地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する」（**84**ページ）で設定し直してください。

6 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

居住地向けの地上デジタル放送のチャンネルを登録しました。

次に地上デジタル放送番組表データ取得の設定を行います。
番組表を自動で取得するようにしますか？

※「する」に設定した場合、電源「切」時に
しばらくの間データの取得を行います。

ヒント

● 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）データの取得設定は、「番組表取得設定をする」（**86**ページ）で設定し直せます。
● 通常は「する」に設定することをおすすめします。

7 「終了」で決定を押す

地上デジタル放送の設定が終了しました。

終了

● スタートメニューから設定した場合は、手順**3**の画面に戻ります。

「初期設定」画面から操作をしているときは
● 次の画面が表示されます。

かんたん設定を行います。
テレビとの接続
オーディオ機器との接続
地上デジタル設定
地上アナログ設定
かんたん設定を終了する

● 続けて別の設定をするときは、▲▼で設定したい項目を選んで決定を押します。

「地上アナログ設定」　☞ **57**ページの手順**3**へ

8 終了を押す

● かんたん設定が終了します。

お知らせ

● 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）放送サービスの地上デジタル放送は「CATVパススルー方式」で配信されている放送です。（「トランスモジュレーション方式」には対応していません。）

CATVパススルー方式とは
● CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に渡す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド（MID:C13〜C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23〜C62）帯」です。

有料放送を受信したり双方向番組に参加したい場合は
● デジタル放送の双方向通信のための設定が必要です。**79**ページをご覧ください。

地上アナログ放送の受信設定をする

操作開始

1
① [スタートメニュー]を押す
② で「各種設定」を選び、[決定]を押す

2
① [◀][▶]で「かんたん設定」を選ぶ
② [▲][▼]で「地上アナログ設定」を選び、[決定]を押す

3 現在日時を設定する
① [◀][▶]で「年」「月」「日」「時」「分」を選ぶ
② [▲][▼]で「年」「月」「日」「時」「分」を入力する
③ [◀][▶]で「設定」を選び、[決定]を押す
- 詳しくは**58**ページの「時計を合わせよう」をご覧ください。

- デジタル放送を受信してない場合のみ、日時を設定します。
- デジタル放送を受信している場合は、日時を変更せずに、[◀][▶]で「設定」を選び、[決定]を押してください。

4 [▲][▼]でお住まいの地域を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]でお住まいの住所に最も近い地域を選び、[決定]を押す

6 [▲][▼][◀][▶]でホスト局を選び、[決定]を押す
- **ホスト局**とは、地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）のデータを配信している**TBS系列の放送局**のことです。
- 通常は、最初に黄色に反転している項目を選んでください。（下記の画面は一例です）

- 地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）を使用しないときや、ケーブルテレビ（CATV）を受信していて電子番組表（Gガイド）データが受信できないときは、「地上アナログ番組表（Gガイド）を使用しない」を選びます。

7 「終了」で[決定]を押す

- スタートメニューから設定した場合は、手順**2**の画面に戻ります。

「初期設定」画面から操作をしているときは
- 次の画面が表示されます。

8 [終了]を押す
- かんたん設定が終了します。

受信の確認をする

9
① [地上A/D/BS/CS]をくり返し押して「地上アナログ放送」を選び、[決定]を押す

② [選局]を押して、全ての放送が受信できるかどうか確認する
- 放送が映らない、または追加したいチャンネル、映りの悪いチャンネルがある場合は、「一局ずつ手動で設定する」で設定してください。（**66**ページ）

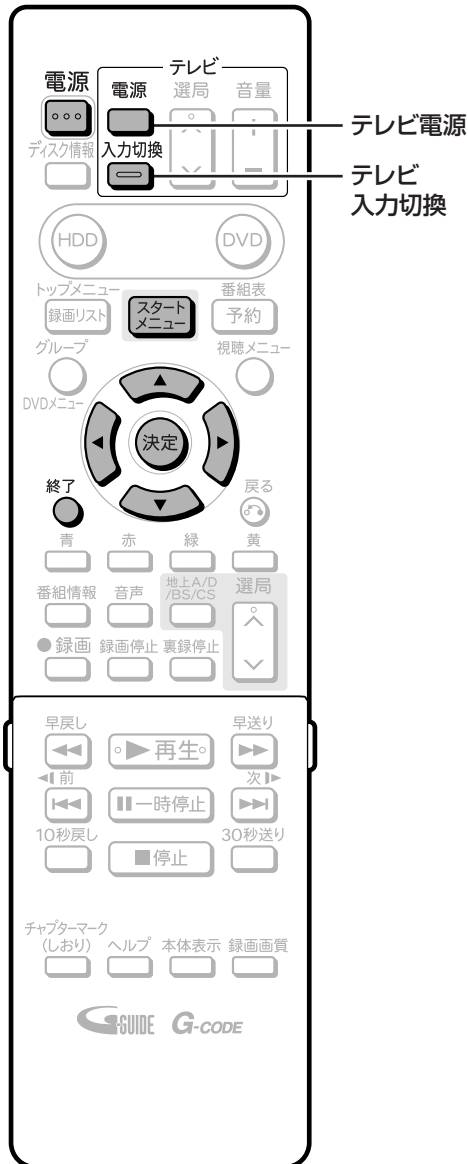
お知らせ
- 電子番組表（Gガイド）の受信については、**77**ページをご覧ください。
- ケーブルテレビ（CATV）放送サービスで放送を受信しているときや、地上デジタル放送のサービス開始にともない地上アナログ放送の周波数が変更されている場合など、上記の地上アナログ設定を行っても、放送が受信できない場合があります。そのようなときは、「一局ずつ手動で設定する」（**66**ページ）でチャンネルを設定し直してください。

時計を合わせよう（日付・時刻設定）

はじめに

- デジタル放送を受信できないときは、下記の手順で時計合わせを行ってください。
- デジタル放送が受信できるときは、下記の手順で時計を合わせる必要がありません。
  （デジタル放送を受信すると、自動的に時計合わせが行われます。）

お知らせ

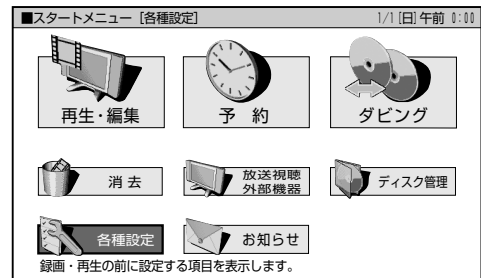
- 時計合わせがされていないときは、録画予約やダビングが行えません。

［例］2006年10月21日（土）午後10時00分に合わせる

テレビと本機の準備

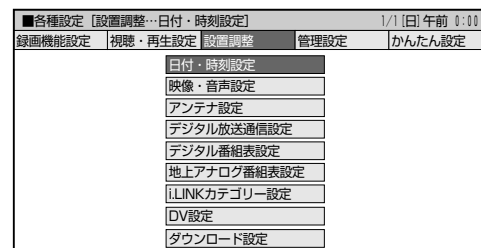
① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機を接続した入力（入力1など）に切り換える
③ リモコンの 電源 、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」（**44**ページ）をご覧ください。

操作開始

1

① スタートメニュー を押す

② ▲▼◀▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

2

① ◀▶ で「設置調整」を選ぶ
② ▲▼ で「日付・時刻設定」を選び、決定 を押す

次ページの手順3へつづく

3 ▲▼で「日付・時刻設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「年」を入力し、決定を押す

- カーソルが「月」の欄に移動します。

5 ▲▼で「月」を入力し、決定を押す

- カーソルが「日」の欄に移動します。
- 入力した欄を修正したいときは、◀▶で修正したい欄に移動し、▲▼で入力し直します。

6 同様の操作で「日」「時」「分」を入力する

- 「分」を入力して決定を押すと、カーソルが「設定」に移動します。

7 「設定」で決定を押す

- 日時が設定されます。

ここに設定した日時が表示されます。

8 終了を押し、通常画面に戻す

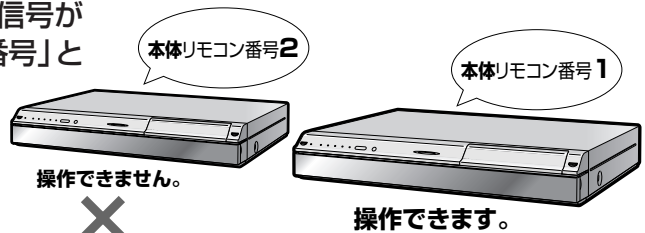
リモコン番号を設定しよう

はじめに

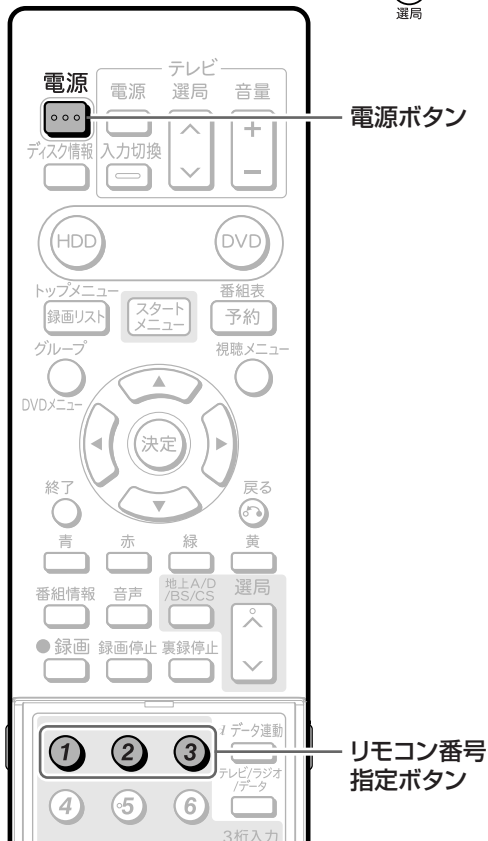
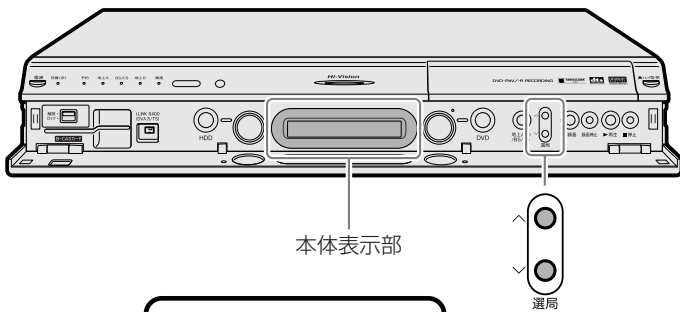
- 本機にはリモコンで本機を操作するための信号が3種類あります。それらの信号を「リモコン番号」といいます。

リモコン側	本体側
● リモコン番号1	● 本体リモコン番号1
● リモコン番号2	● 本体リモコン番号2
● リモコン番号3	● 本体リモコン番号3

リモコン番号はリモコン側と本体側に設定し、それぞれの番号を合わせておきます。

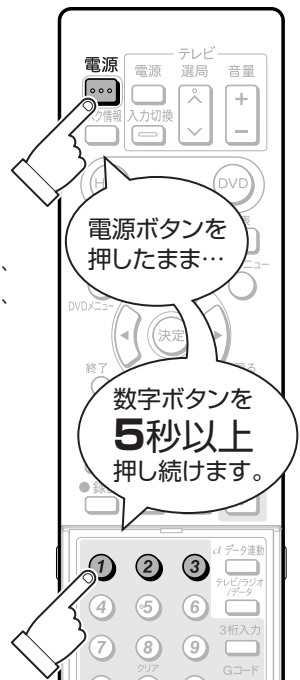
- 本機とシャープ製DVDレコーダーやDVDプレーヤーを並べて使っていて、リモコンで本機を操作すると2台が同時に動作する場合は、他機と異なるリモコン番号を設定してください。

リモコン側の「リモコン番号」と本体側の「本体リモコン番号」を合わせると、操作ができます。

重 要

- 本体とリモコンは同じリモコン番号に設定してください。リモコン番号が違うと、リモコンで本体の操作が行えません。

● リモコン側のリモコン番号を設定する

操作開始

1 リモコンの電源を押したまま、リモコンふた内の①、②、③のいずれかを5秒以上押す

- 電源は必ず先に押してください。
- ①で「リモコン番号1」に、②で「リモコン番号2」に、③で「リモコン番号3」に切り換わります。

2 リモコンの電源を押して本機の電源を入／切できるか確認する

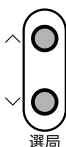
本機の電源が入／切できないときは

- 本体側のリモコン番号がリモコン側のリモコン番号と合っていません。☞ 手順3へ

次ページの手順3へつづく

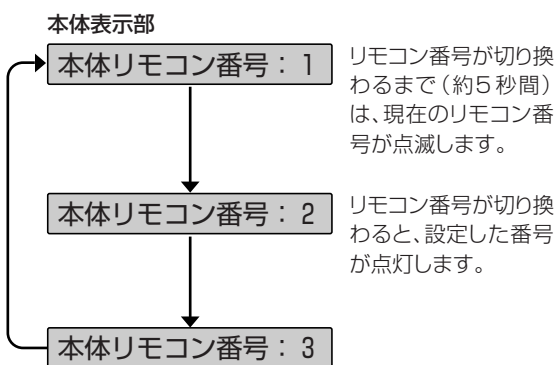
本体側のリモコン番号を設定する

3 本機の電源を「切」にする

4 本機前面扉内の を同時に5秒以上押す

- 押すたびに本体側のリモコン番号が、次のように切り換わります。

本体表示部

本体リモコン番号：1 — リモコン番号が切り換わるまで（約5秒間）は、現在のリモコン番号が点滅します。

本体リモコン番号：2 — リモコン番号が切り換わると、設定した番号が点灯します。

本体リモコン番号：3

5 リモコンの電源を押して本機の電源を入／切できるか確認する

本機の電源が入／切できないときは
- 本体側のリモコン番号を確認してください。
  ☞「**リモコン操作ができないときは**」へ

お知らせ

- 長時間（約1日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、リモコン側のリモコン番号が「リモコン番号1」に戻ります。
- 「システムリセット」（2. 操作編 **180**ページ）または「個人情報初期化設定」（2. 操作編 **175**ページ）を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号:1」に戻ります。

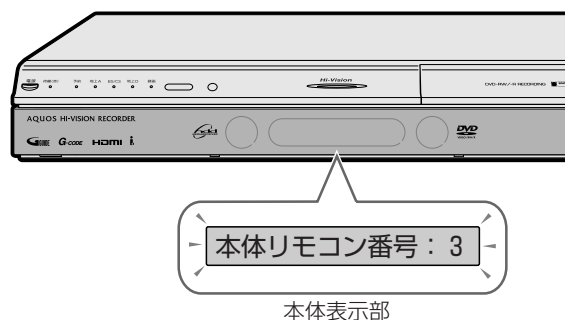
本体側のリモコン番号を設定するとき
- 「番組表取得設定」（**86**ページ）を「する」に設定しているときは、本機の電源を「切」にしたとき、番組表（EPG）情報を取得します。番組表（EPG）情報取得中は本体内部の電源が入っているため、本体側のリモコン番号設定ができません。本体側のリモコン番号設定は、電源が切れるまで（約30分）待つか、「番組表取得設定」を「しない」に設定してから行ってください。
- アナログ放送の電子番組表（Gガイド）データ取得中は、一度電源を入れて、電源を切ってから行ってください。
- 本機の電源を切っていても、本体内部の電源が入っているときは、本体側のリモコン番号設定が行えません。

リモコン操作ができないときは

- リモコン番号の設定が違うと、リモコンの電源を押すたびに、本体表示部に「本体リモコン番号:1」または「本体リモコン番号:2」または「本体リモコン番号:3」と表示されます。
  本体側のリモコン番号を確認し、リモコン側のリモコン番号を合わせてください。

操作開始

1 リモコンの電源を押し、本体表示部に点滅している「本体リモコン番号:1」または「本体リモコン番号:2」または「本体リモコン番号:3」を確認する

[例]「本体リモコン番号:3」が点滅しているとき

本体表示部

- 点滅している番号が、本体側に設定されているリモコン番号です。
  （電源オフ時計表示設定が「しない」になっているときは、本体表示部のバックライトが消えています。）

2 リモコン側のリモコン番号を、点滅表示している本体リモコン番号に合わせる

[例] リモコン側を「リモコン番号3」に切り換えるとき

電源を押しながらリモコンふた内の③を5秒以上押す。

3 リモコンの電源を押し、本機の電源を入／切できるか確認する

お知らせ

「本体リモコン番号」が点滅しないのに操作できないときは、次のことを確認してください。
- 乾電池が正しくセットされていますか。
- 乾電池が古く寿命がきていませんか。
  新しい乾電池と交換してください。
- 本体のリモコン受光部の前に障害物などがありませんか。

お使いのテレビを本機のリモコンで操作しよう(メーカー指定)

はじめに

- 本機のリモコンは、国内メーカー11社のテレビのメーカー指定番号を記憶しています。ご使用になる前にメーカーを指定しておくと、お手持ちのテレビを操作することができます。
- 工場出荷時は「シャープA」※に設定されています。

メーカーを指定する

操作開始

1 リモコンのテレビ 電源 を押したまま、「メーカー指定ボタン」(下の表参照)を5秒以上押す

- リモコンをテレビに向けて操作します。

例: シャープA : 電源 + 1

対応メーカーとその指定番号一覧表

メーカー	指定ボタン	メーカー	指定ボタン
シャープA※	電源 + 1	日立	電源 + 9
シャープB	電源 + 2	東芝	電源 + 10/0
シャープC	電源 + 3	パイオニア	電源 + クリア 11
松下1	電源 + 4	三洋1	電源 + 12
松下2	電源 + 5	三洋2	電源 + d データ連動
日本ビクター	電源 + 6	フナイ	電源 + テレビ/ラジオ/データ
ソニー	電源 + 7	アイワ	電源 + 3桁入力
三菱	電源 + 8		

- 同じメーカーで指定番号が2つ以上あるものは、順番に試して、テレビの操作ができるものを選んで設定してください。

テレビを操作する

2 テレビが操作できるか確認する

- リモコンをテレビに向けて操作します。

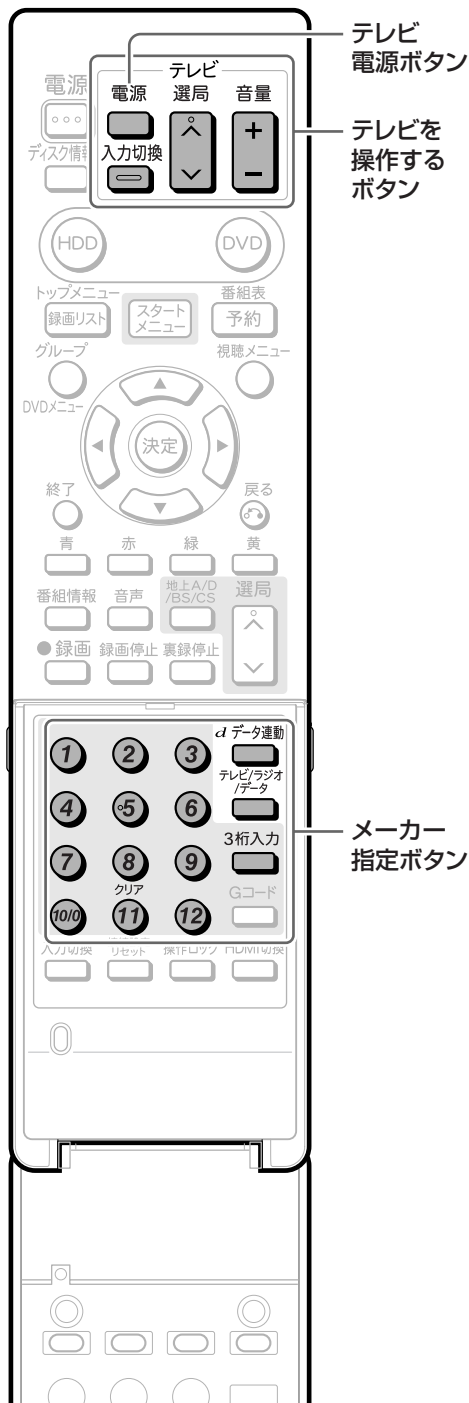
電源 ･････テレビの電源を入／切する

入力切換 ･････テレビの入力を切り換える

選局 ･････テレビのチャンネルを選局する

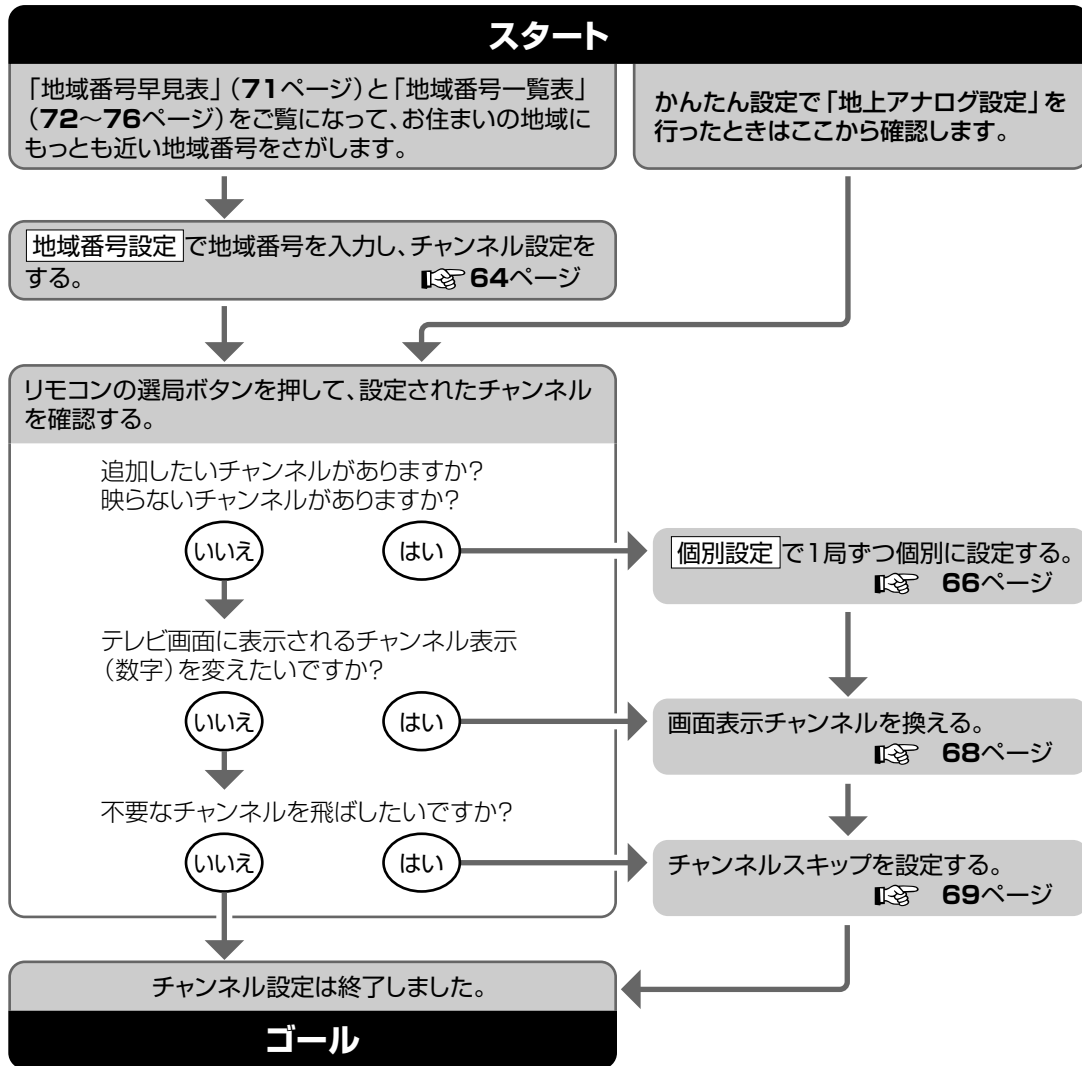
音量 ･････テレビの音量を調整する

お知らせ

- テレビの種類や機種によっては、本機のリモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- 本機のリモコンのテレビ操作部は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。
  メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- 長時間(約1日)リモコンに電池がない状態が続いたときは、メーカーの設定は「シャープA」に戻ります。メーカー指定をやり直してください。

VHF／UHF(地上アナログ放送)のチャンネル設定をしよう

● お住まいの地域によって、受信できるチャンネルは違います。引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わったときなどは、下の「チャンネル設定のながれ」をご覧のうえ、受信チャンネルを設定してください。
● 工場出荷時（地域番号「－－－（000）」）は、VHF1～12チャンネルが受信できるよう設定されています。

チャンネル設定のながれ

- チャンネル設定には「地域番号設定」と「個別設定」（1局ずつ個別にチャンネルを設定）の2つの方法があります。
- 基本的には、まず「地域番号設定」でチャンネルを自動設定し、さらに設定が必要なときに「個別設定」をします。
- **かんたん設定の「地上アナログ設定」を行ったときは、「地域番号設定」によるチャンネル設定の必要はありません。選んだ地域が設定されています。**

「地域番号設定」とは

ご使用になる場所にもっとも近い都市（受信している電波を送信している都市）を**71**ページに記載の地域番号早見表から選び「地域番号」を入力する方法です。

- その地域ごとに、あらかじめ見られる放送局の受信チャンネルを定めた設定方法です。
- 地域番号一覧表（**72**～**76**ページ）には放送局名を記載しています。
- お住まいの都市の中でも、地域によって受信チャンネルが異なるために、地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは「個別設定」で設定をしてください。

「個別設定」とは

地域番号一覧表に当てはまらない地域のチャンネル設定や、チャンネル設定後に他のチャンネルを追加したり削除するときに行う設定です。チャンネルを1局ずつ個別に設定できます。

ケーブルテレビ（CATV）をご覧になるときは

- ケーブルテレビ（CATV）の受信は、サービスが行われている地域に限ります。
- ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ（CATV）会社との受信契約が必要です。
また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画には、ケーブルテレビ（CATV）専用のホームターミナル（アダプター）が必要になります。
詳しくは、ケーブルテレビ（CATV）会社にご相談ください。

お知らせ

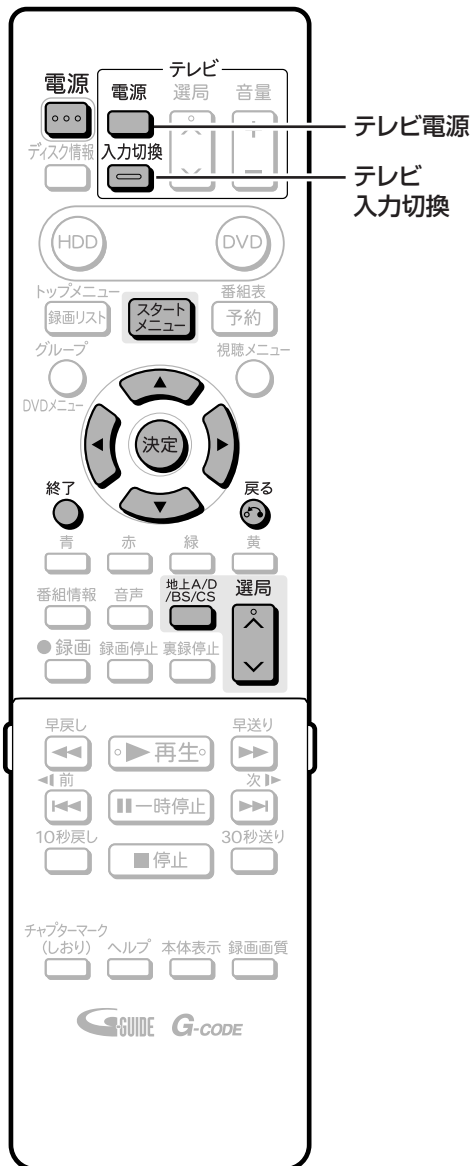
- Gガイドを使用する場合は、必ずかんたん設定の「地上アナログ設定」（**57**ページ）または地域番号によるチャンネル設定（**64**ページ）を行ってください。

地域番号で自動設定する

はじめに

- 地域番号を入力し、自動でチャンネル設定を行います。
- アナログ放送の電子番組表（Gガイド）のデータを取得するためには、地域番号の設定が必要です。
- かんたん設定の「地上アナログ放送の受信設定をする」（**57**ページ）を設定したときは、この設定は必要ありません。

ヒント

- 設定中に約1分間何も操作しないと、スタートメニュー画面が解除され、通常画面に戻ります。もう一度［スタートメニュー］を押し、初めから操作し直してください。

テレビと本機の準備

① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機を接続した入力（入力1など）に切り換える
③ リモコンの［電源］、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」（**44**ページ）をご覧ください。

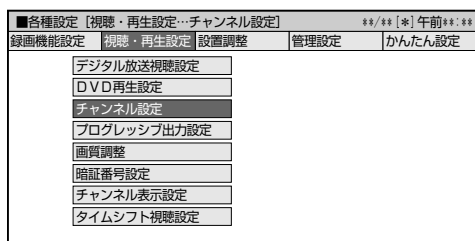
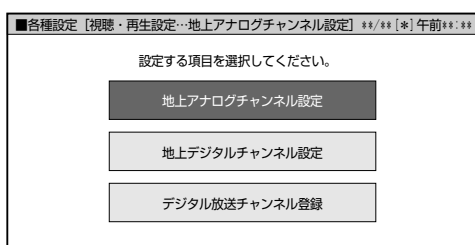
操作開始

1 ［スタートメニュー］を押し、スタートメニュー画面を表示する

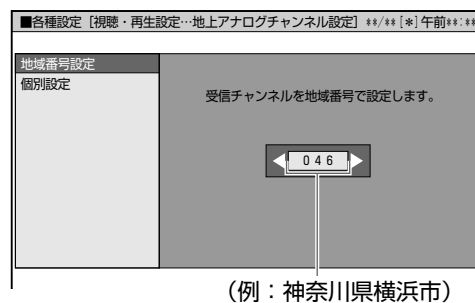
2 ［▲］［▼］［◀］［▶］で「各種設定」を選び、［決定］を押す

次ページの手順3へつづく

3 ① ◀▶で「視聴・再生設定」を選び、▲▼で「チャンネル設定」を選ぶ

② 決定を押す

4 ▲▼で「地上アナログチャンネル設定」を選び、決定を押す

5 ① ▲▼で「地域番号設定」を選び、決定を押す

② 地域番号早見表（**71**ページ）または地域番号一覧表（**72**～**76**ページ）で確認した地域番号を◀▶で選ぶ

（例：神奈川県横浜市）

● 戻るを押すと、前の画面に戻ります。

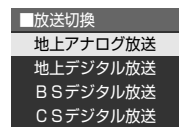
● すでに電子番組表（Gガイド）データがある場合に地域番号を設定（変更）すると、電子番組表（Gガイド）データが消えます。

6 決定を押す

● 自動設定が実行されます。しばらくお待ちください。

7 終了を押し、終了する

● 受信の確認をする

8 ① 地上A/D /BS/CSを何回か押して「地上アナログ放送」を選び、決定を押す

② 選局を押して、全ての放送が受信できるかどうか確認する

● 放送が映らない、または追加したいチャンネル、映りの悪いチャンネルがある場合は、「一局ずつ手動で設定する」で設定してください。（**66**ページ）

一局ずつ手動で設定する

はじめに

次の場合は、「個別設定」で一局ずつ受信チャンネルを設定してください。

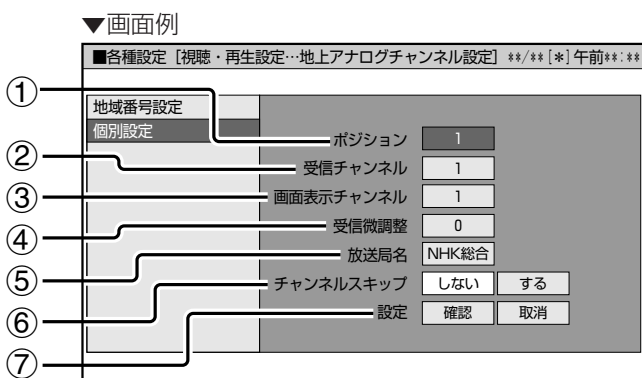
- 地域番号で自動設定できないとき。（ケーブルテレビ放送を受信しているとき）
- 地域番号で自動設定後に、受信チャンネルを追加したいとき。
- 地域番号で自動設定された受信チャンネルがきれいに映らないとき。
- 放送のないチャンネルをとばしたい（スキップさせたい）とき。
- 本機をお使いになる地域ごとに受信できる放送（チャンネル）を個別にさがして設定したいとき。

「個別設定」画面で使われる用語

▼画面例

■各種設定［視聴・再生設定…地上アナログチャンネル設定］ **/** [*] 午前**:**

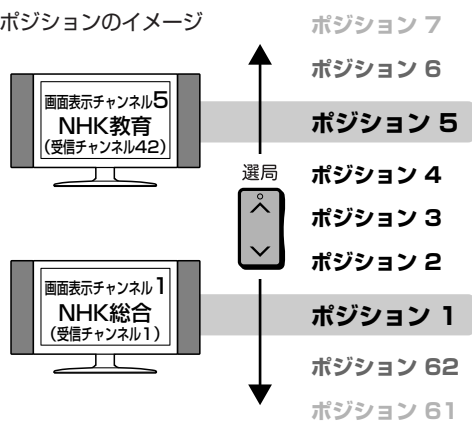
地域番号設定
個別設定

①ポジション　1
②受信チャンネル　1
③画面表示チャンネル　1
④受信微調整　0
⑤放送局名　NHK総合
⑥チャンネルスキップ　しない　する
⑦設定　確認　取消

①ポジションとは（68ページ・手順5）

- ご使用の地域で受信できる放送を入れる場所のことで、選局する順番を表します。
- 本機では、放送を入れる場所が地上アナログ放送（VHF/UHF）で1～62ポジションがあります。

  ※1～12ポジションは、リモコンふた内の(1)～(12)で選局できます。

  13～62ポジションは、[選局 ∧∨]で選局します。出荷時の設定では13～62ポジションは、チャンネルスキップが設定されています。
- 1～62の各ポジションには、お好みで放送（地上アナログ放送／ケーブルテレビ（CATV）放送）を入れることができます。

ポジションのイメージ

②受信チャンネルとは（68ページ・手順6）

- 放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
- 本機は、地上アナログ放送（VHFは1～12チャンネル、UHFは13～62チャンネル）、ケーブルテレビ（CATV）放送（C13～C63チャンネル）を受信できます。
- ケーブルテレビ（CATV）放送を受信するときは、ここでケーブルテレビ（CATV）放送の受信チャンネルを設定します。

③画面表示チャンネルとは（68ページ・手順7）

- テレビ画面に表示されるチャンネル（数字）のことです。（予約録画時の選局は、この表示で行います。）
- ご使用の地域で使われている使い慣れたチャンネル表示にしておくと便利です。

④受信微調整とは（69ページ・手順8）

- 映像の色がうすく見づらいときなどに、受信チャンネルを微調整します。

⑤放送局名とは（69ページ・手順9）

- 電子番組表（Gガイド）を表示させたときに表示される放送局名のことで、地域番号で設定されている放送局名が表示されます。
- 個別設定で設定できる放送局名は、地域番号一覧表で選んだ地域に記載されている放送局名しか選択できません。

⑥チャンネルスキップとは（69ページ・手順10）

- 「する」に設定したチャンネルは、本体の選局ボタンやリモコンの[選局 ∧∨]ボタンを押したときに、飛び越して選局されます。

  放送のないチャンネルを飛ばしたいときに便利な機能です。
- 本機の13～62ポジションは、チャンネルスキップ「する」に設定されています。
- 地域番号一覧表に記載されているチャンネルをスキップ設定すると、電子番組表（Gガイド）にそのチャンネルが表示されなくなります。

⑦設定とは（69ページ・手順11）

- 設定した内容を設定するかしないかの確認です。「取消」を選ぶと、設定内容を取り消すことができます。

電子番組表(Gガイド)を使用するとき

- **個別設定をする前に、必ず地域番号で「自動設定」をしてください。(64ページ)**
  電子番組表(Gガイド)を使うには、電子番組表(Gガイド)データを取得する必要があります。そのデータを配信するホスト局(TBS系列の放送局)は地域ごとに異なります。地域番号で「自動設定」すると、ホスト局も自動で設定されます。

個別設定をするときは

- 地域番号一覧表(**72**〜**76**ページ)に記載されているとおりに各放送局が映るように、「受信チャンネル」を設定してください。
- ホスト局(TBS系列の放送局)のチャンネルを別のポジションに変えたときは、放送局名を正しく設定してください。(**69**ページの手順**9**)
  ホスト局の放送局名を正しく設定していないと、電子番組表(Gガイド)データが取得できなくなります。
- 放送局名は、地域番号(**64**ページ)を設定しないと表示されません。

例) 東京23区の地域番号で自動設定した後で、6チャンネルの「TBS」をポジション「11」で見られるように変更した場合。(ホスト局：TBS)

地域番号で設定された放送局			変更後	
ポジション	6	11	6	11
受信チャンネル	6	11	6	6
放送局名局	TBS	表示しない	表示しない	TBS
チャンネルスキップ	しない	する	する	しない

ポジション「6」の放送局名は「**表示しない**」に設定する

① ポジション「11」でTBS(ホスト局)が映るように変更したときは、ポジション「11」の放送局名を「TBS」に設定します。
② ポジション「6」の放送局名は「表示しない」に設定します。
③ 「スタートメニュー」−「各種設定」−「設置調整」−「地上アナログ番組表設定」−「ホスト局設定」で「TBS系列」のホスト局を選び直してください。(2. 操作編 **179**ページ)

重 要

- HDD(ハードディスク)やDVDディスクを再生しているときは、[■停止]を押して再生を止めます。(再生中は、設定ができません。)

[例] ポジション[5]に、UHF放送「42」チャンネルを受信し、表示チャンネルを「5」に設定する

テレビと本機の準備

① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機を接続した入力(入力1など)に切り換える
③ リモコンの[電源]、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」(**44**ページ)をご覧ください。

操作開始

1

① [スタートメニュー]を押し、スタートメニュー画面を表示する
② [▲][▼][◀][▶]で「各種設定」を選び、[決定]を押す

2

① [◀][▶]で「視聴・再生設定」を選ぶ
② [▲][▼]で「チャンネル設定」を選び、[決定]を押す

次ページの手順3へつづく

3 ▲▼で「地上アナログチャンネル設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「個別設定」を選び、決定を押す

■各種設定［視聴・再生設定…地上アナログチャンネル設定］＊＊/＊＊［＊］午前＊＊:＊＊

地域番号設定
個別設定

ポジション	1	
受信チャンネル	1	
画面表示チャンネル	1	
受信微調整	0	
放送局名	NHK総合	
チャンネルスキップ	しない	する
設定	確認	取消

- 個別設定画面が表示されます。

5 ◀▶で「ポジション」の入力欄に「5」を入力する

■各種設定［視聴・再生設定…地上アナログチャンネル設定］＊＊/＊＊［＊］午前＊＊:＊＊

地域番号設定
個別設定

ポジション	5	
受信チャンネル	5	
画面表示チャンネル	5	
受信微調整	0	
放送局名	NHK総合	
チャンネルスキップ	しない	する
設定	確認	取消

- ポジションは、1～62があります。
- ▶を押すと、ポジションが進みます。
- ◀を押すと、ポジションが戻ります。

6 ▲▼で「受信チャンネル」の入力欄を選び、◀▶で「42」を入力する

- ▶を押すと、受信チャンネルがつぎのように切り換わります。

  1→2……61→62→C13→C14……C63

- ◀を押すと、受信チャンネルがつぎのように切り換わります。

  C63……C14→C13→62→61……2→1

ヒント

受信チャンネルの数値がわからないときは

- リモコンの◀または▶を繰り返し押し、画面表示の周囲の映像や画面表示内に薄く透けて見える映像を確認しながら受信したい放送局の映像を出してください。

7 ▲▼で「画面表示チャンネル」の入力欄を選び、◀▶で「5」を入力する

- ◀▶を押すと、チャンネル表示が次のように変わります。

  1↔2……61↔62↔C13↔C14……C62↔C63

- ▶を押すと、チャンネル表示が進みます。
- ◀を押すと、チャンネル表示が戻ります。

お知らせ

予約録画をするときは

- 予約したいチャンネルは、「画面表示チャンネル」の番号で選局してください。

次ページの手順8へつづく

8 [▲][▼]で「受信微調整」の欄を選び、[◀][▶]で映像が正しく映るよう調整する

- 調整の必要がないとき ☞ 手順**9**へ

■各種設定［視聴・再生設定…地上アナログチャンネル設定］ **/** [*] 午前**:**

地域番号設定
個別設定

ポジション	5
受信チャンネル	4 2
画面表示チャンネル	5
受信微調整	0
放送局名	NHK総合
チャンネルスキップ	しない / する
設定	確認 / 取消

9 [▲][▼]で「放送局名」を選び、[◀][▶]で設定されている放送局名を選ぶ

■各種設定［視聴・再生設定…地上アナログチャンネル設定］ **/** [*] 午前**:**

地域番号設定
個別設定

ポジション	5
受信チャンネル	4 2
画面表示チャンネル	5
受信微調整	0
放送局名	NHK教育
チャンネルスキップ	しない / する
設定	確認 / 取消

- 選択できる放送局名は、地域番号で設定したときにあらかじめ決められている放送局名です。
- 地域番号一覧表に載っていない放送局を追加したときは「表示しない」を選びます。
- 地域番号一覧表に載っていない放送局名は、電子番組表（Gガイド）に表示できません。
  例えば、「放送大学」は表示できません。

10 [▲][▼]で「チャンネルスキップ」の欄を選び、[◀][▶]で「しない」を選び、(決定)を押す

- チャンネルスキップを「する」に設定すると、[選局 ⌃⌄]で選局したときにそのチャンネルが飛ばされます。
- ポジション13〜62は、チャンネルスキップ「する」に設定されています。

11 [▲][▼]で「設定」の欄を選ぶ

12 [◀][▶]で「確認」を選び、(決定)を押す

- 「確認」を選んで(決定)を押さないと、設定されません。
- これで1ポジション分のチャンネル設定が終わりました。
  引き続き他のチャンネルを設定したいときは、手順**5**〜**12**をくり返してください。

13 (終了)を押す

- 設定が完了し、通常画面になります。

重 要

Gコード®予約をしたい場合は

- 個別設定したチャンネルをGコード番号で予約するには、Gコード予約のためのチャンネル設定が必要です。（**70**ページ）

電子番組表（Gガイド）を使用するとき

- **必ず地域番号を設定し、放送局名（手順9）に表示されている放送局が映るようにしてください。**
- ホスト局（TBS系列の放送局）を別のポジションに変えたときは、「地上アナログ番組表設定」（2. 操作編 **179**ページ）で「ホスト局設定」を行ってください。

お知らせ

ケーブルテレビ（CATV）をご覧になるときは

- ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、ケーブルテレビ（CATV）専用のホームターミナル（アダプター）が必要になります。（スクランブルのかかった放送は有料です。）
- ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ（CATV）会社との受信契約が必要です。
  また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画には、ケーブルテレビ（CATV）専用のホームターミナル（アダプター）が必要になります。
  詳しくは、ケーブルテレビ（CATV）会社にご相談ください。
- ケーブルテレビ（CATV）の受信は、サービスが行われている地域に限ります。
- ケーブルテレビ（CATV）を受信して電子番組表（Gガイド）をご使用になる場合については、**122**ページの補足説明をご覧ください。

個別設定したチャンネルをGコード®で予約するための設定

はじめに

- Gコード予約は、新聞、雑誌などのテレビ番組欄に載っているGコード番号を使って予約録画をする機能です。
- Gコード予約では、1カ月先までの番組予約ができます。
- Gコード予約をするには、個別設定したチャンネルごとに1回だけ、以下の設定が必要になります。

ふたを開けたところ

操作開始

1 個別設定した放送局をGコード予約する

- Gコード予約について詳しくは、2. 操作編 **68**ページをご覧ください。

① リモコンふた内の[Gコード]を押す

② リモコンふた内の数字ボタンを押して、番組表のGコード番号を入力する

③ [決定]を押す

- Gコード予約をすると、個別設定したチャンネルは、予約チャンネル欄が「ーー」になります。

2 [◀][▶]でチャンネル「ーー」の項目を選ぶ

3 [▲][▼]で予約したいチャンネルを選び、[決定]を押す

- 一度設定すると、そのチャンネルが記憶されます。
- 個別設定したチャンネルが他にもある場合は、すべて設定してください。

地域番号早見表／一覧表

● 地域番号早見表

地上デジタル放送の開始にともなう受信チャンネルの変更について

- 2003年12月以降、お住まいの地域ごとに地上デジタル放送が開始されます。
- 地域によっては受信チャンネルが変更されるところもありますので、地域番号を設定しても映らない放送局は「一局ずつ手動で設定する」(**66**ページ)で受信チャンネルを変更してください。

五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号	五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松	030	く	呉	104	に	二戸	018
	青森（弘前）	013	け	気仙沼	021	の	延岡	130
	明石（加古川）	090	こ	高知	116	は	函館	008
	秋田	022		甲府	050		秦野	048
	阿久根	132		神戸	085		八王子	043
	旭川	003		神戸灘	086		八戸	014
	網走	011		五條	092		浜田	097
い	飯田	054	さ	さいたま	037		浜松	068
	諫早	125		佐賀1	122	ひ	彦根	080
	石巻	020		佐世保	124		日立	032
	伊勢	077		札幌（江別）	001		姫路	089
	今治	114	し	静岡(清水・焼津)	067		平塚（茅ヶ崎）	047
	いわき	029		島田	071		広島	101
	岩国	108		下関	106	ふ	福井	062
う	宇都宮	033		上越	057		福岡	117
	宇部	107	せ	仙台	019		福島（郡山）	028
	宇和島	115	た	高岡	059		福知山	083
お	大分（別府）	127		高松	110		福山	102
	大阪	084		高山	065		富士（富士宮）	069
	大館	023		多摩	044		藤枝	072
	大津	079	ち	秩父	039	ま	舞鶴	082
	大曲	024		千葉	040		前橋(伊勢崎・高崎)	035
	大牟田	119		銚子	041		松江	096
	岡谷・諏訪	055	つ	津	076		松本	053
	岡山（倉敷）	098		津山	099		松山	112
	沖縄	134		鶴岡（酒田）	026		丸亀	111
	小樽	002		敦賀	063	み	三木	088
	小田原	049	と	東京23区	042		三島・沼津	070
	尾道	103		徳島	109		水戸	031
	帯広	009		鳥取	095		宮崎（都城）	129
か	海南・田辺	094		苫小牧	007	む	むつ	015
	鹿児島	131		富山	058		室蘭	006
	笠岡	100		豊田	075	も	盛岡	016
	金沢（小松）	060		豊橋（豊川）	074	や	矢板	034
	釜石	017	な	長崎	123		山形	025
	鹿屋	133		中津	128		山口(徳山・防府)	105
	川西	087		中津川	066	ゆ	行橋	121
き	北九州	120		長野1	051	よ	横浜1	045
	北見	012		長野2	052		横浜2	046
	岐阜（大垣）	064		名古屋	073		米沢	027
	京都（宇治）	081		七尾	061	わ	和歌山	093
	桐生	036		名張	078		稚内	005
く	釧路	010		名寄	004			
	熊谷	038		奈良	091			
	熊本（八代）	126	に	新潟（長岡）	056			
	久留米	118		新居浜	113			

お知らせ

工場出荷時の設定は、「−−−（000）」です。

- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表（**72〜76**ページ）に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます（地域番号「000」は除く）。
- 地域番号による設定は、お住まいの都市の中でも地域によって受信チャンネルが異なり、設定しても受信できない場合があります。受信できないときは「個別設定」で1局ずつ個別に設定してください。
- 同じ地域名が2つある場合（例:横浜1、横浜2など）は、どちらか片方の地域番号を入力してみてください。映らない場合は、もう一方の地域番号を入力してください。それでも映らない場合は、「個別設定」で1局ずつ個別に設定してください。

次ページへつづく ▶▶▶

● 地域番号一覧表

- 地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）を使うには、電子番組表（Gガイド）データを送信しているホスト局から電子番組表（Gガイド）データを受信する必要があります。
- **HBC** など、文字が白黒反転している放送局は、ホスト局です。
- ホスト局の電波状態によっては、電子番組表（Gガイド）データが受信できないことがあります。

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		選局番号(ポジション)	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
工場出荷指定		000	1 1	2 2	3 3	4 4	5 5	6 6	7 7	8 8	9 9	10 10	11 11	12 12
北海道	札幌(江別)	001	1 1 **HBC**		3 3 NHK総合	17 17 TVh	5 5 STV		27 27 UHB		35 35 HTB			12 12 NHK教育
北海道	小樽	002	24 24 TVh	2 2 NHK教育	26 26 UHB	4 4 HTB			7 7 STV		9 9 **HBC**		11 11 NHK総合	
北海道	旭川	003		2 2 NHK教育	33 33 TVh	37 37 UHB	39 39 HTB		7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 **HBC**	
北海道	名寄	004	26 26 UHB		33 33 TVh	4 4 NHK総合	24 24 HTB	6 6 STV				10 10 **HBC**		12 12 NHK教育
北海道	稚内	005		30 30 NHK教育	33 33 TVh	26 26 UHB	24 24 HTB		22 22 STV		28 28 NHK総合	10 10 **HBC**		
北海道	室蘭	006		2 2 NHK教育	29 29 TVh	37 37 UHB	39 39 HTB		7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 **HBC**	
北海道	苫小牧	007	47 47 TVh	49 49 NHK教育	51 51 NHK総合	53 53 UHB	55 55 **HBC**	57 57 STV	61 61 HTB					
北海道	函館	008	21 21 TVh	27 27 UHB	35 35 HTB	4 4 NHK総合		6 6 **HBC**				10 10 NHK教育		12 12 STV
北海道	帯広	009	32 32 UHB		34 34 HTB	4 4 NHK総合		6 6 **HBC**				10 10 STV		12 12 NHK教育
北海道	釧路	010	29 29 TVh	2 2 NHK教育	39 39 HTB	41 41 UHB			7 7 STV		9 9 NHK総合		11 11 **HBC**	
北海道	網走	011	1 1 **HBC**		3 3 NHK総合	27 27 UHB	5 5 STV	35 35 HTB						12 12 NHK教育
北海道	北見	012		2 2 NHK教育			59 59 UHB	61 61 HTB	7 7 STV		9 9 NHK総合		53 53 **HBC**	
青森	青森(弘前)	013	1 1 青森放送		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		38 38 **青森テレビ**		34 34 青森朝日			
青森	八戸	014			33 33 **青森テレビ**		31 31 青森朝日		7 7 NHK教育		9 9 NHK総合		11 11 青森放送	
青森	むつ	015				4 4 NHK総合		56 56 青森朝日		58 58 **青森テレビ**		10 10 青森放送		12 12 NHK教育
岩手	盛岡	016				4 4 NHK総合		6 6 **IBC**		8 8 NHK教育	31 31 IAT	35 35 テレビ岩手		33 33 めんこい
岩手	釜石	017		2 2 NHK総合		58 58 テレビ岩手		60 60 めんこい			62 62 IAT	10 10 **IBC**		12 12 NHK教育
岩手	二戸	018		2 2 **IBC**	29 29 めんこい		5 5 NHK総合		37 37 テレビ岩手		27 27 IAT			12 12 NHK教育
宮城	仙台	019	1 1 **TBC**		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 32 東日本放送		34 34 宮城テレビ			12 12 仙台放送
宮城	石巻	020	59 59 **TBC**		51 51 NHK総合		49 49 NHK教育		61 61 東日本放送		55 55 宮城テレビ			57 57 仙台放送
宮城	気仙沼	021		2 2 NHK総合		4 4 **TBC**		6 6 仙台放送	43 43 東日本放送		37 37 宮城テレビ	10 10 NHK教育		
秋田	秋田	022		2 2 NHK教育							9 9 NHK総合	31 31 秋田朝日	11 11 秋田放送	37 37 **秋田テレビ**
秋田	大館	023				4 4 NHK総合				8 8 NHK教育		59 59 秋田朝日	6 6 秋田放送	57 57 **秋田テレビ**
秋田	大曲	024		43 43 NHK教育							45 45 NHK総合	41 41 秋田朝日	47 47 秋田放送	51 51 **秋田テレビ**
山形	山形	025				4 4 NHK教育		36 36 **TUY**	30 30 SAY	8 8 NHK総合		10 10 山形放送		38 38 山形テレビ

- 地域番号別に設定された選局番号と受信チャンネル・放送局は、当社の調査によるものです。（2006年4月現在）

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	選局番号(ポジション)		受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
山形	鶴岡(酒田)	026	1 1 山形放送		3 3 NHK総合			6 6 NHK教育		39 39 山形テレビ		22 22 TUY		24 24 SAY
	米沢	027				50 50 NHK教育		56 56 TUY	60 60 SAY	52 52 NHK総合		54 54 山形放送		58 58 山形テレビ
福島	福島(郡山)	028		2 2 NHK教育	31 31 TUF		33 33 福島中央TV		35 35 福島放送		9 9 NHK総合		11 11 福島テレビ	
	いわき	029		62 62 TUF		4 4 NHK総合		58 58 福島中央TV		8 8 福島テレビ		10 10 NHK教育		60 60 福島放送
	会津若松	030	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育			6 6 福島テレビ		47 47 TUF		37 37 福島中央TV		41 41 福島放送
茨城	水戸	031	44 1 NHK総合		46 3 NHK教育	42 4 日本テレビ	14 14 MXTV	40 6 TBS	39 39 ちばテレビ	38 8 フジテレビ		36 10 テレビ朝日		32 12 テレビ東京
	日立	032	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ	14 14 MXTV	56 6 TBS	39 39 ちばテレビ	58 8 フジテレビ		60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	51 1 NHK総合		49 3 NHK教育	53 4 日本テレビ	14 14 MXTV	55 6 TBS		57 8 フジテレビ	31 31 とちぎTV	41 10 テレビ朝日		44 12 テレビ東京
	矢板	034	40 1 NHK総合		30 3 NHK教育	36 4 日本テレビ	33 33 とちぎTV	42 6 TBS	14 14 MXTV	45 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
群馬	前橋 (伊勢崎・高崎)	035	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ	14 14 MXTV	56 6 TBS	38 38 テレビ埼玉	58 8 フジテレビ		60 10 テレビ朝日	48 48 群馬テレビ	62 12 テレビ東京
	桐生	036	51 1 NHK総合		57 3 NHK教育	53 4 日本テレビ	14 14 MXTV	55 6 TBS	38 38 テレビ埼玉	35 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日	41 41 群馬テレビ	61 12 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育	4 4 日本テレビ	14 14 MXTV	6 6 TBS		8 8 フジテレビ	38 38 テレビ埼玉	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	熊谷	038	51 1 NHK総合		35 3 NHK教育	53 4 日本テレビ		55 6 TBS		57 8 フジテレビ	30 30 テレビ埼玉	59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
	秩父	039	14 1 NHK総合		49 3 NHK教育	16 4 日本テレビ	47 47 テレビ埼玉	18 6 TBS		29 8 フジテレビ		38 10 テレビ朝日		44 12 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育	4 4 日本テレビ	14 14 MXTV	6 6 TBS		8 8 フジテレビ	42 42 tvk	10 10 テレビ朝日	46 46 ちばテレビ	12 12 テレビ東京
	銚子	041	51 1 NHK総合		49 3 NHK教育	53 4 日本テレビ	39 39 ちばテレビ	55 6 TBS	42 42 tvk	57 8 フジテレビ		59 10 テレビ朝日		61 12 テレビ東京
東京	23区	042	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育	4 4 日本テレビ	14 14 MXTV	6 6 TBS	38 38 テレビ埼玉	8 8 フジテレビ	42 42 tvk	10 10 テレビ朝日	46 46 ちばテレビ	12 12 テレビ東京
	八王子	043	33 1 NHK総合		29 3 NHK教育	35 4 日本テレビ	40 14 MXTV	37 6 TBS	38 38 テレビ埼玉	31 8 フジテレビ	42 42 tvk	45 10 テレビ朝日	46 46 ちばテレビ	62 12 テレビ東京
	多摩	044	49 1 NHK総合		47 3 NHK教育	51 4 日本テレビ	61 28 MXTV	53 6 TBS	38 38 テレビ埼玉	55 8 フジテレビ	42 42 tvk	57 10 テレビ朝日	46 46 ちばテレビ	59 12 テレビ東京
神奈川	横浜1	045	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ	14 14 MXTV	56 6 TBS		58 8 フジテレビ	48 42 tvk	60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
	横浜2	046	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育	4 4 日本テレビ	14 14 MXTV	6 6 TBS		8 8 フジテレビ	42 42 tvk	10 10 テレビ朝日		12 12 テレビ東京
	平塚 (茅ヶ崎)	047	33 1 NHK総合		29 3 NHK教育	35 4 日本テレビ	14 14 MXTV	37 6 TBS		39 8 フジテレビ	31 31 tvk	41 10 テレビ朝日		43 12 テレビ東京
	秦野	048	47 1 NHK総合		49 3 NHK教育	51 4 日本テレビ	14 14 MXTV	53 6 TBS		55 8 フジテレビ	61 61 tvk	57 10 テレビ朝日		59 12 テレビ東京
	小田原	049	52 1 NHK総合		50 3 NHK教育	54 4 日本テレビ	14 14 MXTV	56 6 TBS		58 8 フジテレビ	46 46 tvk	60 10 テレビ朝日		62 12 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 1 NHK総合		3 3 NHK教育		5 5 山梨放送		37 37 UTY					
長野	長野1	051		44 44 NHK総合	50 50 長野朝日		40 40 テレビ信州		42 42 長野放送		46 46 NHK教育		48 48 SBC	
	長野2	052		2 2 NHK総合	20 20 長野朝日		30 30 テレビ信州		38 38 長野放送		9 9 NHK教育		11 11 SBC	
	松本	053		44 44 NHK総合	50 50 長野朝日		48 48 テレビ信州		42 42 長野放送		46 46 NHK教育		40 40 SBC	
	飯田	054	44 44 長野朝日		3 3 NHK教育	4 4 NHK総合		6 6 SBC		42 42 テレビ信州		40 40 長野放送		

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	選局番号(ポジション)		受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
長野	岡谷・諏訪	055			61 61 長野朝日	4 4 ＮＨＫ総合	59 59 テレビ信州	6 6 ＳＢＣ	47 47 長野放送	8 8 ＮＨＫ教育				
新潟	新潟(長岡)	056	21 21 テレビ２１		29 29 テレビ新潟		5 5 ＢＳＮ			8 8 ＮＨＫ総合		35 35 新潟総合TV		12 12 ＮＨＫ教育
	上越	057	1 1 ＮＨＫ教育		3 3 ＮＨＫ総合			37 37 テレビ２１		27 27 テレビ新潟		10 10 ＢＳＮ		33 33 新潟総合TV
富山	富山	058	1 1 北日本放送		3 3 ＮＨＫ総合							10 10 ＮＨＫ教育	32 32 チュリップ	34 34 富山テレビ
	高岡	059	50 50 北日本放送		48 48 ＮＨＫ総合							46 46 ＮＨＫ教育	42 42 チュリップ	44 44 富山テレビ
石川	金沢(小松)	060				4 4 ＮＨＫ総合		6 6 北陸放送	25 25 北陸朝日	8 8 ＮＨＫ教育		33 33 テレビ金沢		37 37 石川テレビ
	七尾	061					5 5 ＮＨＫ教育		59 59 北陸朝日		9 9 ＮＨＫ総合	57 57 テレビ金沢	11 11 北陸放送	55 55 石川テレビ
福井	福井	062	39 39 福井テレビ		3 3 ＮＨＫ教育						9 9 ＮＨＫ総合		11 11 福井放送	
	敦賀	063	38 38 福井テレビ					6 6 ＮＨＫ総合		8 8 福井放送				12 12 ＮＨＫ教育
岐阜	岐阜(大垣)	064	1 1 東海テレビ		39 3 ＮＨＫ総合	25 25 テレビ愛知	5 5 ＣＢＣ	33 33 三重テレビ	35 35 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ〜テレ	37 37 岐阜放送
	高山	065	8 1 東海テレビ		4 3 ＮＨＫ総合	25 25 テレビ愛知	6 5 ＣＢＣ	33 33 三重テレビ	26 35 中京テレビ		2 9 ＮＨＫ教育		12 11 メ〜テレ	38 38 岐阜放送
	中津川	066	10 1 東海テレビ		4 3 ＮＨＫ総合	25 25 テレビ愛知	8 5 ＣＢＣ	33 33 三重テレビ	26 35 中京テレビ		12 9 ＮＨＫ教育		6 11 メ〜テレ	28 28 岐阜放送
静岡	静岡 (清水・焼津)	067		2 2 ＮＨＫ教育	31 31 静岡第一		33 33 朝日テレビ		35 35 テレビ静岡		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 静岡放送	
	浜松	068		30 30 静岡第一		4 4 ＮＨＫ総合		6 6 静岡放送		8 8 ＮＨＫ教育		28 28 朝日テレビ		34 34 テレビ静岡
	富士 (富士宮)	069		54 54 ＮＨＫ教育	27 27 静岡第一		29 29 朝日テレビ		39 39 テレビ静岡		52 52 ＮＨＫ総合		41 41 静岡放送	
	三島・沼津	070		51 51 ＮＨＫ教育	61 61 静岡第一		57 57 朝日テレビ		59 59 テレビ静岡		53 53 ＮＨＫ総合		55 55 静岡放送	
	島田	071	1 1 ＮＨＫ総合	48 48 静岡第一	3 3 ＮＨＫ教育		5 5 静岡放送					50 50 朝日テレビ		58 58 テレビ静岡
	藤枝	072		44 44 ＮＨＫ教育	24 24 静岡第一		26 26 朝日テレビ		38 38 テレビ静岡		42 42 ＮＨＫ総合		40 40 静岡放送	
愛知	名古屋	073	1 1 東海テレビ		3 3 ＮＨＫ総合	37 37 岐阜放送	5 5 ＣＢＣ	33 33 三重テレビ	35 35 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育		11 11 メ〜テレ	25 25 テレビ愛知
	豊橋(豊川)	074	56 56 東海テレビ		54 54 ＮＨＫ総合	37 37 岐阜放送	62 62 ＣＢＣ	33 33 三重テレビ	58 58 中京テレビ		50 50 ＮＨＫ教育		60 60 メ〜テレ	52 52 テレビ愛知
	豊田	075	57 57 東海テレビ		53 53 ＮＨＫ総合	37 37 岐阜放送	55 55 ＣＢＣ	33 33 三重テレビ	59 59 中京テレビ		51 51 ＮＨＫ教育		61 61 メ〜テレ	49 49 テレビ愛知
三重	津	076	1 1 東海テレビ		3 3 ＮＨＫ総合		5 5 ＣＢＣ		35 35 中京テレビ		9 9 ＮＨＫ教育	33 33 三重テレビ	11 11 メ〜テレ	25 25 テレビ愛知
	伊勢	077	57 1 東海テレビ		53 3 ＮＨＫ総合		55 5 ＣＢＣ		47 35 中京テレビ		49 9 ＮＨＫ教育	59 59 三重テレビ	61 11 メ〜テレ	25 25 テレビ愛知
	名張	078	62 1 東海テレビ		52 3 ＮＨＫ総合		60 5 ＣＢＣ		54 35 中京テレビ		50 9 ＮＨＫ教育	58 58 三重テレビ	56 11 メ〜テレ	25 25 テレビ愛知
滋賀	大津	079		28 28 ＮＨＫ総合		36 4 毎日放送	34 34 京都テレビ	38 6 朝日放送		40 8 関西テレビ		42 10 読売テレビ	30 30 びわ湖放送	46 46 ＮＨＫ教育
	彦根	080		52 52 ＮＨＫ総合		54 4 毎日放送	56 56 びわ湖放送	58 6 朝日放送	34 34 京都テレビ	60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		50 50 ＮＨＫ教育
京都	京都(宇治)	081		2 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	4 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 34 京都テレビ	8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ		12 12 ＮＨＫ教育
	舞鶴	082		51 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	53 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	55 6 朝日放送	57 57 京都テレビ	59 8 関西テレビ		61 10 読売テレビ		49 12 ＮＨＫ教育
	福知山	083		50 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	54 4 毎日放送	19 19 テレビ大阪	58 6 朝日放送	56 56 京都テレビ	60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		52 12 ＮＨＫ教育

	選局番号(ポジション)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
大阪	大阪	084		2 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	4 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 34 京都テレビ	8 8 関西テレビ		10 10 読売テレビ		12 12 ＮＨＫ教育
兵庫	神戸	085		28 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	31 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	41 6 朝日放送		43 8 関西テレビ		47 10 読売テレビ		45 12 ＮＨＫ教育
	神戸灘	086		52 2 ＮＨＫ総合	62 62 サンテレビ	54 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	56 6 朝日放送		58 8 関西テレビ		60 10 読売テレビ		50 12 ＮＨＫ教育
	川西	087		29 2 ＮＨＫ総合	33 36 サンテレビ	35 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	37 6 朝日放送		39 8 関西テレビ		41 10 読売テレビ		31 12 ＮＨＫ教育
	三木	088		44 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	34 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	38 6 朝日放送		40 8 関西テレビ		42 10 読売テレビ		46 12 ＮＨＫ教育
	姫路	089		50 2 ＮＨＫ総合	56 36 サンテレビ	54 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ		52 12 ＮＨＫ教育
	明石 (加古川)	090		51 2 ＮＨＫ総合	55 36 サンテレビ	53 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	57 6 朝日放送		59 8 関西テレビ		61 10 読売テレビ		49 12 ＮＨＫ教育
奈良	奈良	091		51 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	4 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	6 6 朝日放送	34 34 京都テレビ	8 8 関西テレビ	55 55 奈良テレビ	10 10 読売テレビ		12 12 ＮＨＫ教育
	五條	092		43 2 ＮＨＫ総合	36 36 サンテレビ	33 4 **毎日放送**	19 19 テレビ大阪	35 6 朝日放送	34 34 京都テレビ	37 8 関西テレビ	41 41 奈良テレビ	39 10 読売テレビ		45 12 ＮＨＫ教育
和歌山	和歌山	093		32 2 ＮＨＫ総合		42 4 **毎日放送**		44 6 朝日放送		46 8 関西テレビ		48 10 読売テレビ	30 30 TV和歌山	25 12 ＮＨＫ教育
	海南・田辺	094		50 2 ＮＨＫ総合		54 4 **毎日放送**		58 6 朝日放送		60 8 関西テレビ		62 10 読売テレビ	56 56 TV和歌山	52 12 ＮＨＫ教育
鳥取	鳥取	095	1 1 日本海TV		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 ＮＨＫ教育				24 24 山陰中央		22 22 **BSS**		
島根	松江	096	30 30 日本海TV		34 34 山陰中央			6 6 ＮＨＫ総合				10 10 **BSS**		12 12 ＮＨＫ教育
	浜田	097		2 2 ＮＨＫ総合	54 54 日本海TV		5 5 **BSS**			58 58 山陰中央	9 9 ＮＨＫ教育			
岡山	岡山(倉敷)	098	23 23 TVせとうち		3 3 ＮＨＫ教育		5 5 ＮＨＫ総合	25 25 KSB	35 35 ＯＨＫ		9 9 西日本放送		11 11 **RSK**	
	津山	099	56 56 TVせとうち	2 2 ＮＨＫ総合				62 62 KSB	60 60 ＯＨＫ		58 58 西日本放送		7 7 **RSK**	12 12 ＮＨＫ教育
	笠岡	100	22 22 TVせとうち	2 2 ＮＨＫ総合		4 4 ＮＨＫ教育		6 6 **RSK**	60 60 ＯＨＫ	55 55 KSB	34 34 西日本放送			
広島	広島	101	31 31 TSS		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 **RCC**			7 7 ＮＨＫ教育			35 35 広島ホーム		12 12 広島テレビ
	福山	102	5 1 ＮＨＫ総合		57 24 広島ホーム		54 26 TSS		3 7 ＮＨＫ教育			7 10 **RCC**		11 12 広島テレビ
	尾道	103	1 1 ＮＨＫ総合		24 24 広島ホーム		26 26 TSS		7 7 ＮＨＫ教育			10 10 **RCC**		12 12 広島テレビ
	呉	104	1 1 ＮＨＫ教育		24 24 広島ホーム		5 5 広島テレビ		26 26 TSS		9 9 **RCC**		11 11 ＮＨＫ総合	
山口	山口 (徳山・防府)	105	1 1 ＮＨＫ教育				28 52 山口朝日		38 38 **テレビ山口**		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 山口放送	
	下関	106	41 41 ＮＨＫ教育			4 4 山口放送	21 21 山口朝日		33 33 **テレビ山口**		39 39 ＮＨＫ総合			
	宇部	107	55 55 ＮＨＫ教育				24 24 山口朝日		44 44 **テレビ山口**		58 58 ＮＨＫ総合		61 61 山口放送	
	岩国	108	1 1 ＮＨＫ教育				62 62 **テレビ山口**		28 28 山口朝日		9 9 ＮＨＫ総合		11 11 山口放送	
徳島	徳島	109	1 1 四国放送		3 3 ＮＨＫ総合	4 4 **毎日放送**		6 6 朝日放送		8 8 関西テレビ				38 12 ＮＨＫ教育
香川	高松	110	33 33 KSB		39 39 ＮＨＫ教育		37 37 ＮＨＫ総合		31 31 ＯＨＫ		41 41 西日本放送		29 29 **RSK**	19 19 TVせとうち
	丸亀	111	42 42 KSB		40 40 ＮＨＫ教育		44 44 ＮＨＫ総合		52 52 ＯＨＫ		50 50 西日本放送		48 48 **RSK**	46 46 TVせとうち
愛媛	松山	112		2 2 ＮＨＫ教育		29 29 **あいテレビ**	25 25 愛媛朝日	6 6 ＮＨＫ総合		37 37 テレビ愛媛		10 10 南海放送		

次ページへつづく ▶▶▶

地域番号早見表／一覧表　つづき

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		選局番号（ポジション）	受信チャンネル 表示チャンネル 放送局名											
愛媛	新居浜	113		2 2 NHK総合		4 4 NHK教育	14 14 愛媛朝日	6 6 南海放送		36 36 テレビ愛媛			27 27 あいテレビ	
愛媛	今治	114		30 30 NHK教育		27 27 あいテレビ	17 17 愛媛朝日	32 32 NHK総合		36 36 テレビ愛媛		34 34 南海放送		
愛媛	宇和島	115		1 1 NHK教育		25 25 あいテレビ	16 16 愛媛朝日	6 6 NHK総合		27 27 テレビ愛媛		10 10 南海放送		
高知	高知	116				4 4 NHK総合		6 6 NHK教育		8 8 高知放送		38 38 KUTV		40 40 KSS
福岡	福岡	117	1 1 KBC		3 3 NHK総合	4 4 RKB毎日		6 6 NHK教育			9 9 TNC		19 19 TVQ	37 37 FBS
福岡	久留米	118	57 57 KBC		46 46 NHK総合	48 48 RKB毎日		54 54 NHK教育			60 60 TNC		14 14 TVQ	52 52 FBS
福岡	大牟田	119	58 58 KBC	19 19 TVQ	53 53 NHK総合	61 61 RKB毎日		50 50 NHK教育			55 55 TNC		43 43 FBS	
福岡	北九州	120		2 2 KBC	23 23 TVQ	35 35 FBS		6 6 NHK総合		8 8 RKB毎日		10 10 TNC		12 12 NHK教育
福岡	行橋	121		57 57 KBC	19 19 TVQ	43 43 FBS		49 49 NHK総合		60 60 RKB毎日		54 54 TNC		46 46 NHK教育
佐賀※	佐賀	122		36 36 STS	40 40 NHK教育	38 38 NHK総合	48 48 RKB毎日	52 52 FBS	57 57 KBC	14 14 TVQ			11 11 熊本放送	
長崎	長崎	123	1 1 NHK教育		3 3 NHK総合		5 5 NBC		37 37 テレビ長崎		27 27 長崎文化		25 25 長崎国際	
長崎	佐世保	124		2 2 NHK教育		17 17 長崎国際		31 31 長崎文化		8 8 NHK総合		10 10 NBC		35 35 テレビ長崎
長崎	諫早	125		51 51 NHK教育		32 32 長崎国際		56 56 長崎文化		59 59 NHK総合		62 62 NBC		39 39 テレビ長崎
熊本	熊本（八代）	126		2 2 NHK教育	16 16 熊本朝日		22 22 KKT		34 34 TKU		9 9 NHK総合		11 11 熊本放送	
大分	大分（別府）	127			3 3 NHK総合		5 5 OBS		36 36 TOS		24 24 OAB			12 12 NHK教育
大分	中津	128			48 48 NHK総合		51 51 OBS		37 37 TOS		17 17 OAB			45 45 NHK教育
宮崎	宮崎（都城）	129						35 35 テレビ宮崎		8 8 NHK総合		10 10 宮崎放送		12 12 NHK教育
宮崎	延岡	130		2 2 NHK教育		4 4 NHK総合		6 6 宮崎放送		39 39 テレビ宮崎				
鹿児島	鹿児島	131	1 1 MBC		3 3 NHK総合		5 5 NHK教育		32 32 鹿児島放送		38 38 KTS		30 30 鹿児島読売	
鹿児島	阿久根	132				23 23 鹿児島放送		35 35 KTS		8 8 NHK総合		10 10 MBC	17 17 鹿児島読売	12 12 NHK教育
鹿児島	鹿屋	133		2 2 NHK教育		4 4 NHK総合		6 6 MBC	31 31 鹿児島放送		33 33 KTS		25 25 鹿児島読売	
沖縄	沖縄	134		2 2 NHK総合						8 8 OTV	28 28 QAB	10 10 RBC		12 12 NHK教育

※ 佐賀県にお住まいの方で、電子番組表（Gガイド）のホスト局を設定する場合
- 「RKB毎日放送」が受信できる地域の方は、「RKB毎日」を選んでください。
- 「熊本放送」が受信できる地域の方は、「熊本放送」を選んでください。

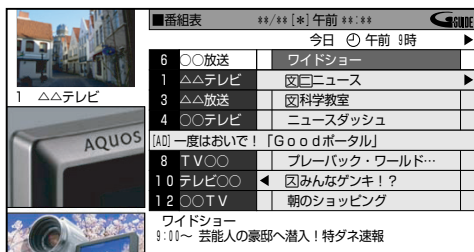
※ ホスト局を「RKB毎日」から「熊本放送」に変更するとき、または「熊本放送」から「RKB毎日」に変更するときは、次のように操作してください。
① 地域番号設定で地域番号「123」を選んで決定ボタンを押した後、地域番号「122」を選ぶ
② 「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「地上アナログ番組表設定」－「ホスト局設定」でホスト局を選ぶ

お知らせ
- 電子番組表（Gガイド）に表示される放送局名は、地域番号一覧表で選んだ地域に記載されている放送局名です。
- 上の表の地域番号で設定した地域に登録されていない放送局の番組は、映像が受信できても電子番組表（Gガイド）は表示できません。

地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）を受信しよう //

はじめに

● ご購入時の状態では、地上アナログ放送の電子番組表(Gガイド)は表示されません。電子番組表(Gガイド)を使うには、電子番組表(Gガイド)データの取得が必要です。

[電子番組表の画面例]

● 電子番組表（Gガイド）データが送られてくる時刻にTBS系列の放送局を受信していても電子番組表（Gガイド）データは取得できます。ただし、画面表示、スタートメニュー画面の表示などの操作をすると、電子番組表（Gガイド）データの取得が解除されます。

操作開始

1 本機の時計合わせは、お済みですか

● 本機の時計を合わせ直したい場合は**58**ページをご覧ください。

2 チャンネルの設定は、お済みですか

● チャンネルを設定し直したい場合は**64**ページをご覧ください。
● 1局ずつ手動でチャンネル設定を行ったときは、ホスト局の設定をしてください。（2. 操作編 **179**ページ）

3 電子番組表（Gガイド）のデータを取得します。
電子番組表（Gガイド）データの送信時刻を確認する

● 下の表をご覧ください。

4 データの取得準備をする

● 確認した送信時刻の10分以上前に本機の電源を切ってください。

データの取得開始

● 送信時刻になると、データを自動的に受信します。（データ受信中は、本体から動作音がします。）

本体表示部

地上A番組表取得中

工場出荷時の設定ではバックライトを消灯しています。
• 電源オフ時刻表示設定が「する」に設定されているときはバックライトが点灯します。

データの取得完了

● 本体表示部の「地上A番組表取得中」表示が消えたら、電子番組表（Gガイド）をお使いになれます。

5 リモコンの 番組表 予約 を押し、電子番組表（Gガイド）を表示する

お知らせ

電子番組表（Gガイド）データの受信について
● 本機を設置した時間帯によっては、電子番組表（Gガイド）を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
● 電子番組表（Gガイド）に放送内容が表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した地域に記載されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、電子番組表（Gガイド）に放送内容は表示されません。地域番号一覧表でご確認ください。
● 設定されているホスト局を変更したときは、電子番組表（Gガイド）データが消去されます。
● ケーブルテレビ（CATV）を受信して電子番組表（Gガイド）をご使用になる場合については、**122**ページの補足説明をご覧ください。

電子番組表（Gガイド）データ取得中の電源操作について
● 電源が「切」の状態でも、電子番組表（Gガイド）データの取得中は本体内部では電源が「入」となっています。電子番組表（Gガイド）データ取得中に本機を使いたいときは、電源ボタンを押してください。（取得中の電子番組表（Gガイド）データは電源を入れたところまでが更新されます。）
● 「地上A番組表取得中」の表示が出ているあいだは、電子番組表（Gガイド）データの準備ができるまで、電源操作ができない場合があります。

電子番組表（Gガイド）について
● 本機では、電子番組表の表示機能にGガイドを採用しています。当社では、Gガイドを利用した電子番組表のサービス内容には関与していません。
● 電子番組表（Gガイド）は、決められた時刻に番組表データの更新を行います。そのため、放送局の都合により番組内容が変更された場合、データ更新のタイミングによっては、電子番組表（Gガイド）と実際に放送される番組の内容が異なる場合があります。

電子番組表（Gガイド）データの送信時刻

● 送信時刻や送信回数、ホスト局は、変更されることがあります。
最新の放送時刻については、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。（http://www.ipg.co.jp）

地域	ホスト局	午前			午後	
北海道	HBC（北海道放送）	0:30	7:05	11:05	3:05	5:05
青森	ATV（青森テレビ）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
秋田	AKT（秋田テレビ）	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05
岩手	IBC（アイ・ビー・シー岩手放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
宮城	TBC（東北放送）	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05
山形	TUY（テレビユー山形）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
福島	TUF（テレビユー福島）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
新潟	BSN（新潟放送）	0:30	5:05	11:05	2:35	5:35
関東	TBS（東京放送）	0:30	5:05	11:05	2:30	6:30
静岡	SBS（静岡放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
山梨	UTY（テレビ山梨）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
長野	SBC（信越放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
福井	FTB（福井テレビ）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
富山	TUT（チューリップテレビ）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
石川	MRO（北陸放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05

地域	ホスト局	午前			午後	
中部	CBC（中部日本放送）	0:30	5:35	11:05	2:35	5:00
関西・徳島	MBS（毎日放送）	1:45	6:05	11:05	2:35	5:35
岡山・香川	RSK（山陽放送）	0:30	5:05	11:05	2:35	5:00
広島	RCC（中国放送）	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05
鳥取・島根	BSS（山陰放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
山口	TYS（テレビ山口）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
愛媛	ITV（伊予テレビ）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
高知	KUTV（テレビ高知）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
福岡	RKB（アール・ケー・ビー毎日放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:00
長崎	NBC（長崎放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
大分	OBS（大分放送）	0:30	5:05	11:05	2:35	5:05
宮崎	MRT（宮崎放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
熊本	RKK（熊本放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
鹿児島	MBC（南日本放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05
沖縄	RBC（琉球放送）	0:30	6:05	11:05	2:35	5:05

（電子番組表（Gガイド）データの送信時刻）

（2006年4月現在）

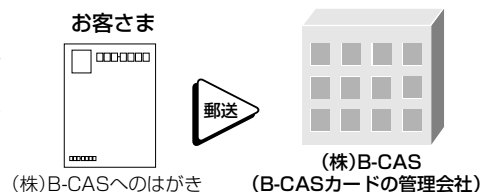
デジタル放送を視聴するための設定をしよう

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るためには

■ B-CASカードが必要です。

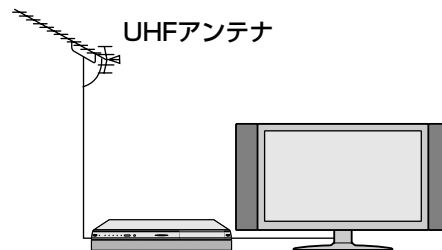
- 地上デジタル放送、BS･110度CSデジタル放送は、B-CASカードを利用した限定受信システム（＝CAS）を採用しています。
  付属のB-CASカード番号登録用はがきを送り、B-CASカードの番号を登録することで受信者登録が行われます。
- B-CASカードは、必ず登録してください。（登録は無料です。）
  2004年4月より、有料放送だけでなく、無料放送もB-CASカードが必要です。（デジタル放送すべて）
- B-CASカードの取り扱いについては、**43**ページをご覧ください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をするには

（（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズを略して（株）B-CASと呼びます。）
B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。
詳しくは、（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るためには

■ UHF アンテナが必要です。

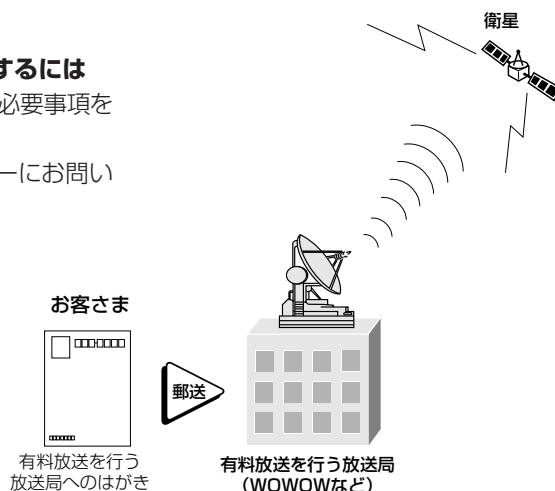
- 地上デジタル放送の受信にはUHF対応のアンテナを使用します。
  現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。
  （※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）

VHFアンテナでは受信できません。
ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの設置が必要になります。

お知らせ

- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は、2003年12月から開始された放送です。
  関東、中部、近畿の3大都市圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年までに放送が開始される予定です。
- お住まいの地域でデジタル放送が開始されていない場合は視聴できません。

BS・110度CSデジタル放送を見るためには

■ 放送局への申し込みが必要です。

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の有料放送を視聴するには
お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に、必要事項をご記入のうえ、投函してください。
詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

- 本機は、契約データの受信のために、電源「切」（待機状態＝待機ランプ赤色点灯）のときでも動作することがあります。

デジタル放送の設定のながれ

● デジタル放送を楽しむため、次の手順で設定を行ってください。

設定をする前にご確認ください。

デジタル放送用アンテナの接続とB-CASカードの準備はお済みですか？

● 地上デジタル放送を視聴するときの接続をする ☞ **23・24・29〜31**ページ
● BS・110度CSデジタル放送を視聴するときの接続をする ☞ **25〜31**ページ
● B-CASカードを本機にセットする ☞ **43**ページ
- 地上・BS・110度CSデジタル放送は、B-CASカードをセットしないとご覧になれません。
- 同梱のはがきまたはホームページでユーザー登録を行ってください。（登録は無料です。）

1. 地域と郵便番号を設定する ☞ 80ページ

- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
  お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域と郵便番号を設定してください。
- **この設定は、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必ず設定してください。**

2. BS・110度CSデジタル放送を楽しむとき BS・110度CS共用アンテナの設定をする ☞ 81ページ

- BS･CSアンテナ電源の設定をします。
- 受信強度を確認し、アンテナの向きを調整します。

3. 地上デジタル放送を楽しむとき 地上デジタル放送のチャンネル設定し、電子番組表（EPG）を受信する

- 地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定します。 ☞ **84**ページ
- 電子番組表（EPG）を受信します。 ☞ **86**ページ
- 地上デジタル放送のチャンネルを個別に設定します。 ☞ **88**ページ

4. リモコンに登録されているチャンネルを確認する ☞ 92ページ

- リモコンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。
  チャンネルの追加登録もできます。

有料放送を受信したり、双方向番組に参加したい場合は

- 本機は、デジタル放送の双方向番組に参加したり、有料放送の受信情報を管理する場合、電話回線を使います。
- 一部の双方向番組はLAN接続でも利用できます。プロバイダを利用したLAN環境を設定すれば通信速度が向上し、データ放送などをさらに快適に楽しめます。
- デジタル放送では、テレビ上でのショッピングや、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。これらは、双方向通信を利用した番組です。

1. 電話回線の設定をする

- 電話回線に接続します。 ☞ **94**ページ
- 電話回線の設定をします。 ☞ **96**ページ
- 電話会社の設定をします。 ☞ **98**ページ
- プロバイダの設定をします。 ☞ **104**ページ････ 文字入力のしかた ☞ **100**ページ

2. LANに接続できるとき LANの設定をする

- 優先利用回線の設定をします。☞ **106**ページ
- LANに接続します。 ☞ **107**ページ
- LANの設定をします。 ☞ **108**ページ

お知らせ

- 通常のデジタル放送は、電話回線接続やLAN接続を行わなくても楽しめます。

地域と郵便番号を設定する

はじめに

- 必ず地域と郵便番号の設定をしてください。
  - 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送される内容が異なることがあります。本機をお使いになる地域に向けた情報の受信に必要な設定です。
  - 地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必要な設定です。

地域を選択する

- かんたん設定の「地上デジタル設定」（**56**ページ）を行ったときは、手順**6**（郵便番号設定）から設定してください。

テレビと本機の準備

① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機を接続した入力（入力1など）に切り換える
③ リモコンの 電源 、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
- 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」（**44**ページ）をご覧ください。

操作開始

1 ① スタートメニュー を押す
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

2 ① ◀▶で「視聴・再生設定」を選ぶ
② ▲▼で「デジタル放送視聴設定」を選び、決定を押す

■各種設定［視聴・再生設定…デジタル放送視聴設定］　＊＊/＊＊［＊］午前＊＊:＊＊

録画機能設定	視聴・再生設定	設置調整	管理設定	かんたん設定

デジタル放送視聴設定
DVD再生設定
チャンネル設定
プログレッシブ出力設定

3 ▲▼で「地域選択」を選び、決定を押す

■各種設定［視聴・再生設定…デジタル放送視聴設定］　＊＊/＊＊［＊］午前＊＊:＊＊

字幕表示設定
PPV制限
PPV購入金額制限
視聴年齢制限設定
地域選択
郵便番号設定
双方向サービス設定
個人情報初期化設定

お住まいの地域を選択してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

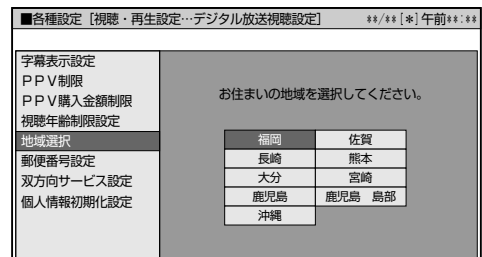
4 ▲▼◀▶でお住まいの地域を選び、決定を押す

5 ▲▼◀▶でお住まいの都道府県を選び、決定を押す

■各種設定［視聴・再生設定…デジタル放送視聴設定］　＊＊/＊＊［＊］午前＊＊:＊＊

字幕表示設定
PPV制限
PPV購入金額制限
視聴年齢制限設定
地域選択
郵便番号設定
双方向サービス設定
個人情報初期化設定

お住まいの地域を選択してください。

福岡	佐賀
長崎	熊本
大分	宮崎
鹿児島	鹿児島　島部
沖縄	

- 手順**3**の画面に戻ります。

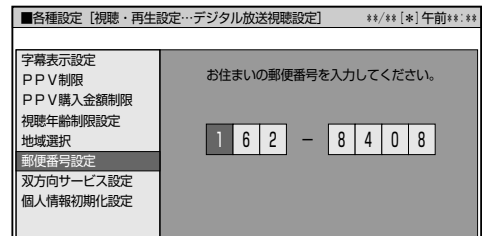
郵便番号を設定する

6 ▲▼で「郵便番号設定」を選び、決定を押す

■各種設定［視聴・再生設定…デジタル放送視聴設定］　＊＊/＊＊［＊］午前＊＊:＊＊

字幕表示設定
PPV制限
PPV購入金額制限
視聴年齢制限設定
地域選択
郵便番号設定
双方向サービス設定
個人情報初期化設定

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 － 8 4 0 8

7 リモコンふた内の数字ボタン（1～10/0）で郵便番号を入力し、決定を押す
- 入力した番号を修正したいときは、◀▶で修正したい欄を選び、数字ボタンで入力し直します。

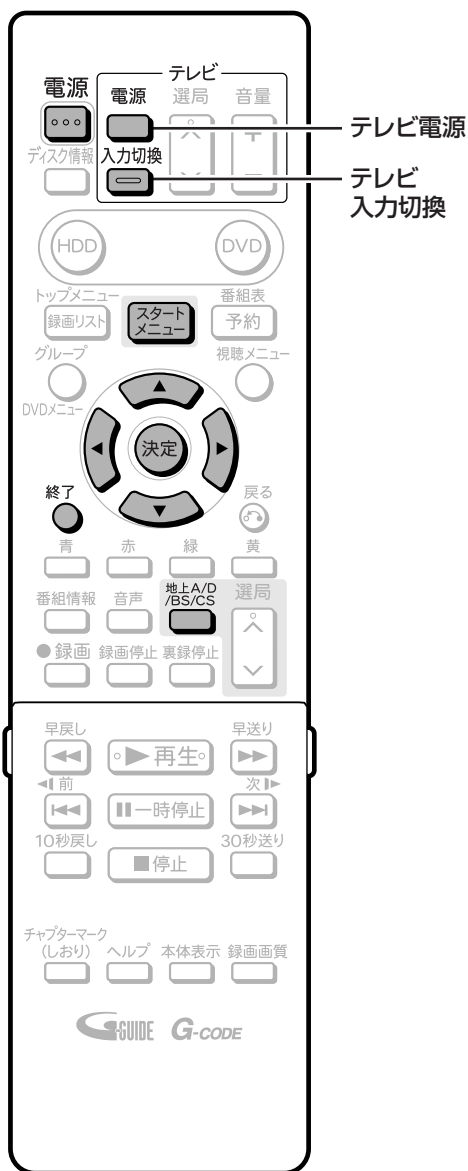
8 終了を押し、通常画面に戻す

ヒント

スタートメニュー画面について
- スタートメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

BS・110度CS共用アンテナの設定をする

はじめに

● BS・110度CS共用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。アンテナ設定画面を見ながら設定してください。
● アンテナの設定が済んだら、ご覧になるチャンネルの信号テストをしましょう。

● アンテナ電源を設定する

● 地上デジタル放送では設定の必要がありません。

テレビと本機の準備

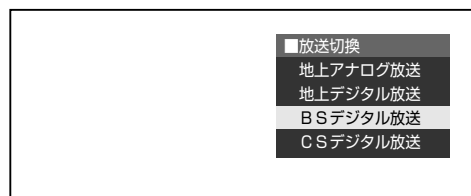
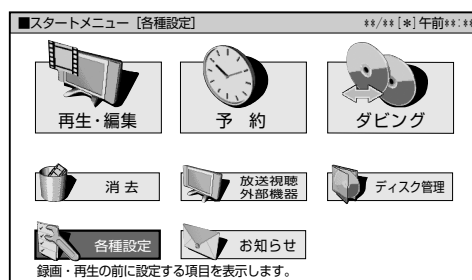
① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機を接続した入力（入力1など）に切り換える
③ リモコンの電源、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる
● 詳しくは「テレビと本機の準備をしよう」（**44**ページ）をご覧ください。

操作開始

1 地上A/D/BS/CSを何回か押して「BSデジタル放送」を選び、決定を押す

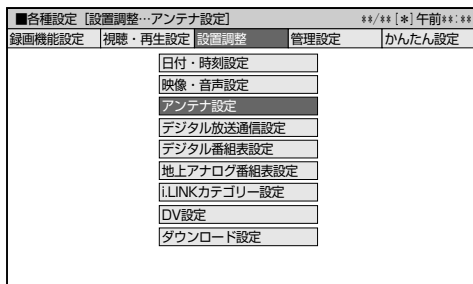
● 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。
● 110度CSデジタル放送については地上A/D/BS/CSを何回か押して「CSデジタル放送」を選び、決定を押します。

2 ① スタートメニュー を押す

② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

スタートメニュー画面について
● スタートメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

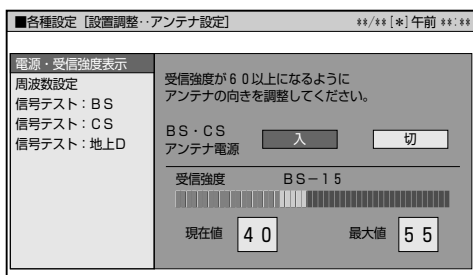
次ページの手順3へつづく

3 ① ◀▶で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼で「アンテナ設定」を選び、を押す

- アンテナ設定画面が表示されます。

4 ▲▼で「電源・受信強度表示」を選び、決定を押す

- 初期設定の「BS･110度CS放送用アンテナ電源の設定」（**51**ページ）でアンテナ電源の設定が済んでいるときは手順**6**に進みます。

5 ◀▶で「入」または「切」を選ぶ

「入」…個人でアンテナを設置･接続している場合に選びます。

「切」…共聴アンテナに接続している場合など、電源を供給しないときに選びます。（工場出荷時の設定）

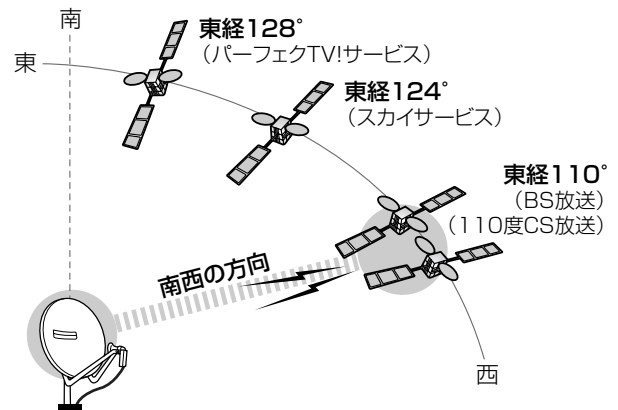
- 「アンテナ線がショートしています。アンテナ電源を「切」にしました。アンテナ接続をご確認ください。【E207】」のメッセージが表示されたときは、一度「切」を選びます。放送が映らないときは、アンテナ接続を確認してから再度「入」を選びます。

● 受信強度を確認・調整する

- アンテナの調整が済んでいる場合（共聴タイプのアンテナの場合）は、この手順は必要ありません。

6 受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する

- 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。

アンテナの向きについて

受信強度が60以上になるように、
アンテナの向きを調整してください。

7 終了を押し、通常画面に戻す

お知らせ

- 「電源･受信強度表示」や「信号テスト」を選択しているときに表示される受信強度は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは具体的な信号強度などを示すものではありません。

● BS・110度CS共用アンテナの信号テストをする

- BS・110度CSデジタル放送の受信強度を確認します。
- 地上デジタル放送の受信強度も確認できます。

準備

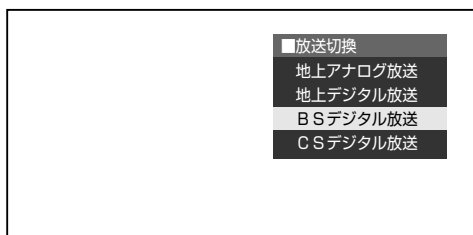
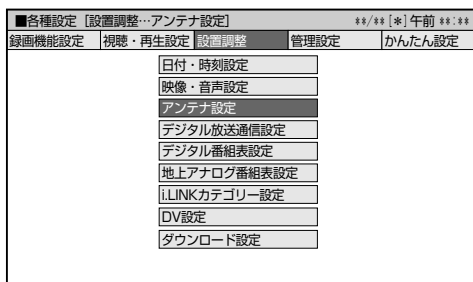
地上A/D/BS/CS を何回か押して「BSデジタル放送」を選び、決定を押す

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定を行うことができます。
- 110度CSデジタル放送については 地上A/D/BS/CS を何回か押して「CSデジタル放送」を選び、決定を押します。

操作開始

1
① スタートメニュー を押す

② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

2
① ◀▶で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼で「アンテナ設定」を選び、決定を押す

3
▲▼で「信号テスト:BS」を選び、決定を押す

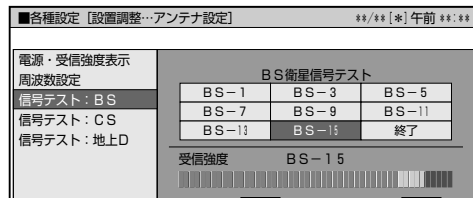
- 110度CSデジタル放送は「信号テスト:CS」を選び決定を押してください。
- 地上デジタル放送は「信号テスト:地上D」を選び、決定を押してください。

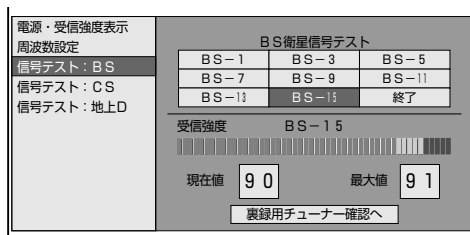
■各種設定 ［設置調整…アンテナ設定］ **/**［*］午前 **:**

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テスト：ＢＳ
信号テスト：ＣＳ
信号テスト：地上Ｄ

ＢＳ衛星信号テスト

ＢＳ－１	ＢＳ－３	ＢＳ－５
ＢＳ－７	ＢＳ－９	ＢＳ－11
ＢＳ－13	ＢＳ－15	終了

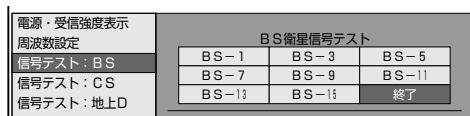
受信強度 ＢＳ－１５

4
「BSー1」～「BSー15」のうち、確認したい項目を▲▼◀▶で選び、決定を押す

- 110度CSデジタル放送は「CS−2」～「CS−24」を選び決定を押してください。
- 地上デジタル放送は「地上ーD1」～「地上ーD12」を選び決定を押してください。

- 受信強度が60以上であることを確認してください。

5
▲▼◀▶で「終了」を選び、決定を押す

電源・受信強度表示
周波数設定
信号テスト：ＢＳ
信号テスト：ＣＳ
信号テスト：地上Ｄ

ＢＳ衛星信号テスト

ＢＳ－１	ＢＳ－３	ＢＳ－５
ＢＳ－７	ＢＳ－９	ＢＳ－11
ＢＳ－13	ＢＳ－15	終了

6
終了 を押し、通常画面に戻す

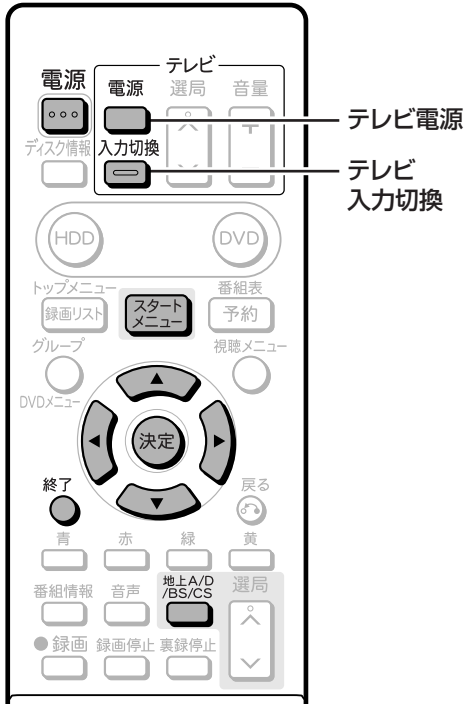
お知らせ

裏録用チューナーの信号テストについて

- 手順4で、▲▼◀▶で「裏録用チューナー確認へ」を選び、決定を押すと、裏録用チューナーの信号テスト画面になります。
  通常チューナーと同様の手順で信号テストをしてください。
- 裏録用チューナーの信号テスト画面で、▲▼◀▶で「通常チューナー確認へ」を選び、決定を押すと、通常チューナーの信号テスト画面に戻ります。

地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する

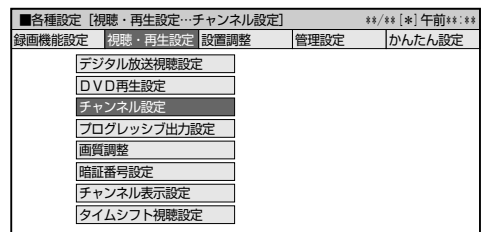
はじめに

- 初めて受信登録するときや、引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合に設定します。
- **チャンネル設定の前に、必ず地域と郵便番号の設定（80ページ）をしてください。**
- 地上デジタルチューナーのチャンネル設定は、裏録予約用の地上デジタルチューナーも同時に設定されます。

準備

- 地上デジタル放送の受信には、UHFアンテナが必要です。UHFアンテナを接続してください。（**23・24**ページ）
- 地上A/D/BS/CS を何回か押して「地上デジタル放送」を選び、決定を押します。
- 地域と郵便番号の設定をしてください。（**80**ページ）

操作開始

1
① スタートメニューを押す
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

2
① ◀▶で「視聴・再生設定」を選ぶ
② ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

地上デジタル放送のケーブルテレビ（CATV）放送対応について

- 本機で地上デジタル放送が受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「CATVパススルー方式」です。（「トランスモジュレーション方式」には対応していません。）

CATVパススルー方式とは

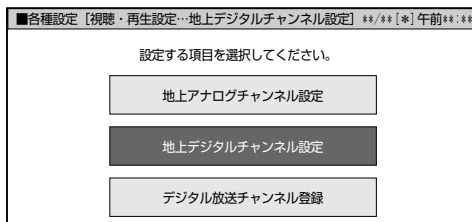
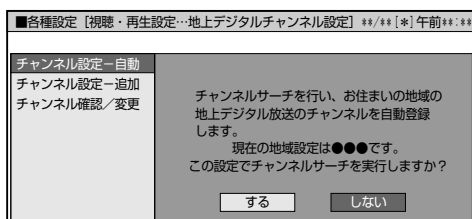
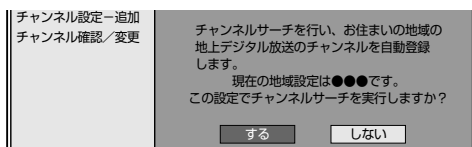
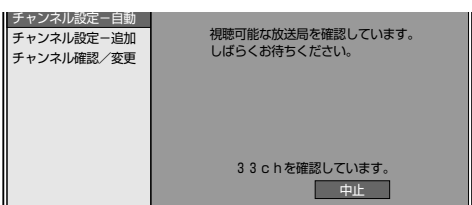
- ケーブルテレビ（CATV）配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に流す放送方式です。
  この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
  本機で受信できるのは次の周波数帯です。
  - UHF帯
  - VHF帯
  - ミッドバンド（MID:C13～C22）帯
  - スーパーハイバンド（SHB:C23～C63）帯

ヒント

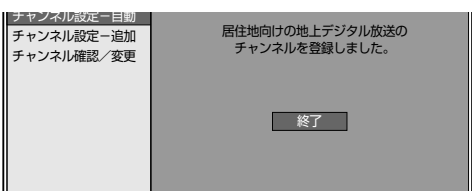
スタートメニュー画面について
- スタートメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

次ページの手順3へつづく

3 ▲▼で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「チャンネル設定ー自動」を選び、決定を押す

5 ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 自動設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

- 途中で「中止」で決定を押したときは、チャンネル設定がされません。再度設定し直すときは、**84**ページの手順**1**からやり直してください。

- 自動設定が終了すると、登録終了の画面になります。

6 「終了」で決定を押す

7 終了を押し、通常画面に戻す

● 地上デジタル放送用アンテナ(UHF)の信号テストをする

- 地上デジタル放送の受信強度を確認します。

操作開始

1 「BS・110度CS共用アンテナの信号テストをする」（**83**ページ）の手順**3**で「信号テスト:地上D」を選び、決定を押す

2 「BS・110度CS共用アンテナの信号テストをする」（**83**ページ）の手順**4**〜**6**を行い、受信強度を確認する

お知らせ

裏録用チューナーの信号テストについて

- 「BS・110度CS共用アンテナの信号テストをする」（**83**ページ）の手順**4**で、▲▼◀▶で「裏録用チューナー確認へ」を選び、決定を押すと、裏録用チューナーの信号テスト画面になります。
  通常チューナーと同様の手順で信号テストをしてください。
- 裏録用チューナーの信号テスト画面で、▲▼◀▶で「通常チューナー確認へ」を選び、決定を押すと、通常チューナーの信号テスト画面に戻ります。

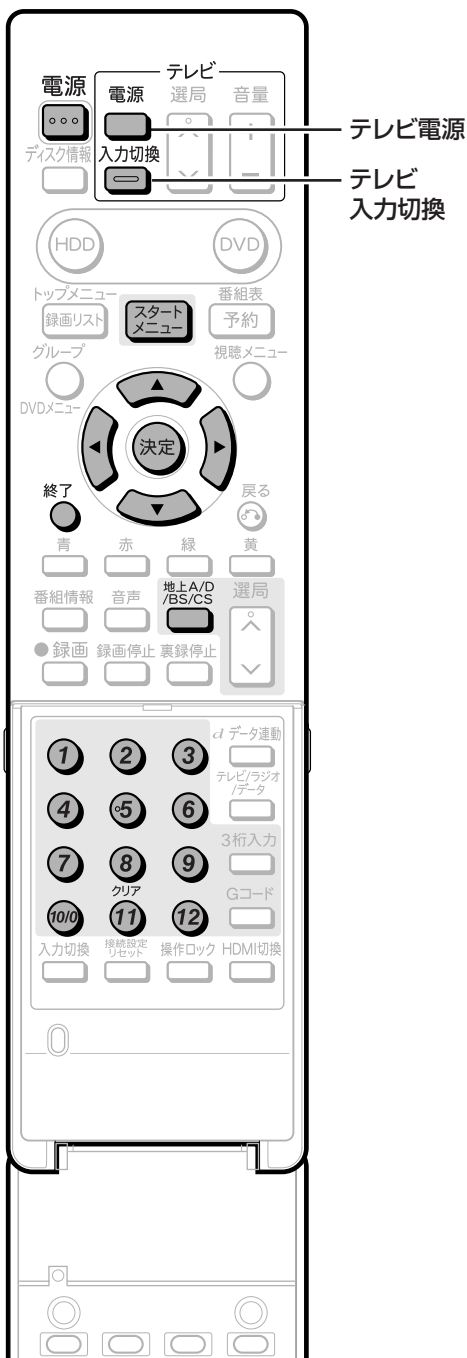
地上デジタル放送の電子番組表(EPG)を受信する

はじめに

- 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）を使うには、電子番組表（EPG）データを取得する必要があります。
- 地上デジタル放送の電子番組表（EPG）データは、次の方法で取得できます。
  - 地上デジタル放送の各チャンネルを選局する
  - 「番組表取得設定」を「する」に設定し、電源を切る

ここでは、「番組表取得設定」をして電子番組表（EPG）データを取得する方法を説明します。

テレビ電源

テレビ入力切換

番組表取得設定をする

準備

地上A/D /BS/CSを何回か押して「地上デジタル放送」を選び、決定を押す

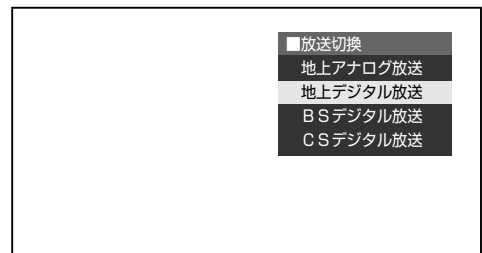
■放送切換
地上アナログ放送
地上デジタル放送
ＢＳデジタル放送
ＣＳデジタル放送

操作開始

1

① スタートメニューを押す

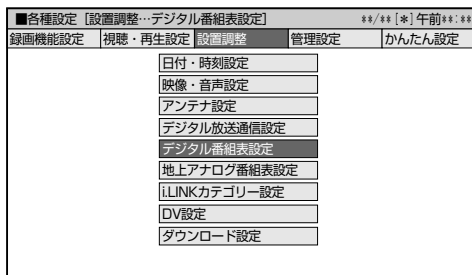
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

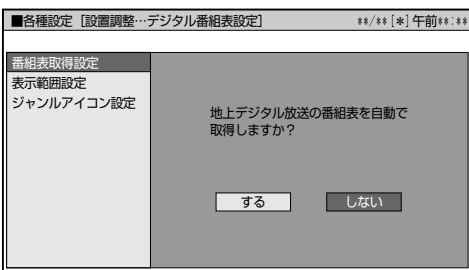
■スタートメニュー［各種設定］ **/** [*] 午前**:**
再生・編集　予　約　ダビング
消去　放送視聴 外部機器　ディスク管理
各種設定　お知らせ
録画・再生の前に設定する項目を表示します。

次ページの手順2へつづく

2

① ◀▶で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼で「デジタル番組表設定」を選び、決定を押す

3

▲▼で「番組表取得設定」を選び、決定を押す

4

◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」‥‥‥ 電源を「切」にすると電子番組表（EPG）データを取得します。

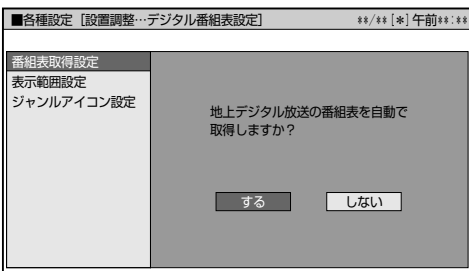
「しない」‥‥ 視聴している放送局の電子番組表（EPG）データだけを取得します。

■各種設定［設置調整…デジタル番組表設定］

番組表取得設定
表示範囲設定
ジャンルアイコン設定

地上デジタル放送の番組表を自動で取得しますか？

する　しない

5

終了を押し、通常画面に戻す

● 電子番組表（EPG）データを取得する

操作開始

1 本機の電源を切る

- 「番組表取得設定」を「する」に設定した場合、電源を「切」にすると、自動的に電子番組表（EPG）情報を取得します。
- **電子番組表（EPG）データの取得中は、本体内部の電源が入っているため、本体表示部に「地上D番組表取得中」と表示されます。**

取得中の本体表示部

地上D番組表取得中

工場出荷時の設定ではバックライトを消灯しています。
- 電源オフ時刻表示設定が「する」に設定されているときはバックライトが点灯します。

- **電子番組表（EPG）データの取得中は、本体内部の冷却ファンが回ります。**
- **電子番組表（EPG）データを取得し終わると、本体内部の電源は自動的に切れます。**

お知らせ

- 電波状態（受信状態）によっては、電子番組表（EPG）データが取得できない場合があります。
- 「番組表取得設定」を「する」に設定しているときは、電源を切るたびに電子番組表（EPG）データを取得します。
  電子番組表（EPG）データの取得には、最長で約30分かかることがあります。

電子番組表（EPG）について

•電子番組表（EPG）の表示のしかたや使いかたについては、2. 操作編 **34**ページをご覧ください。

● 工場出荷時設定のチャンネル一覧

地上デジタル放送チャンネル

チャンネルボタン	放送局名	チャンネル番号
1	NHK総合	011
2	NHK教育	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

※2006年4月現在

地上デジタル放送のチャンネルを個別に設定する

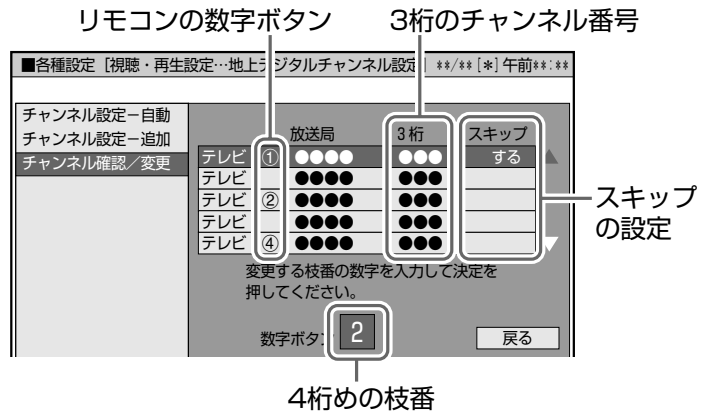
はじめに

● 「地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する」（84ページ）で設定したチャンネルを一覧表示して、確認できます。

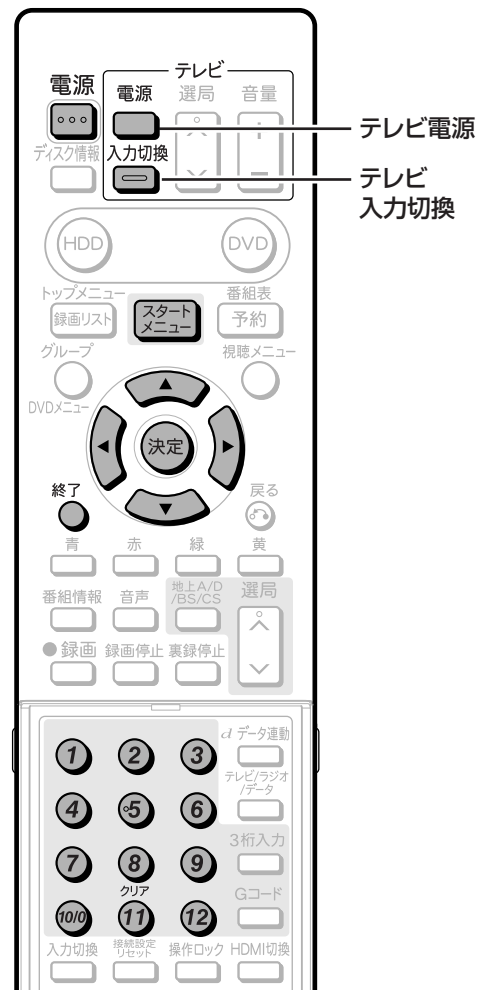
● 登録されたチャンネルの設定内容を個別に変更できます。→「チャンネル確認／変更」

「数字ボタン」
登録先のリモコン数字ボタンを変更します。

「枝番」
チャンネル番号の4桁め（枝番）を変更します。

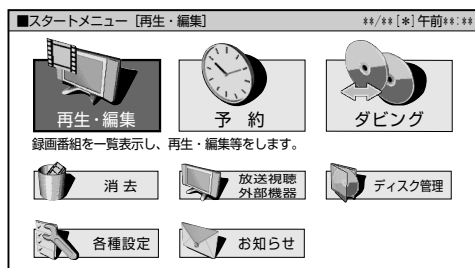
「スキップ」
選局（∧順／∨逆）ボタンでの選局時に、スキップするかしないかを設定します。

● 新しく放送が開始された場合などに、放送チャンネルを追加します。→「チャンネル設定ー追加」

地上デジタル放送のチャンネル番号と枝番について

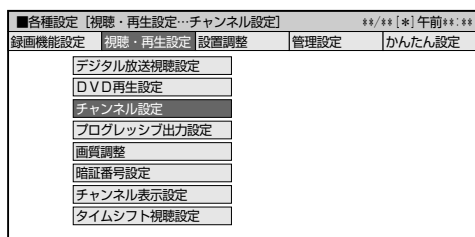
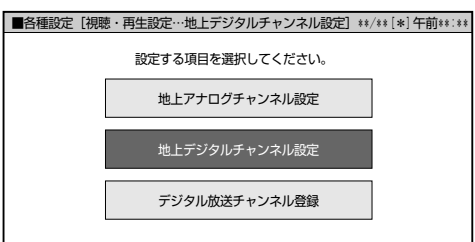
- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（リモコンふた内の①～⑫）のチャンネル番号のほかに、3桁のチャンネル番号が付けられています。1つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は7地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は3桁で放送番組を特定できます。
  ただし、本機をお使いになる地域によっては、隣接する地域の放送も同じチャンネル番号で受信できることがあります。この場合は、さらにもう1桁を入力して選局することになります。その1桁の番号を「枝番」といいます。

●登録されたチャンネルを確認する

● 登録された放送チャンネルを一覧表示します。

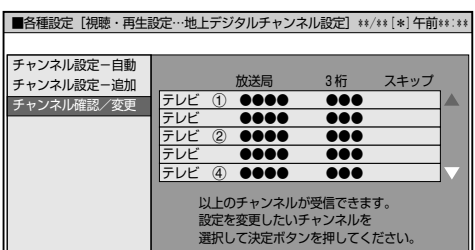
操作開始

1 地上デジタル放送の視聴中に[スタートメニュー]を押す

2 ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

3 ① ◀▶で「視聴・再生設定」を選ぶ

② ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

4 ▲▼で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、決定を押す

5 ▲▼で「チャンネル確認／変更」を選び、決定を押す

● 登録された放送チャンネルが一覧表示されます。

● ▲▼で一覧表示をスクロールすることができます。

● 確認だけの場合は、終了を押して操作を終了します。

●登録先の数字ボタンを変更する

● 登録された放送チャンネルの、登録先リモコン数字ボタンを他の数字ボタンに変更します。

6 ▲▼で変更したい放送チャンネルを選び、決定を押す

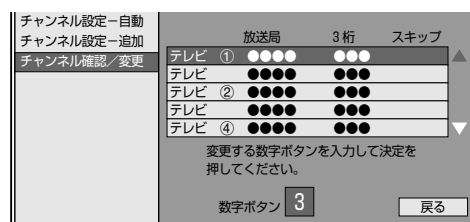
7 ◀▶で「数字ボタン」を選び、決定を押す

● 数字ボタン入力欄が表示されます。

ヒント

● 画面に「戻る」が表示されているときは、「戻る」を選んで決定を押すと、1つ前の画面に戻ります。

8 変更する数字ボタンの番号を、リモコンふた内の数字ボタン（1～12）で入力し、決定を押す

[例] 3に変更する場合、3を押す

● 入力した数字が他のチャンネルの数字ボタンと重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」の確認画面が表示されます。
置き換える場合は「確認」で決定を押してください。

9 ◀▶で「確認」を選び、決定を押す

● 放送チャンネルの設定が変更されます。

● ここで操作を終わるときは、終了を押します。

次ページの手順10へつづく

●枝番を変更する

● 受信された放送局の中で、3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）を変えて区別できます。

10 で変更したい放送チャンネルを選び、決定を押す

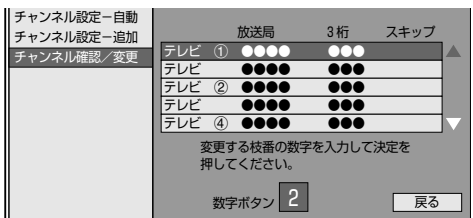
11 で「枝番」を選び、決定を押す

チャンネル設定ー自動
チャンネル設定ー追加
チャンネル確認／変更
放送局　3桁　スキップ
テレビ ①
テレビ
テレビ ②
テレビ
テレビ ④
変更する項目を選択してください。
数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

● 枝番入力欄が表示されます。

ヒント

● 画面に「戻る」が表示されているときは、「戻る」で決定を押すと、1つ前の画面に戻ります。

12 変更する枝番の数字をリモコンふた内の数字ボタン（1〜10/0）で入力し、決定を押す

● 入力した枝番の数字が他チャンネルの枝番と重複している場合は、「枝番を置き換えますか」の確認画面が表示されます。置き換える枝番の数字を入力して決定を押してください。

お知らせ

● 枝番が初めから「0」になっている場合は、変更できません。

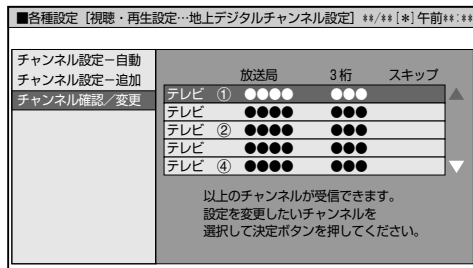
13 で「確認」を選び、決定を押す

● チャンネルの枝番が変更されます。

● ここで操作を終わるときは、終了を押します。

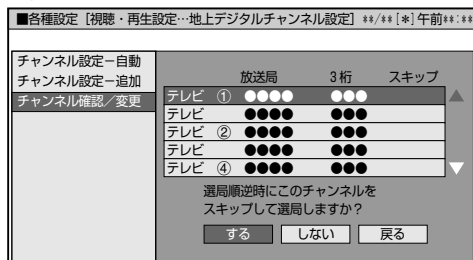
●視聴しないチャンネルをスキップする

● 選局（∧順／∨逆）ボタンでチャンネル選局をしたときに、視聴しない放送チャンネルなどを飛ばして選局したいときに行う設定です。

14 でスキップしたい放送チャンネルを選び、決定を押す

15 で「スキップ」を選び、決定を押す

● スキップの設定欄が表示されます。

16 で「する」を選び、決定を押す

● スキップしないときは、で「しない」を選び、決定を押します。

● 放送チャンネル一覧表示のスキップ欄に、「する」が表示されます。

17 終了を押し、通常画面に戻す

●チャンネルを追加する

● 自動設定で登録した後に新しく放送が開始された場合など、放送チャンネルを追加するときに行う設定です。

操作開始

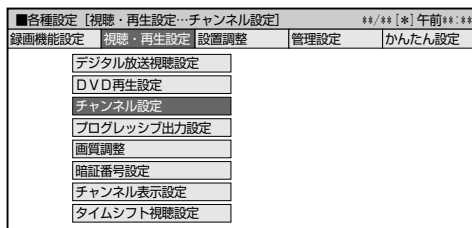
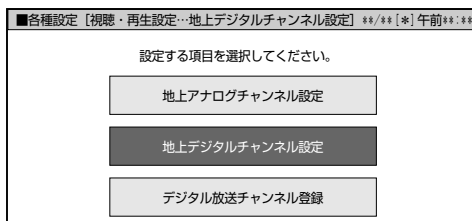
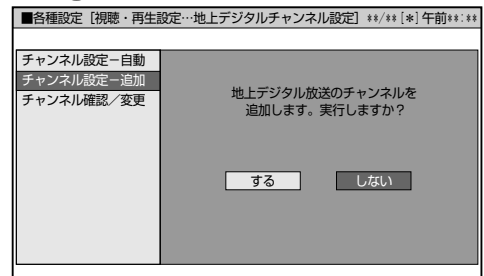
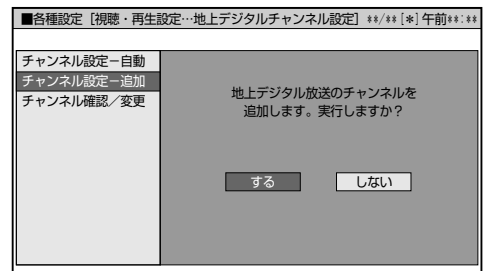
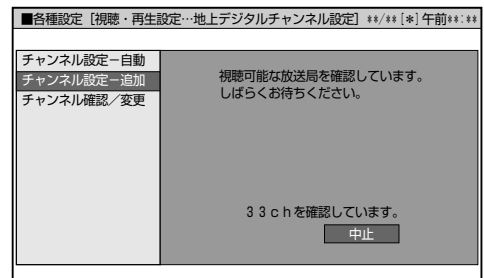
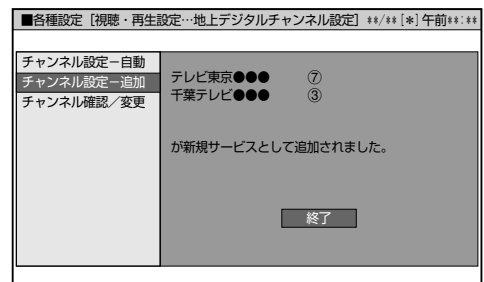
1 地上デジタル放送の視聴中に スタートメニュー を押す

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「各種設定」を選び、決定を押す

3 ① ◀ ▶ で「視聴・再生設定」を選ぶ

② ▲ ▼ で「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

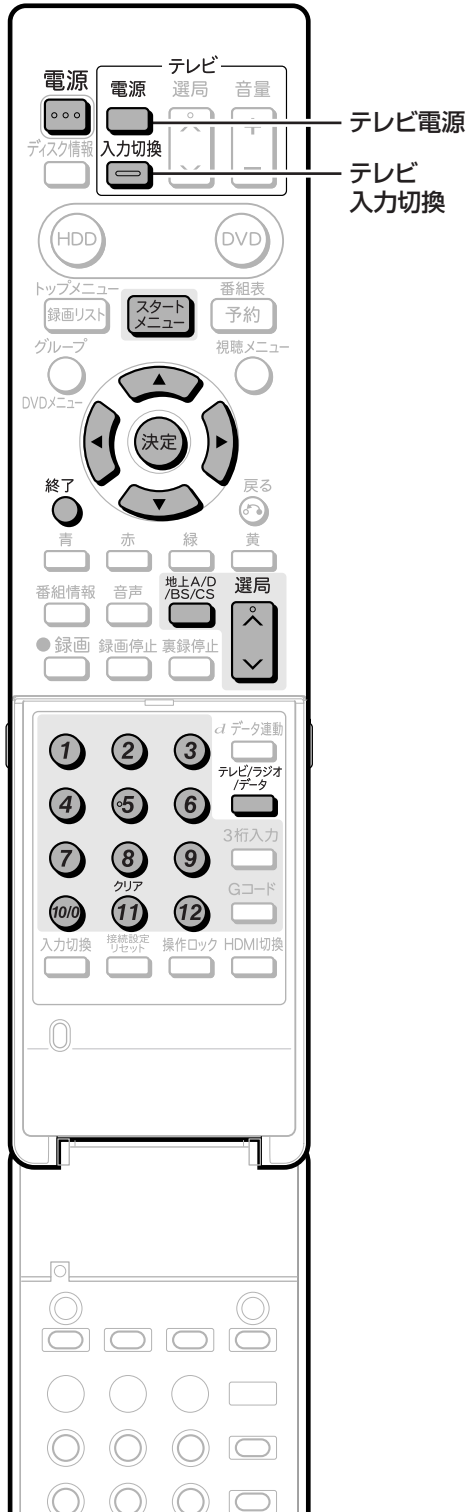
4 ▲ ▼ で「地上デジタルチャンネル設定」を選び、決定を押す

5 ▲ ▼ で「チャンネル設定ー追加」を選び、決定を押す

6 ◀ ▶ で「する」を選び、決定を押す

● 追加設定が開始され、確認中の画面が表示されます。

● 追加設定が終了すると、追加終了の画面が表示されます。

7 「終了」で決定を押す

8 終了を押し、通常画面に戻す

リモコンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認する

はじめに

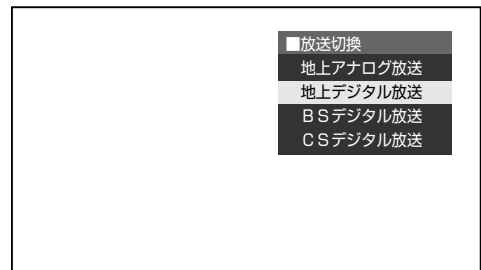
- リモコンのふた内の数字ボタンに登録されているチャンネルを確認できます。
- 登録されていないチャンネルを追加登録することもできます。
- チャンネル登録画面を表示中に テレビ/ラジオ/データ を押すと、放送の種類が切り換わり、登録されているチャンネルを確認できます。

チャンネルを確認する

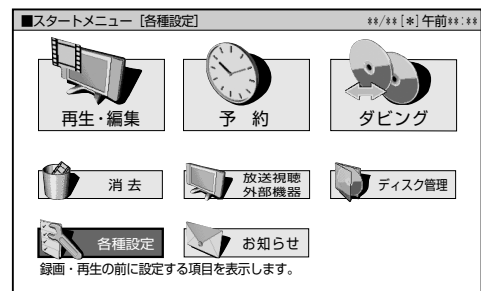
準備

確認したい放送を選ぶ

- 地上デジタル放送のチャンネルを確認するときは、地上A/D/BS/CS を何回か押して「地上デジタル放送」を選び、決定 を押します。
- BSデジタル放送のチャンネルを確認するときは、地上A/D/BS/CS を何回か押して「BSデジタル放送」を選び、決定 を押します。
- 110度CSデジタル放送のチャンネルを確認するときは、地上A/D/BS/CS を何回か押して110度CSデジタル放送（「CSデジタル放送」）を選び、決定 を押します。
- **93**ページでチャンネルを登録するときは、登録したいチャンネルを選局しておきます。

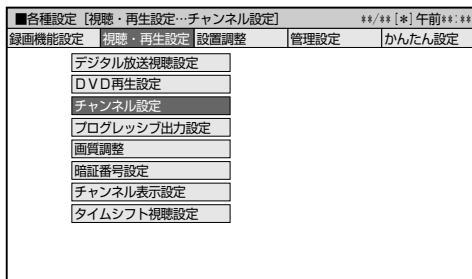
操作開始

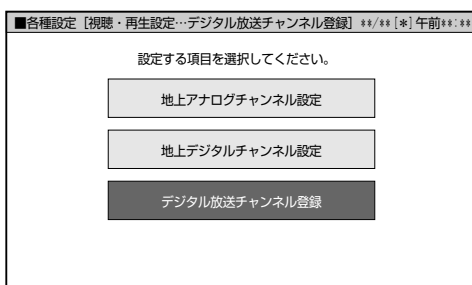
1

① スタートメニュー を押す

② ▲▼◀▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

次ページの手順2へつづく

2

①◁▷で「視聴・再生設定」を選ぶ

②△▽で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

3

△▽で「デジタル放送チャンネル登録」を選び、決定を押す

- 登録されているチャンネルの一覧が表示されます。
  ［例］BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

- テレビ/ラジオ/データを押すと、放送の種類が切り換わります。
- 確認後、画面表示を消すときは終了を押します。

● チャンネルを登録する

4

◁▷で「登録」を選び、決定を押す

ヒント

- 「初期化」を選んで決定を押すと、設定が工場出荷時の状態に戻ります。

5

登録したいチャンネルボタン（リモコンふた内の⑴～⑿）を押す

- △▽◁▷でも選べます。選択後、決定を押します。

［例］「BSジャパン2」（172チャンネル）を選局している場合で、そのチャンネルを⑾に登録するときはチャンネルボタン⑾（クリア）を押します。

6

◁▷で「する」を選び、決定を押す

7

終了を押し、通常画面に戻す

双方向通信の設定をしよう（電話回線）

電話回線に接続する

はじめに

● 本機は、デジタル放送の双方向番組に参加したり、有料放送（ペイ・パー・ビュー）の受信情報を管理する場合に、電話回線を使います。双方向番組に参加する場合や有料放送（ペイ・パー・ビュー）を受信する場合は、必ず電話回線に接続してください。

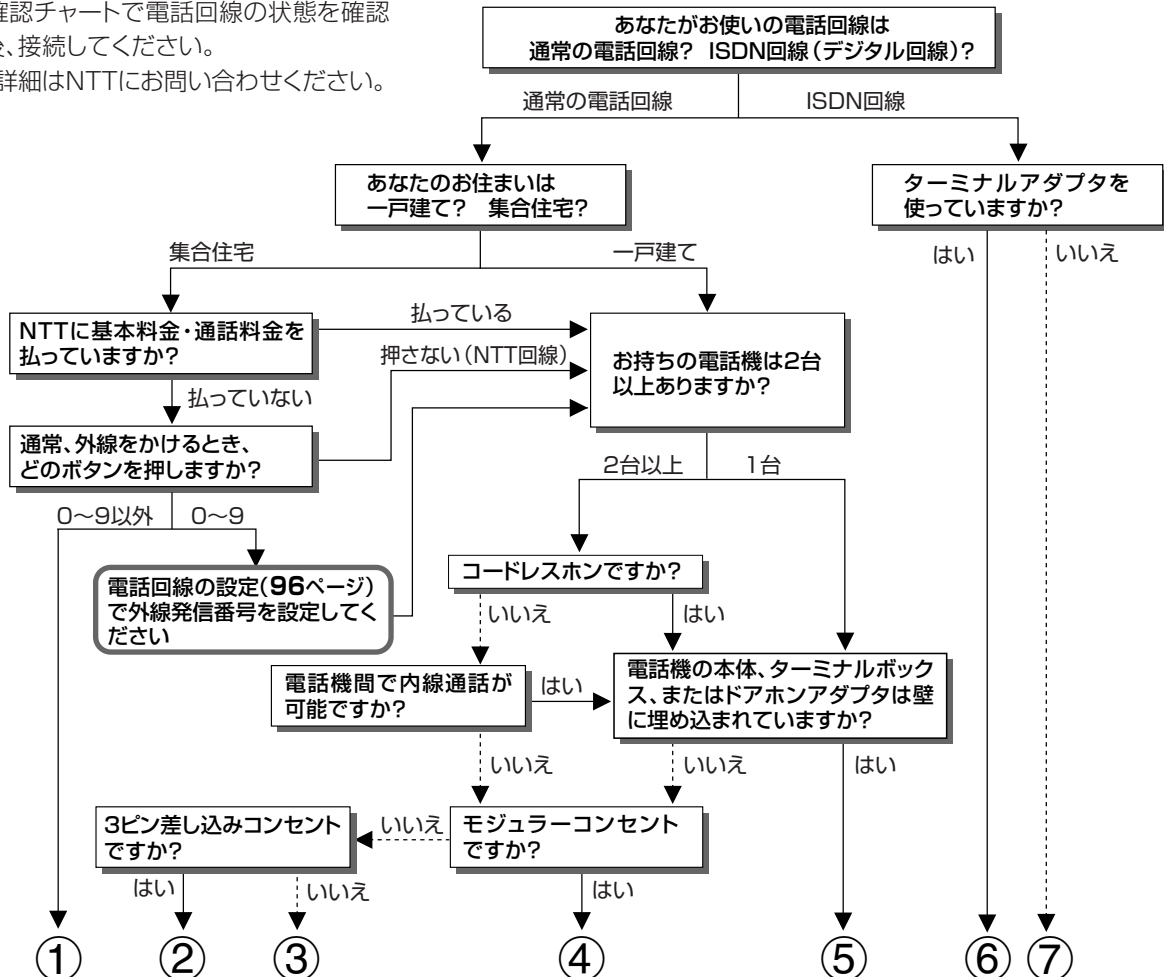
- 有料放送（ペイ・パー・ビュー）以外の放送は、電話線を接続しなくても視聴できます。
- WOWOW放送などの有料放送（ペイ・パー・ビュー）は、受信契約も必要です。
- デジタルチューナー内蔵テレビをお使いの場合は、双方向通信番組などをお楽しみになりたい機器（テレビまたは本機のいずれか片方）に電話線を接続してください。

● 一部の双方向番組は、LAN接続も利用できます。（**107**ページ）

お知らせ

- IP電話をご使用の場合は、電話回線がご使用になれません。

● 接続形態確認チャート

- 下の確認チャートで電話回線の状態を確認した後、接続してください。
- また、詳細はNTTにお問い合わせください。

①マンション交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、交換機を通さない電話回線につないでください。

②市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。

③専門業者によるモジュラーコンセントへの変換工事が必要です。

④付属の電話線とモジュラー分配器のみで接続可能です。（**95** ページ）

⑤専門業者による分岐工事が必要です。

⑥本機をターミナルアダプタに直接つないでください。

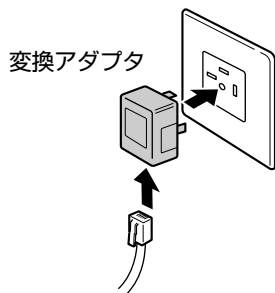
⑦ターミナルアダプタ（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプタに直接つないでください。
詳しくは、お使いのターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

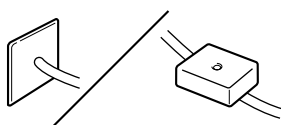
※③、⑤ についての詳細は、お近くの NTT 営業窓口にお問い合わせください。

つぎの電話回線では注意が必要です。

■ 電話回線がモジュラージャックでない場合は

3 ピンプラグの場合

市販の3ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプタをお求めください。

直結配線方式の場合

簡単な工事が必要です。
詳細はお近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

■ 構内電話（ビジネスホン／ホームテレホン）では

そのままでご利用になれないこともあります。その場合は単独の回線でのご利用をおすすめします。
詳細は電話設置会社にご相談ください。

■ キャッチホンでは

通信の途中でキャッチホンが入ると通信が切断されます。これを防ぐため、キャッチホンⅡへのご加入をおすすめします。
詳細はNTT営業窓口にお問い合わせください。

■ 直接、デジタル回線に接続することはできません

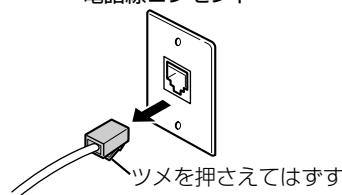
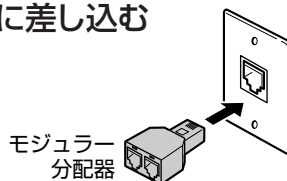
会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。ISDNなどのデジタル回線に接続する場合は、ターミナルアダプタ（TA）等の端末器を介して接続してください。

● 接続のしかた

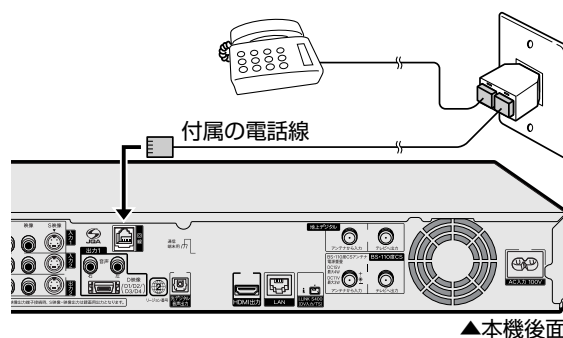
重 要

- 電話線のプラグは奥まで完全に差し込んでください。
- 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため、電源を切ってください。
- 電話線のプラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

1 本機と電話機の電源を切る

2 電話機の接続線（モジュラー線）を電話線コンセントからはずす

3 付属のモジュラー分配器を電話線コンセントに差し込む

4 電話機の接続線（モジュラー線）をモジュラー分配器の一方に差し込む

5 付属の電話線をモジュラー分配器のもう一方と本機後面の電話回線端子につなぐ

▲本機後面

お知らせ

- 視聴記録データの自動送信中は電話機を使用しないでください。視聴記録データの自動送信中に電話をかけると、通信が切断されることがあります。通信中はデータ通信音（ピーヒョロヒョロ…）が聞こえますので、その間は電話をしないでください。
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリが鳴る場合がありますが、異常ではありません。

電話回線の設定

はじめに

● 双方向通信をする場合に必要な、電話回線の設定をします。
電話回線が接続されていることを確認し、設定してください。（**95**ページ参照）

お知らせ

- 電話回線のテスト実行には、回線接続料（通話料）がかかります。
- IP電話をご使用の場合は、電話回線を接続しても、設定ができません。

ヒント

スタートメニュー画面について
- スタートメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

● 電話回線の自動設定をする

操作開始

1

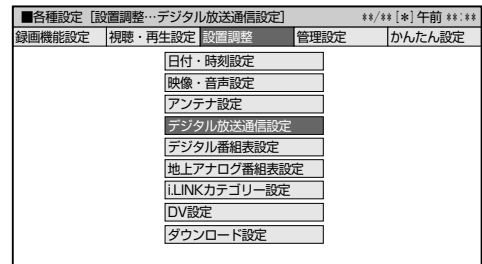
① スタートメニュー を押す

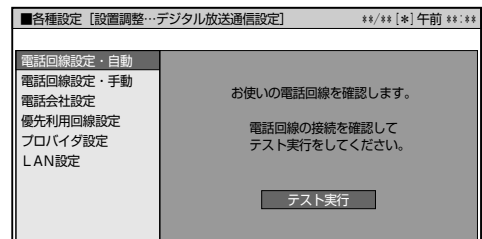
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

2

① ◀▶で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼で「デジタル放送通信設定」を選び、決定を押す

3

① ▲▼で「電話回線設定・自動」を選び、決定を押す

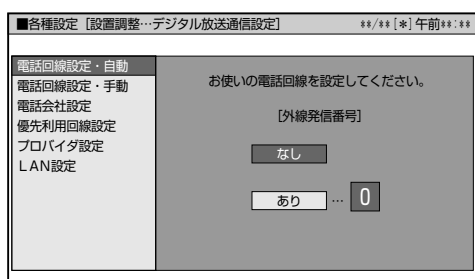
② 「テスト実行」で決定を押す

- 「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。「テスト終了」で決定を押してください。
- 連続して電話回線の設定確認ができなかった場合は、自動的に外線発信番号の設定画面に切り換わります。
「**外線発信番号の設定をする**」（手順**4**）を行ってください。

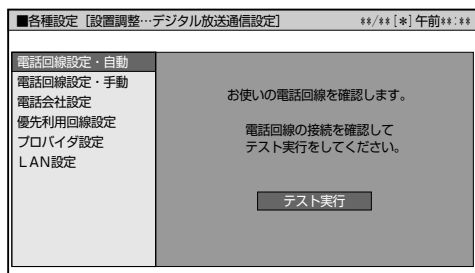
次ページの手順4へつづく

● 外線発信番号の設定をする

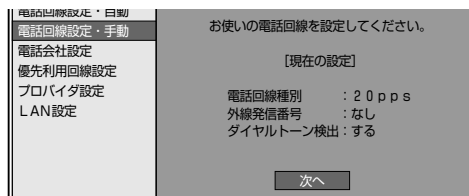
● 電話回線の自動判定が連続してできなかった場合は、次の画面が表示されます。再設定してください。

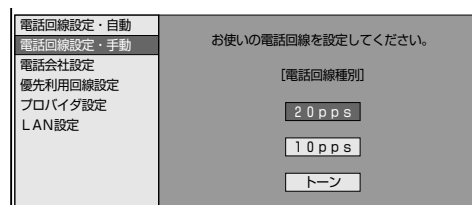
4 　▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選び、決定を押す

「なし」··· 外線交換機を使用しない場合（主な一般家庭）
「あり」··· 電話交換機などをご使用の場合

● 「あり」を選んだ場合は、リモコンふた内の数字ボタン（1～10/0）で外線発信番号を入力してから、決定を押します。
● 外線発信番号はお間違いのないように設定してください。

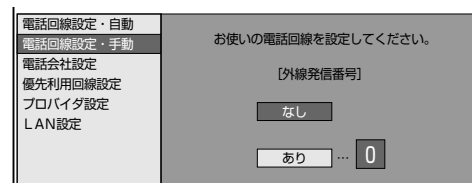
5 　「テスト実行」で決定を押す

● 「テスト実行」→「テスト実行中」→「テスト終了」と表示が変われば、電話回線の設定は完了です。
● 電話回線の設定確認ができなかった場合は、手順**4**に戻ります。
どうしても自動で電話回線の設定ができない場合は、戻るを押し、「**電話回線を手動で設定する**」（手順**6**）を行ってください。

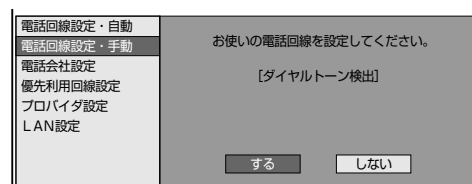
● 電話回線を手動で設定する

6 　① ▲▼で「電話回線設定・手動」を選び、決定を押す
② 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

7 　▲▼でご契約の電話回線種別を選び、決定を押す

● 契約している電話回線種別（ダイヤル方式）がわからない場合は、お近くのNTT営業窓口にお問い合わせください。

8 　① ▲▼で外線発信番号「なし」または「あり」を選ぶ

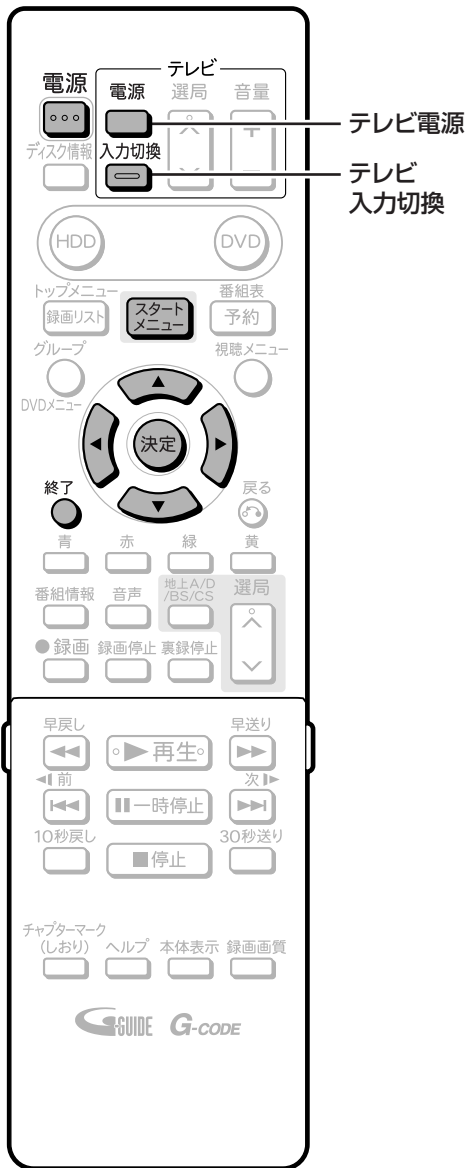
● 「あり」を選んだ場合は、リモコンふた内の数字ボタン（1～10/0）で外線発信番号を右のボックスに入力してください。

② 決定を押す

9 　◀▶でダイヤルトーン検出「する」または「しない」を選び、決定を押す

● NTT回線に直結している場合は「する」を選んでください。
● 交換機を中継する場合は、交換機の機種により「する」または「しない」を選んでください。

10 　終了を押し、通常画面に戻す

利用する電話会社を選ぶ

はじめに

- 電話回線を使って通信する際の、電話会社の選択や発信者番号の通知に関する設定です。
- **通常は設定する必要はありません。**

● 発信者番号通知を設定する

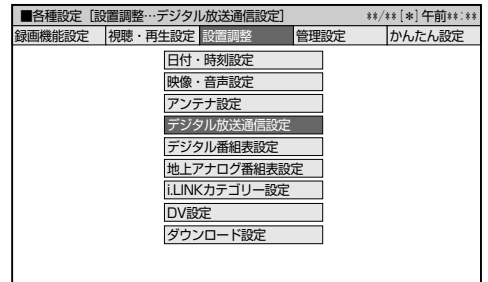
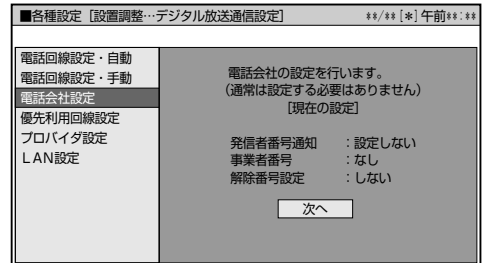
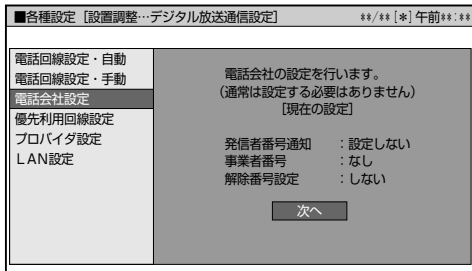
- 通信時に、放送局などの相手先に電話番号を通知するかしないかの設定です。

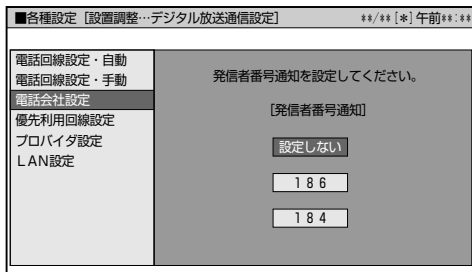
操作開始

1
① スタートメニュー を押す
② ▲▼◀▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

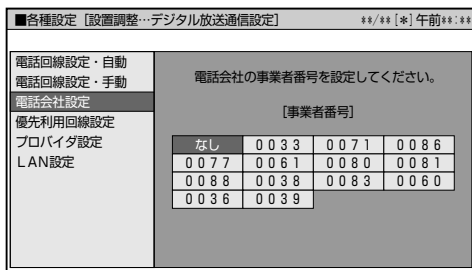
2
① ◀▶ で「設置調整」を選ぶ
② ▲▼ で「デジタル放送通信設定」を選び、決定 を押す

3
▲▼ で「電話会社設定」を選び、決定 を押す

次ページの手順4へつづく

4 「現在の設定」を確認し、「次へ」で決定を押す

5 ▲▼で「設定しない」「186」「184」のいずれかを選び、決定を押す

「設定しない」‥‥「186」「184」のどちらにも設定しません。
「186」‥‥‥‥ 番号を通知します。
「184」‥‥‥‥ 番号を通知しません。

● 事業者番号を設定する

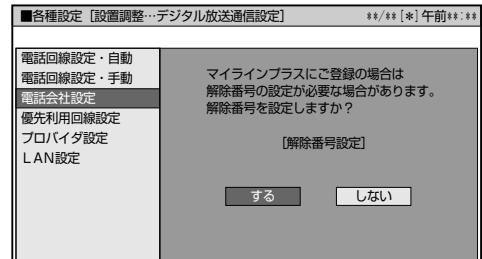
● 通信に利用する電話会社の事業者番号を登録します。

6 ▲▼◀▶で利用している電話会社の「事業者番号」を選び、決定を押す

● 事業者番号がわからないときは、電話会社にお問い合わせください。

● 解除番号を設定する

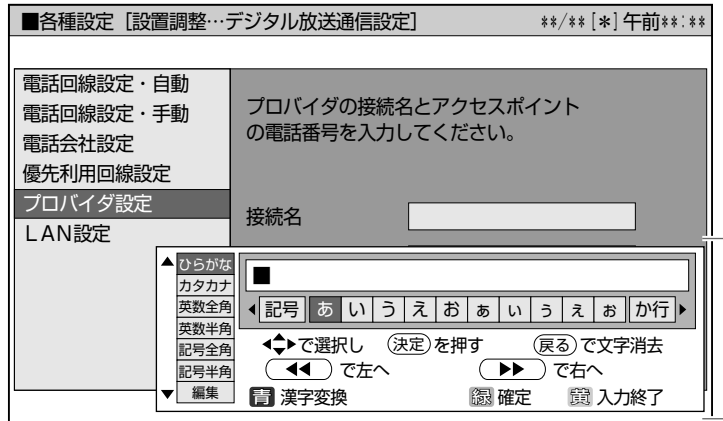
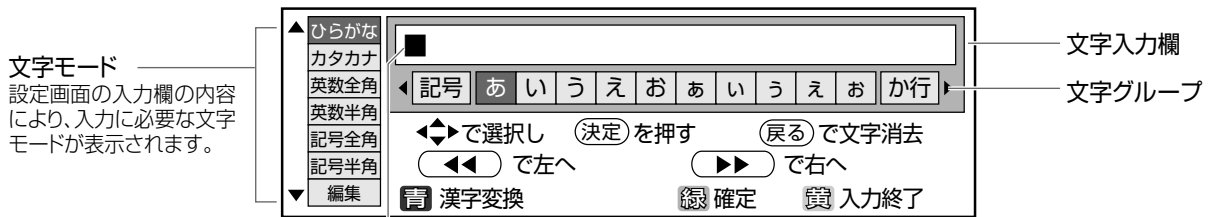
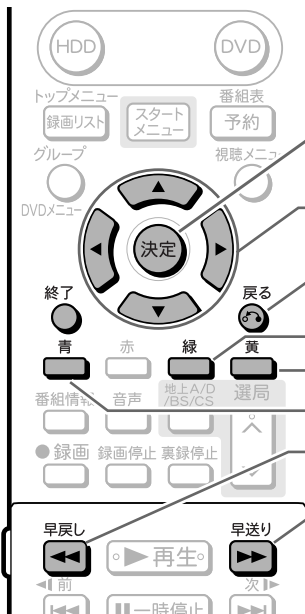
● マイラインプラスの登録をしている場合、登録している電話会社を使わずに発信するように設定できます。

7 ◀▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」‥‥‥マイラインプラスを解除するための番号「122」を付けて発信します。
「しない」‥‥マイラインプラスを解除しないで発信します。

8 終了を押し、通常画面に戻す

文字入力画面について

はじめに

- プロバイダ設定（104ページ）を行うときに文字入力の必要な欄で決定を押すと、文字入力画面が表示されます。
この文字入力画面を使って、各入力欄に文字・数字・記号を入力します。
- 予約名、グループ名、タイトル名などの、文字入力の必要な操作を選んだときも、文字入力画面が表示されます。

文字入力画面の使いかた

- 文字入力画面は、▲▼◀▶、決定、戻る、早戻し、早送り、青、緑、黄を使って操作します。

文字入力の操作のしかたは102ページをご覧ください。

● 入力文字一覧表

文字モード	文字グループ（展開表示）

ひらがな

記号 / あ行 / か行 / さ行 / た行 / な行 / は行 / ま行 / や行 / ら行 / わ行 / 空白

記号	一、。・「」ー（全角ハイフン）	あ行	あいうえおぁぃぅぇぉ	か行	かきくけこ゛
さ行	さしすせそ゛	た行	たちつてとっ゛	な行	なにぬねの
は行	はひふへほ゛゜	ま行	まみむめも	や行	やゆよゃゅょ
ら行	らりるれろ	わ行	わをんゎ	空白	（全角スペース）

カタカナ

記号 / ア行 / カ行 / サ行 / タ行 / ナ行 / ハ行 / マ行 / ヤ行 / ラ行 / ワ行 / 空白

記号	一、。・「」ー（全角ハイフン）	ア行	アイウエオァィゥェォ゛	カ行	カキクケコ゛
サ行	サシスセソ゛	タ行	タチツテトッ゛	ナ行	ナニヌネノ
ハ行	ハヒフヘホ゛゜	マ行	マミムメモ	ヤ行	ヤユヨャュョ
ラ行	ラリルレロ	ワ行	ワヲンヮ	空白	（全角スペース）

英数全角

数字 / ABC / DEF / GHI / JKL / MNO / PQRS / TUV / WXYZ / 空白

数字	１２３４５６７８９０	ABC	ＡＢＣａｂｃ	DEF	ＤＥＦｄｅｆ
GHI	ＧＨＩｇｈｉ	JKL	ＪＫＬｊｋｌ	MNO	ＭＮＯｍｎｏ
PQRS	ＰＱＲＳｐｑｒｓ	TUV	ＴＵＶｔｕｖ	WXYZ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ
空白	（全角スペース）				

英数半角

数字 / ABC / DEF / GHI / JKL / MNO / PQRS / TUV / WXYZ / 空白

数字	1234567890	ABC	ABCabc	DEF	DEFdef
GHI	GHIghi	JKL	JKLjkl	MNO	MNOmno
PQRS	PQRSpqrs	TUV	TUVtuv	WXYZ	WXYZwxyz
空白	（半角スペース）				

記号全角

@., : / ;_−¥ / $%!? / &#+* / =/|￣ / ”’^‘ / ()<> / []{} / 空白

<table>
<tr><td>@.,:</td><td>＠．，：</td><td>;_−¥</td><td>；＿ー￥</td><td>$%!?</td><td>＄％！？</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>＆＃＋＊</td><td>=/|￣</td><td>＝／｜￣</td><td>”’^‘</td><td>”’＾‘</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>（）＜＞</td><td>[]{}</td><td>［］｛｝</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table>

記号半角

@., : / ;_−¥ / $%!? / &#+* / =/|￣ / ”’^` / ()<> / []{} / 空白

<table>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_−¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|￣</td><td>= / | ￣</td><td>”’^`</td><td>” ’ ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table>

編集

漢字変換 / 左へ / 右へ / 終了 / 文字削除

※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

お知らせ

- 本体表示部にタイトル名を表示したとき、記号半角の¥、$、%、?、+、=、|、~、’、`、［、］、｛、｝、<、>は、本体表示部では表示できない文字のため、「＊」で表示されます。

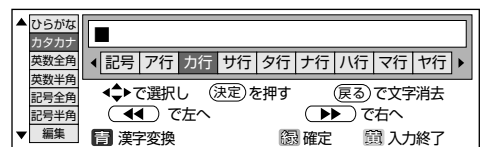
次ページへつづく ▶▶▶

文字を入力する

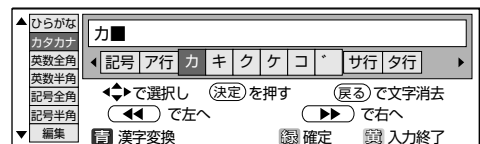
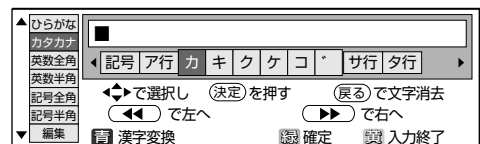
● 入力中に文字を消去する場合は、早戻し（左へ）または早送り（右へ）でカーソルを移動し、戻るを押します。

操作開始

1 プロバイダ設定画面（104ページ）の入力欄で決定を押し、文字入力画面を表示する

2 ① ▲▼で「文字モード」を選ぶ

② ◀▶で「文字グループ」を選び、決定を押す

● 選んだ文字グループが展開されます。

3 ◀▶で入力する文字を選び、決定を押す

● 文字入力欄に、決定した文字が表示されます。
● 続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。
● 文字グループを変更したいときは文字候補の先頭／最後で◀または▶を押します。
● 文字モードを変更したいときは▼を押します。

4 黄を押し、入力を終了する

● 文字入力画面が消え、プロバイダ設定画面の入力欄に完了した文字列が表示されます。

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

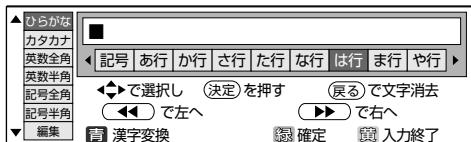
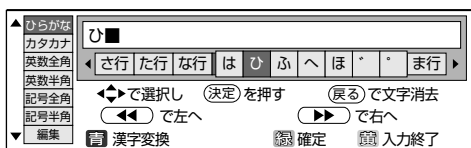
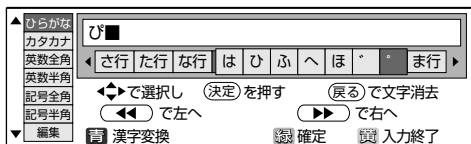
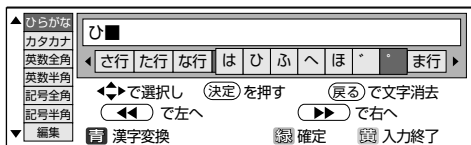
［例］「ぴ」を入力する

操作開始

1 ① ▲▼で文字モード「ひらがな」を選ぶ

② ◀▶で「は行」を選び、決定を押す

2 ◀▶で「ひ」を選び、決定を押す

3 ◀▶で「゜」を選び、決定を押す

- 「゛」を選んで決定を押すと、「び」になります。

スペースを入力する

操作開始

1 ◀▶で文字グループから「空白」を選び、決定を押す

- 文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

漢字に変換する

- ひらがなを入力した後、漢字に変換することができます。漢字変換ができるのは、ひらがなを入力したときだけです。

［例］「はんどうたい」を「半導体」に変換する

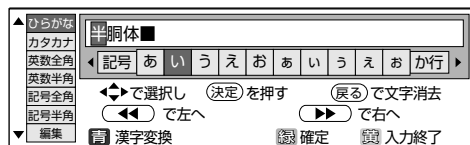
操作開始

1 ① ▲▼で文字モード「ひらがな」を選ぶ

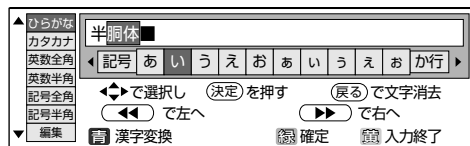
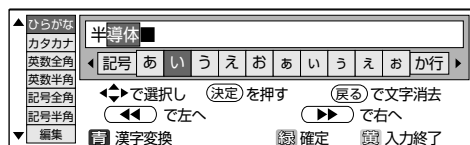
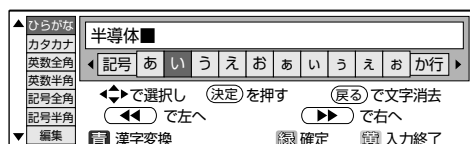
② ◀▶で文字グループを選び、決定を押す

2 ひらがなで「はんどうたい」と入力する

3 青を押す

- 入力したひらがなの、変換候補が表示されます。

- ▲▼で別の変換候補に切り換えることができます。

4 決定を押す

- 「半」が仮確定します。

5 ▲▼で「導体」をさがす

6 緑を押し、確定する

7 黄を押し、入力を完了する

- 文字入力画面が消え、プロバイダ設定画面の入力欄に完了した文字列が表示されます。

プロバイダ設定を行う

はじめに

- パソコンなどで契約しているプロバイダを使って、インターネット経由でデジタル放送の双方向サービスを利用する場合に必要な設定です。
- デジタル放送の双方向サービスを行っているかどうかは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- この設定では、プロバイダから提供される情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。
  - アクセスポイントの電話番号
  - ユーザー名
  - パスワード
  - DNSのIPアドレス
  - ヘッダ圧縮機能に対応しているか
  - ソフトウェア圧縮に対応しているか

- プロバイダと契約していない場合は、双方向サービスが楽しめません。

ヒント

- 文字入力画面については**100**ページをご覧ください。

スタートメニュー画面について

- スタートメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

IPアドレスとは

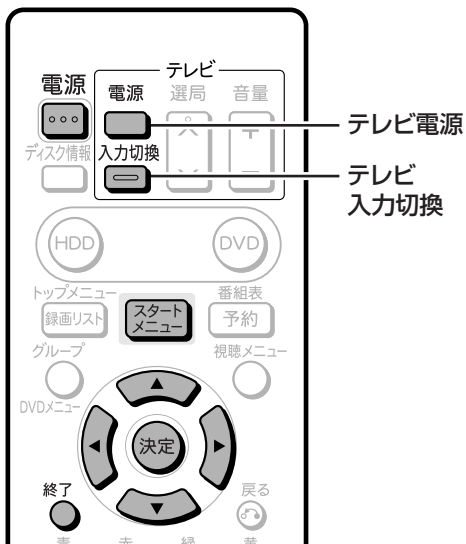
- IPアドレスは、データのやりとりに使われる、3桁の数字4組で表された番号です。
  「プライマリ」:1番目の番号
  「セカンダリ」:2番目の番号

操作開始

1

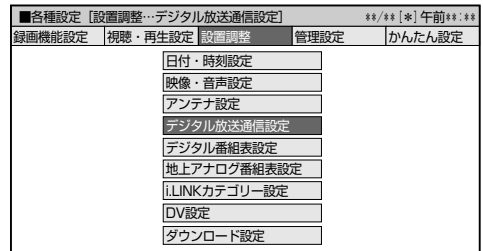
① スタートメニュー を押す

② で「各種設定」を選び、決定を押す

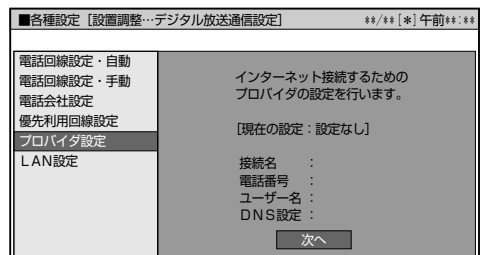
2

① ◀▶ で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼ で「デジタル放送通信設定」を選び、決定を押す

● 接続名と電話番号を設定する

3

① ▲▼ で「プロバイダ設定」を選び、決定を押す

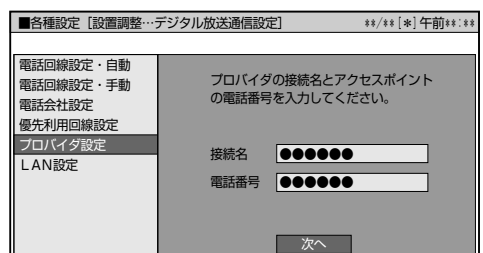
② 「次へ」で決定を押す

4

① 決定を押して文字入力画面を表示し、接続名を入力する

- 通常は、契約しているプロバイダの事業者名を入力します。（お好みの名前を入力してください。）
- カーソルが「電話番号」の欄に移動します。

② 決定を押して文字入力画面を表示し、アクセスポイントの電話番号を入力する

- 契約しているプロバイダの電話番号を入力します。電話番号は間違えないようによくお確かめのうえ、入力してください。

③ 「次へ」で決定を押す

次ページの手順5へつづく

ユーザー名とパスワードを設定する

5

① 決定 を押して文字入力画面を表示し、ユーザー名を入力する
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
- カーソルが「パスワード」の欄に移動します。

② 決定 を押して文字入力画面を表示し、パスワードを入力する
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
- カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。

③ 決定 を押して文字入力画面を表示し、同じパスワードをもう一度入力する

④ 「次へ」で 決定 を押す

DNSのIPアドレスを設定する

6

◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」を選んだ場合
- 「次へ」で 決定 を押し、手順**8**に進みます。

「しない」を選んだ場合
- プロバイダと契約した際に提供されたDNSのIPアドレスを入力します。手順**7**に進みます。

7

① 決定 を押し、文字入力画面を表示する

② DNSの「プライマリ」のIPアドレスを文字入力画面で入力する
- ①、②を繰り返し、各入力欄に3桁の数字を入力します。

③ プライマリと同様に、DNSの「セカンダリ」のIPアドレスを文字入力画面で入力する

④ 「次へ」で 決定 を押す

詳細な設定をする

- 手順**9**では、通信速度を向上させるか、させないかの設定をします。契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は「しない」に設定してください。
- 手順**10**では、一定時間無通信だった場合に回線を切断するまでの時間を設定します。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

8

◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」 ☞ 手順**9**へ
「しない」 ☞ 手順**11**へ

9

① ◀▶ でヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定 を押す

② ◀▶ でソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定 を押す

③ 「次へ」で 決定 を押す

10

◀▶ で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定 を押す

11

「完了」で 決定 を押す

12

終了 を押し、通常画面に戻す

双方向通信の設定をしよう(LAN)

優先的に使う回線を選ぶ

● 双方向通信を行うとき、電話回線、LANのどちらを優先して使うかを設定します。

重要

- LANを優先にしても、有料放送の受信情報をやりとりする場合や、LANで通信できない双方向番組に参加するときは、電話回線で接続されます。
- LANを優先にしたときは、LANの接続と設定をしてください。(**107**～**110**ページ)

操作開始

1

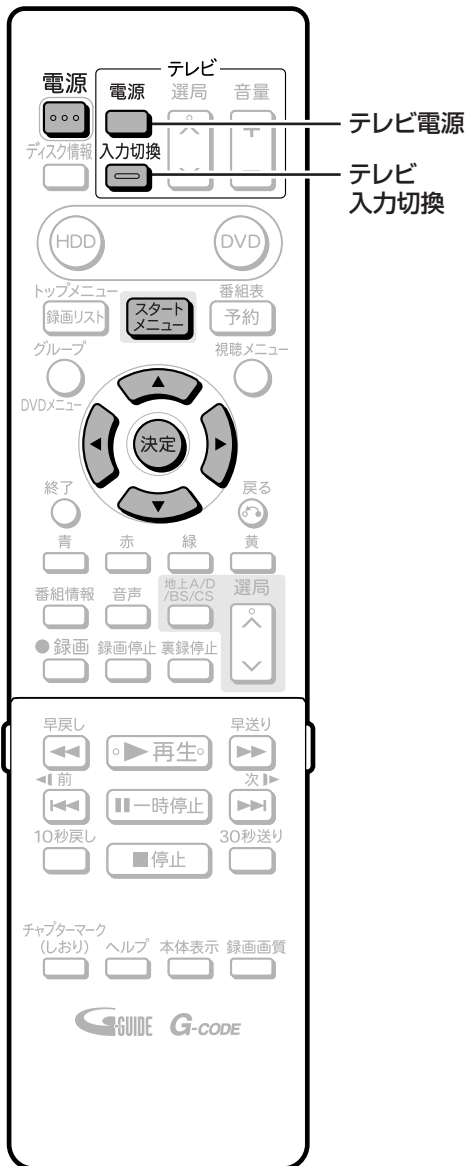
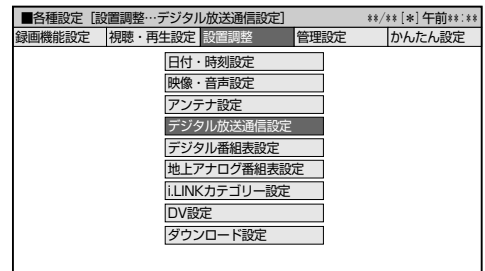
① [スタートメニュー] を押す

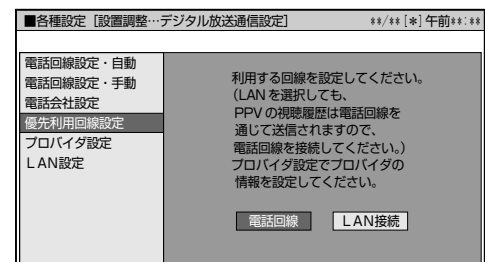
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、[決定]を押す

2

① ◀▶で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼で「デジタル放送通信設定」を選び、[決定]を押す

3

① ▲▼で「優先利用回線設定」を選び、[決定]を押す

② ◀▶で「電話回線」または「LAN接続」を選び、[決定]を押す

- どちらを選んでも、電話回線の接続と設定は必要です。次の設定をしてください。
  - 電話回線の接続(**95**ページ)
  - 電話回線設定(**96**ページ)
  - プロバイダ設定(**104**ページ)
- 「LAN接続」を選んだ場合は、続けて次の設定をしてください。
  - LANの接続(**107**ページ)
  - LAN設定(**108**ページ)

LANに接続する

はじめに

- プロバイダの提供するブロードバンドサービスなどを利用すれば、電話回線を使う場合よりも通信速度が向上するので、双方向サービスがさらに快適に楽しめます。
  この場合、LAN※接続とLANの設定が必要となります。（プロバイダとの契約も必要です。また、サービス内容の詳しい情報は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。）
- パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、下記の接続機器などが必要です。また、回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。

※ LAN（Local Area Network)…デジタル放送の双方向通信。

LAN 接続のしかた

（ADSLでの接続の一例です）

- ADSLなど、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、放送事業者から提供されるデータ放送によっては電話回線で通信が行われることがあります。必ず電話回線端子にも接続してください。

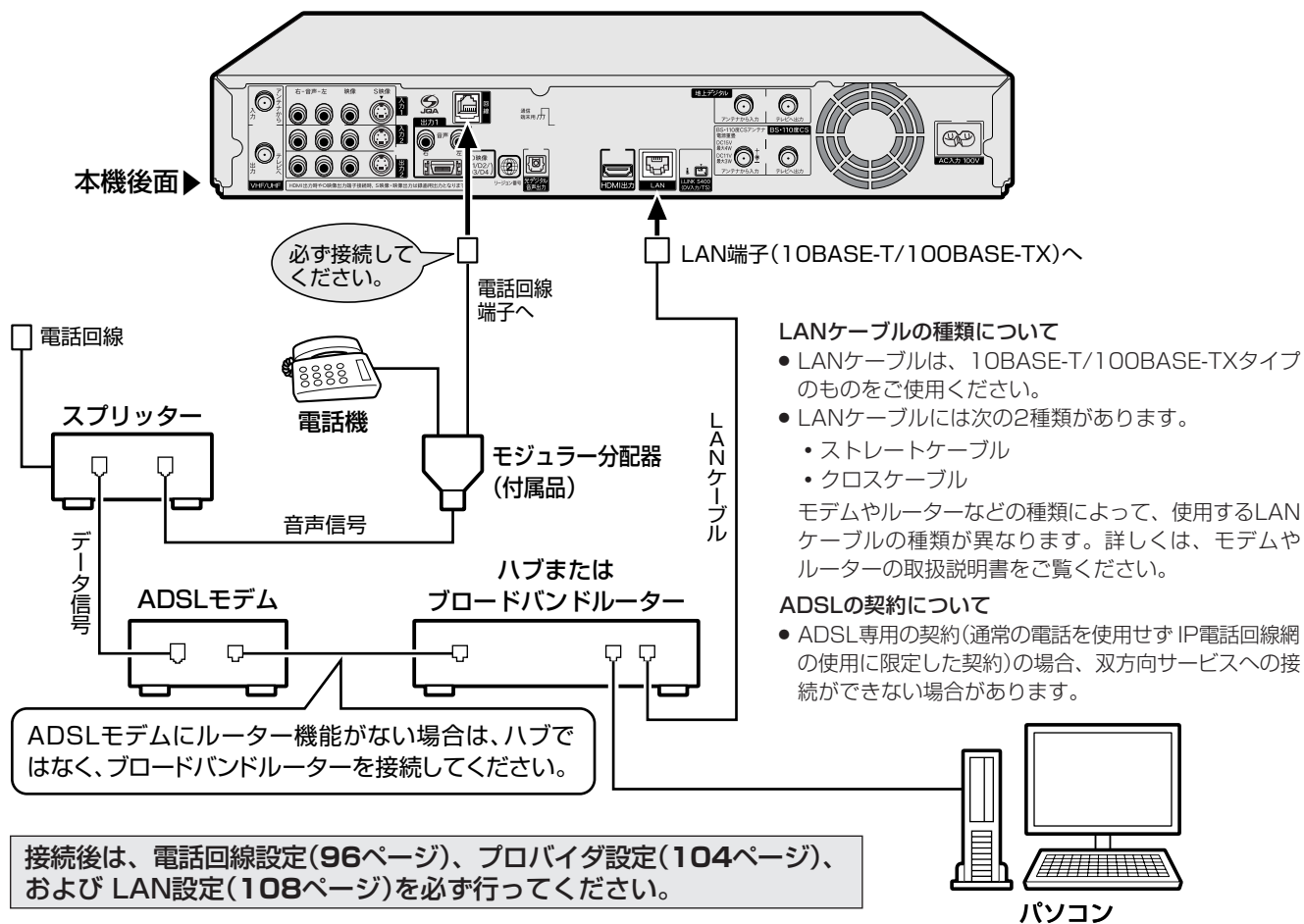
LANケーブルの種類について

- LANケーブルは、10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。
- LANケーブルには次の2種類があります。
  - ストレートケーブル
  - クロスケーブル

  モデムやルーターなどの種類によって、使用するLANケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

ADSLの契約について

- ADSL専用の契約（通常の電話を使用せず IP電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。

接続後は、電話回線設定（**96**ページ）、プロバイダ設定（**104**ページ）、および LAN設定（**108**ページ）を必ず行ってください。

ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に、信号を変換するための機器です。公衆電話回線網で使われるADSL信号と、LANで使われるイーサーネットの信号の変換をします。
ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、事業者を変更した場合や、引っ越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合には、同じADSLモデムがご利用いただけないことがあります。

ハブ
複数の機器をLANに接続するための集線機器です。

ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のネットワークに接続するための中継機器です。

スプリッター
ADSLでは音声信号とデータ信号が同じ回線の中を流れます。これらの信号を分離して電話機とADSLモデムに振り分けるための機器です。

LAN設定を行う

はじめに

- LANに接続してデジタル放送の双方向サービスを利用する場合に必要な設定です。
- この設定では、モデムまたはルーターの情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。
  - IPアドレス
  - ネットマスク
  - ゲートウェイ
  - DNSのIPアドレス

  また、プロバイダの情報も必要です。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。
  - プロキシサーバのIPアドレスとポート番号

- プロバイダとLAN接続の契約をしていない場合は、LAN接続での双方向サービスが楽しめません。

- 文字入力画面については**100**ページをご覧ください。

スタートメニュー画面について

- スタートメニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間に次の操作をしてください。

操作開始

1

① スタートメニュー を押す

② ▲▼◀▶ で「各種設定」を選び、決定 を押す

2

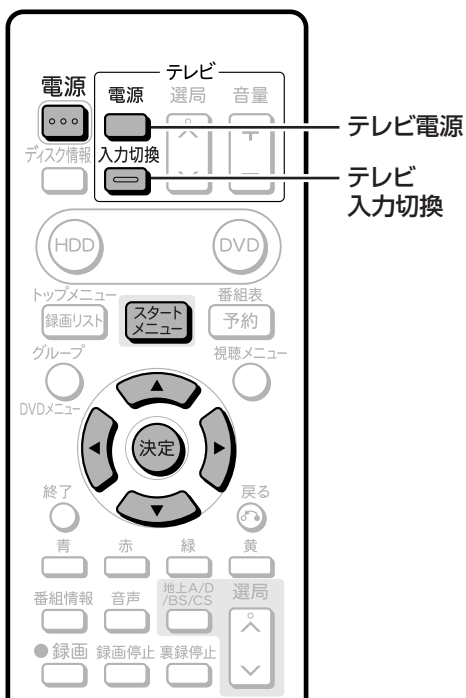
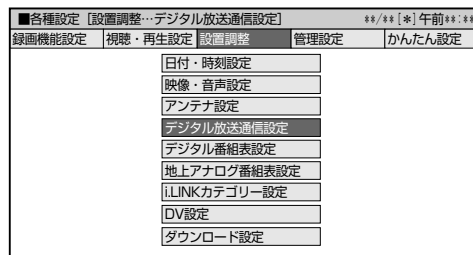
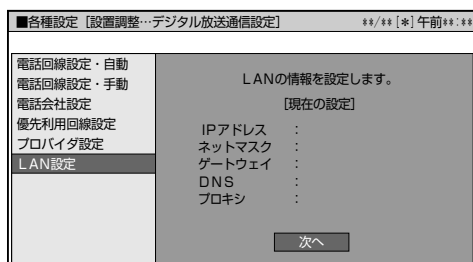
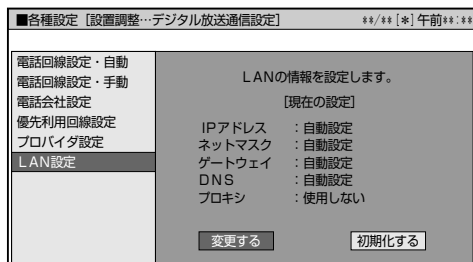
① ◀▶ で「設置調整」を選ぶ

② ▲▼ で「デジタル放送通信設定」を選び、決定 を押す

3

① ▲▼ で「LAN設定」を選び、決定 を押す

② 「次へ」で 決定 を押す

4

◀▶ で「変更する」を選び、決定 を押す

次ページの手順5へつづく

● IPアドレスを設定する

5 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」を選んだ場合
- IPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。)

「しない」を選んだ場合
- 「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、文字入力画面を使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

6 「次へ」で決定を押す

● DNSのIPアドレスを設定する

7 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」を選んだ場合
- DNSのIPアドレスを自動で取得します。(モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。)

「しない」を選んだ場合
- 「プライマリ」と「セカンダリ」のIPアドレスを、文字入力画面を使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

8 「次へ」で決定を押す

● プロキシサーバのアドレスを設定する

9 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」を選んだ場合
- プロバイダから指定されているプロキシサーバの「アドレス（IPアドレス）」と「ポート（番号）」を、文字入力画面を使って入力してください。

「しない」を選んだ場合
- 次の手順に進みます。

10 「次へ」で決定を押す

● 詳細な設定をする

- 通常は「しない」に設定してください。

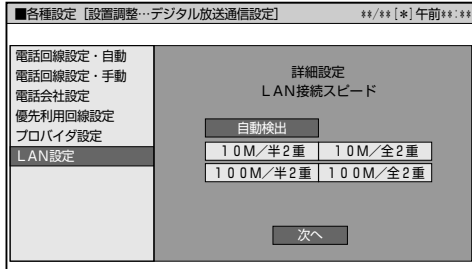
11 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」　☞ 110ページの手順12へ
「しない」　☞ 110ページの手順13へ

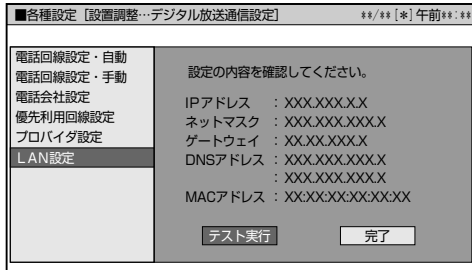
次ページの手順12へつづく

LAN接続スピードを設定する

12 ▲▼◀▶で「自動検出」を選び、決定を押す

- 通常は設定の必要がありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

LANに接続するためのテストをする

- テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。

13 設定内容を確認し、◀▶で「テスト実行」を選び、決定を押す

LAN設定の内容を変更する

操作開始

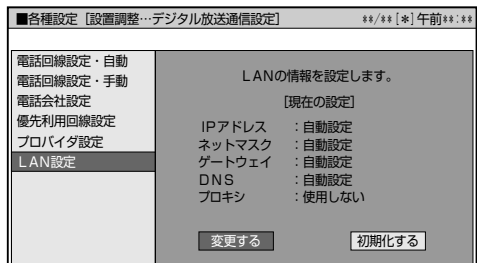
1
① テレビの電源を入れる
② テレビの入力を本機を接続した入力（入力1など）に切り換える

2 リモコンの電源、または本体の電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

3
① スタート メニュー を押す
② ▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

4
① ◀▶で「設置調整」を選ぶ
② ▲▼で「デジタル放送通信設定」を選び、決定を押す

5
① ▲▼で「LAN設定」を選び、決定を押す
② ◀▶で「変更する」を選び、決定を押す

ヒント

- 「初期化する」を選び、決定を押すと、LAN設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

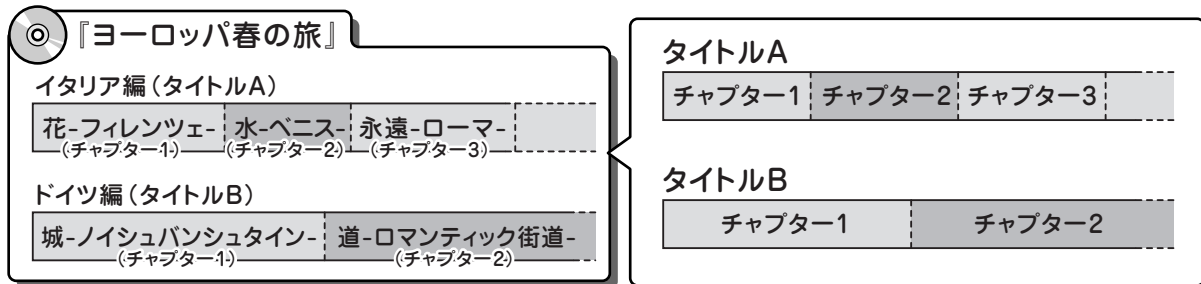
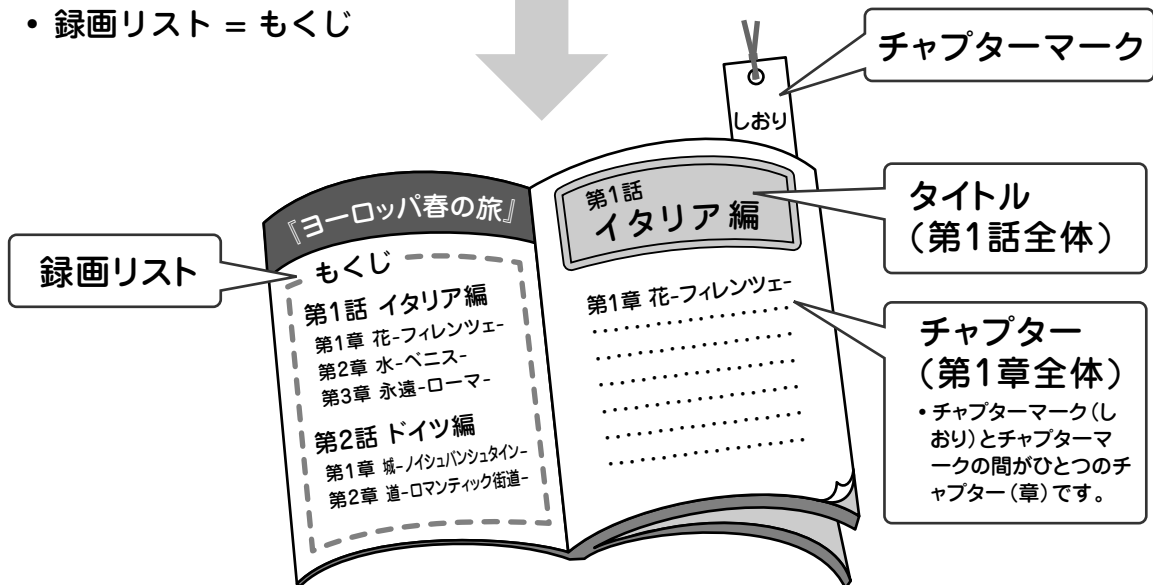
6 109～110ページの手順5～13を行い、再設定する

ディスクについて

HDD(ハードディスク)やDVDに録画した番組の構成について

●録画した内容の構成

HDD(ハードディスク)やDVDディスクに録画した番組は、「タイトル(録画した番組)」という単位でディスクに記録されます。
タイトルは、さらに「チャプター(章)」という単位で構成されています。

- HDD(ハードディスク)、DVD-RW/-Rディスクに録画した場合は、1回の録画が1タイトルとなります。
また、オートチャプター設定(2. 操作編 174ページ)をした場合は、設定した時間ごとにチャプターが区切られます。
- DVDビデオの映画ソフトなどでは、ふつう1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。(ディスクによって構成が異なる場合があります。)
- ビデオCDや音楽用CDでは、ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応していますが、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

これを短編小説に例えると、次のような関係になります。
- **タイトル = 話**
- **チャプター = 章**
- **チャプターマークを付ける = しおりをはさむ**
- **録画リスト = もくじ**

●DVDビデオについて

DVDビデオにはいろいろな機能があり、つぎのようなマークでパッケージに表記されています。

音声トラック数	② 1:英　語(オリジナル)ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド 2:日本語(吹　　替)ドルビーデジタル・5.1chサラウンド
画面サイズ	16:9 LB シネマスコープサイズ
リージョン番号	NTSC 日本市場向
収録時間	約166分
字幕	2 1:日本語字幕 2:日本語吹替用字幕

HDD(ハードディスク)について

本体に内蔵されているHDD（ハードディスク）には、ハイビジョン放送をそのままのクオリティで録画できます。HDD（ハードディスク）にはデジタル放送（ハイビジョン放送を含む）の信号をそのままの形式で記録するため、デジタル放送の画質や音質を損なうことなく録画・再生ができます。（HD/SD録画）

録画できる時間

放送	録画可能時間		画質
	DV-ARW22	DV-ARW25	
デジタル放送の**HD**放送（ハイビジョン放送）	約**22**時間**10**分	約**44**時間**50**分	ハイビジョン画質
デジタル放送の**SD**放送（スタンダード放送）	約**66**時間**50**分	約**134**時間**50**分	スタンダード画質
アナログ放送（XPモードのとき）	約**60**時間**20**分	約**121**時間**40**分	高画質

※ 録画画質や、録画する映像によって、録画できる時間は変わります。

録画画質と録画時間 → 2. 操作編 **50**ページ

取り扱い上のご注意

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

- HDD（ハードディスク）が故障する
- HDD（ハードディスク）に録画した内容が損なわれる
- 動作が中断する
- ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

次のような場所には置かないでください。

- 本体後面の冷却用ファンや通風口をふさぐような狭いところ
- 本体前面の扉が開けられないようなところ
- 傾いたところ（水平に置いてください）
- 振動の激しいところ（振動や衝撃は与えないでください）
- 湿度の高いところ
- 温度差の激しいところ
  温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。本機の内部につゆつきが起こったままお使いになると、HDD（ハードディスク）に傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時10℃以下に保つことをおすすめします。

電源が入っているときは次の点にご注意ください。

- 電源プラグをコンセントから抜かない
- 本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
- 本機を移動させない
  本機を移動させるときは、必ず電源を切り、待機ランプが赤点灯になった後に電源プラグをコンセントから抜いてください。

エラーメッセージが表示されたら

- 「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDD（ハードディスク）が故障していることがあります。
  HDD（ハードディスク）が故障した場合、ご自身でHDD（ハードディスク）を交換することはできません。
  HDD（ハードディスク）が故障しても再生が可能であれば、録画内容をDVD-RW/-Rディスクに保存してください。その上で、お買いあげの販売店、またはもよりの「シャープ修理相談センター」（2. 操作編 **207**ページ）にご連絡ください。
  ※ 本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。
  ※ 録画した内容の修復はできません。
- エラーメッセージが表示されたとき、症状によってはHDD（ハードディスク）を「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては「初期化をする」（2. 操作編 **169**ページ）をご覧ください。
  ※ **初期化をすると、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前にDVD-RW/-Rディスクに保存してから初期化をしてください。**

停電になったら

- 録画中、または録画予約中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
- 再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

大切な録画内容は

- HDD（ハードディスク）が故障すると、HDD（ハードディスク）に録画した内容が失われることがあります。大切な内容は、DVD-RW/-Rディスクに保存しておくことをおすすめします。

本機ではHDDの容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

HDDの故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機で使えるディスクについて

1 本機で録画・再生できるディスク

ディスクの種類 ／ ディスクの特長		録画と再生ができるディスク（必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをお使いください。）							
		DVD-RW				DVD-R			
録画フォーマット		VRフォーマット		ビデオフォーマット		VRフォーマット		ビデオフォーマット	
ディスク盤の大きさ	12cm	○		○		○		○	
	8cm※1	再生のみ可能		再生のみ可能		再生のみ可能		再生のみ可能	
繰り返し録画		○		○※2		×		×	
追加録画		○		○※2		○※3		○※3	
ディスクのバージョン		Ver.1.0 Ver.1.1	CPRM対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2× Ver.1.2/4× Ver.1.2/6×	Ver.1.1	CPRM対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2× Ver.1.2/4× Ver.1.2/6×	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	CPRM対応 Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×	Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8×	CPRM対応 Ver.2.0 Ver.2.0/4× Ver.2.0/8× Ver.2.1/4× Ver.2.1/8× Ver.2.1/16×
デジタル放送をDVDに録画する場合	録画可能	×	○	×		×	○	×	
	1回だけ録画可能	×	○	×		×	○	×	
	録画禁止	×	×	×		×	×	×	
デジタル放送をHDDに録画し、DVDにダビングする場合	録画可能	○コピー	○コピー	○コピー		○コピー	○コピー	○コピー	
	1回だけ録画可能	×	○移動（ムーブ）	×		×	○移動（ムーブ）	×	
	録画禁止	×	×	×		×	×	×	
新品のディスクを使うとき		VRフォーマットで初期化が必要です。		ビデオフォーマットで初期化が必要です。		VRフォーマットで初期化が必要です。※4		初期化の必要はありません。	
再初期化		○		○		×		×	
プレイリスト作成		○		×		○		×	
本機で録画した内容を他の機器で再生する		DVD-RW対応DVDプレーヤーでのみ再生ができます。※5		本機で録画後にファイナライズ処理をすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。		DVD-R（VRフォーマット）対応機器でのみ再生ができます。※6		本機で録画後にファイナライズ処理をすることで、他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。	

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS規格に合格したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※1 ● DVD 8cm盤ディスクは、本機での録画は行えません。
※2 ● ファイナライズ処理をすると、録画ができなくなります。（ファイナライズ解除をすると、再び録画ができるようになります。）
※3 ● ディスクに空き容量がある限り、録画ができます。ただし、ファイナライズ処理をすると以降の録画ができなくなります。（ファイナライズ解除はできません。）
※4 ● VRフォーマットで初期化せずに録画をすると、ビデオフォーマットで録画されます。（デジタル放送は録画できません。）
※5 ● ファイナライズ処理が必要な場合もあります。
● DVD-RW対応のDVDプレーヤーには、下記の表示が付いています。

RW COMPATIBLE　これは、DVDレコーダーでVR（ビデオレコーディング）フォーマット記録されたDVD-RWが再生できる機能を示しています。

● DVD-RW（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。
● DVDプレーヤーによっては再生できないものもあります。

※6 ● DVD-RをVRフォーマットで初期化して録画したディスクは、DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生できます。DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーでも再生できないときはファイナライズをしてください。DVD-R（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組はCPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）

移動（ムーブ）：HDDに録画した「1回だけ録画可能」の番組をDVDへダビングする場合は、移動（HDDの録画内容は消去）となります。（DVDに録画した「1回だけ録画可能」の番組は、HDDへダビングできません。）

DVD-R DL（2層）ディスクについて

- 本機の場合、DVD-R DL（2層）ディスクはビデオフォーマットでのみご使用いただけます。（VRフォーマットではご使用になれません。）
- 本機以外で録画したDVD-R DL（2層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 本機以外で録画したディスクは、ファイナライズされていなくても本機での追加録画は行えません。

ファイナライズ後のディスクについて

DVD-RW（VRフォーマット）をファイナライズしても… ➡	**録画が行えます。**
DVD-RW（ビデオフォーマット）または**DVD-R**をファイナライズすると… ➡	**再生専用のディスク**になります。（録画は行えません。）

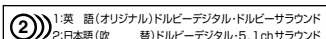
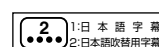
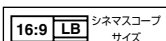
2 再生できるディスク

再生できる条件 / ディスクの種類		ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
DVD VIDEO DVDビデオ	リージョン番号 ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 / 8cm盤	ビデオフォーマット	音声＋映像（動画）
DVD-RW / DVD-R		12cm盤 / 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD+RW DVD+R		12cm盤 / 8cm盤	ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク）	音声＋映像（動画）
DVD-RAM ［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7/9.4 GB Ver. 2.0	12cm盤 / 8cm盤	VRフォーマット	音声＋映像（動画）
VIDEO CD / COMPACT disc DIGITAL VIDEO ビデオCD		12cm盤 / 8cm盤	ビデオCDフォーマット	音声＋映像（動画）
COMPACT disc DIGITAL AUDIO 音楽用CD		12cm盤 / 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / ReWritable CD-R CD-RW		12cm盤 / 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
			ビデオCDフォーマット	音声＋映像（動画）
			JPEG※	静止画（JPEGファイル）

※ 本機で再生できるCD-R/-RWのJPEGファイルは、「DCF」準拠のファイルです。

DVDビデオについて

● DVDビデオにはいろいろな機能があり、つぎのようなマークでパッケージに表記されています。

音声トラック数	2 1:英　語（オリジナル）ドルビーデジタル・ドルビーサラウンド 2:日本語（吹　　替）ドルビーデジタル・5.1chサラウンド	字幕	2 1:日本語字幕 2:日本語吹替用字幕
画面サイズ	16:9 LB シネマスコープサイズ	リージョン番号	2 NTSC 日本市場向
収録時間	約166分		

次ページへつづく ▶▶▶

本機で使用できないディスク

●録画・再生できないディスク

■ 次のディスクは、本機で録画・再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォトCD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVDオーディオ、DVD-RW（JPEGファイル）、BD（ブルーレイディスク）、BD-ROMなど

その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

●再生できないディスク

■ 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

DVDビデオ	● リージョン番号「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） ● PAL方式、SECAM方式のディスク（海外で製造されたディスク） ● 無許諾のディスク（海賊版のディスク） ● 業務用のディスク

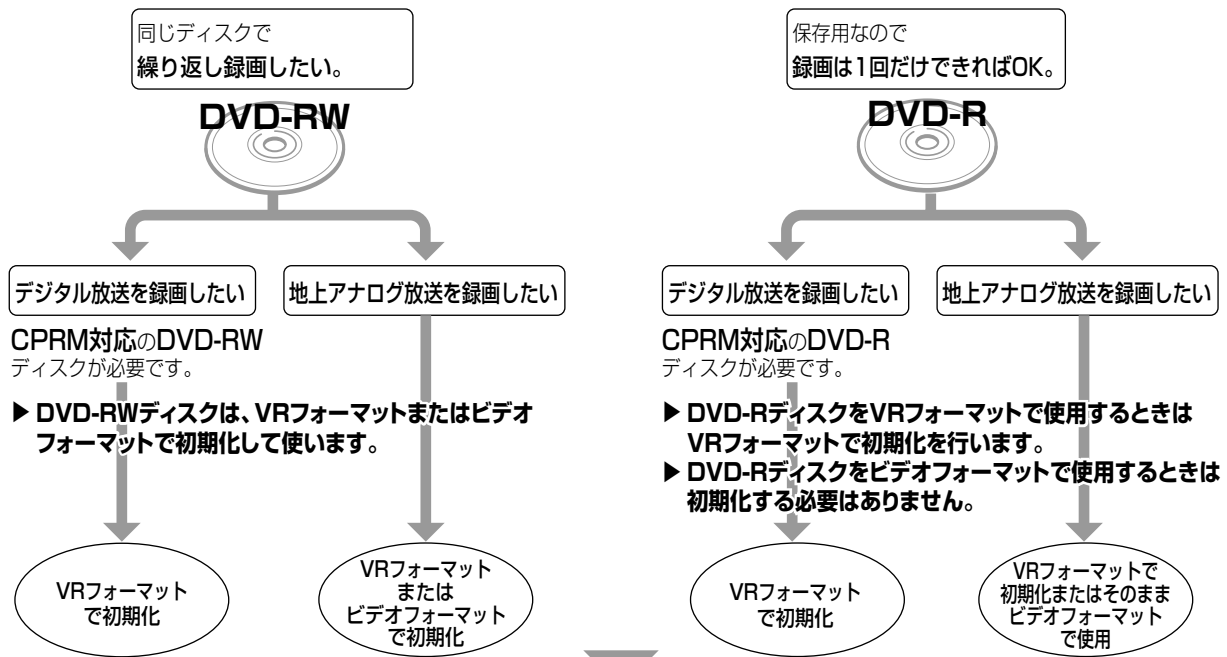
DVD-RW DVD+RW DVD-RAM DVD-R DVD+R	● データが記録されていないディスク ● 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 ● 他機でビデオフォーマット録画して、ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** ● 本機以外で録画したDVD-R（VRフォーマット）ディスク ● 本機以外で録画したDVD-R DL（2層）ディスク ● DVD+R DL（2層）ディスク

ビデオCD CD-R CD-RW	● データが記録されていないディスク ● ファイナライズされていないディスク ● ビデオCD/音楽CDフォーマット以外のフォーマットで記録されたディスクや、JPEGファイル以外（MP3ファイル形式など）のデータが記録されたディスク ● 音楽や映画などと静止画（JPEGファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEGファイル）しか再生することができません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 ● ディスクの記録状態/ディスク自体の状態によっては、再生できません。 ● ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。

音楽用CD	● 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入ったCDは再生できない場合があります。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。**

DVDディスクについて

ディスクの種類とフォーマットについて

● DVD-RW/-Rディスクとフォーマットの種類を、お使いになる目的に合わせてお選びください。

VRフォーマットとビデオフォーマットについて

VRフォーマットのディスクで録画

シーンの消去など、
録画後に編集ができます。

二重音声放送の二ヶ国語放送で、
主音声と副音声の両方が記録できます。

ビデオフォーマットのディスクで録画

DVD-RW未対応のDVDプレーヤーなど、
他の機器でも再生できます。

※ 他のDVDプレーヤーでも再生できるDVDを作りたい場合は、ファイナライズの操作が必要です。（一部再生できないプレーヤーもあります。）
※ 本機の場合、DVD-R DL（2層）ディスクはビデオフォーマットでのみご使用いただけます。

※ DVD-R DL（2層）ディスクは、2005年2月にDVDフォーラムで承認された新しい規格です。そのため、機器によっては、ファイナライズを行ったディスクでも再生できない場合があります。

推奨ディスク

● 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
● ディスクによっては本機の性能を十分に発揮できない場合があります。
本機との相性が確認されている次のメーカー製ディスクの使用をおすすめします。

DVD-RW（Ver.1.1/1×-2×、Ver.1.2/2×-6×）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.1.1/2×	日本ビクター（JVC）	三菱化学メディア	TDK
Ver.1.2/4×	日本ビクター（JVC）	三菱化学メディア	

DVD-R（for General Ver.2.0/1×-8×、Ver.2.1/4×-16×）に準拠したディスク

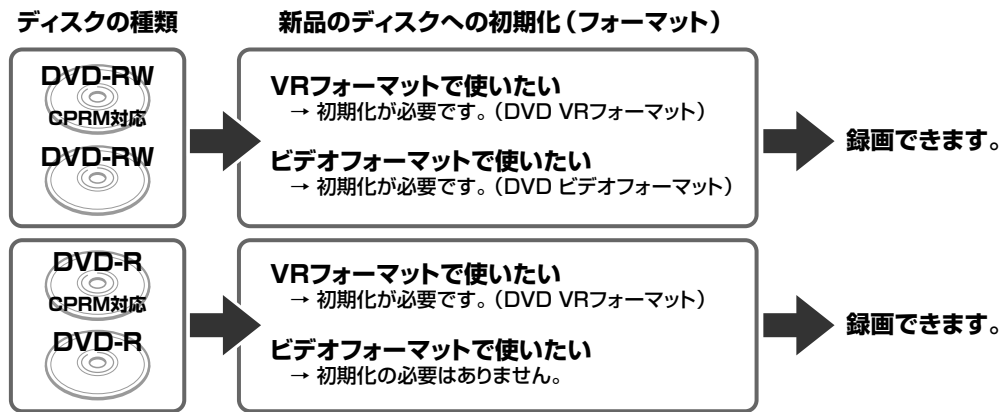
ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.2.0/4×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.0/8×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	
Ver.2.1/4×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.1/8×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	
Ver.2.1/16×	太陽誘電（That's）		

お知らせ

- 上記推奨メーカー製のディスクにつきましては、実際にテストを行い、動作の確認ができたものですが、ディスクごとの相性に対して動作を保証するものではありません。
- デジタル放送などのコピー制御信号の含まれた番組を録画するときは、CPRM対応のDVD-RW/-RディスクをVRフォーマットで使用してください。

次ページへつづく ▶▶▶

新品のディスクを使う前に（初期化）

● 新品のディスクを使うときは、録画をする前に「初期化」という操作が必要です。

DVD-RWを使うとき

- 初めに「初期化」という操作を行い、録画をするための準備をします。初期化をするときに、録画フォーマット（VRフォーマットまたはビデオフォーマット）を選びます。
  初期化のしかたについては、2. 操作編 169ページをご覧ください。
- 本機をお買いあげの時点では、新品のDVD-RWをセットすると自動的にVRフォーマットで初期化されます。
- DVD-RWをおもにビデオフォーマットで使いたいときは、セットしたDVD-RWを自動的にビデオフォーマットで初期化するように設定できます。設定のしかたは、「ＤＶＤ自動初期化設定」（2. 操作編 174ページ）をご覧ください。
- 録画したディスクを新品同様に使いたいときは、もう一度初期化します。

※初期化すると、録画した内容はすべて消去されます。

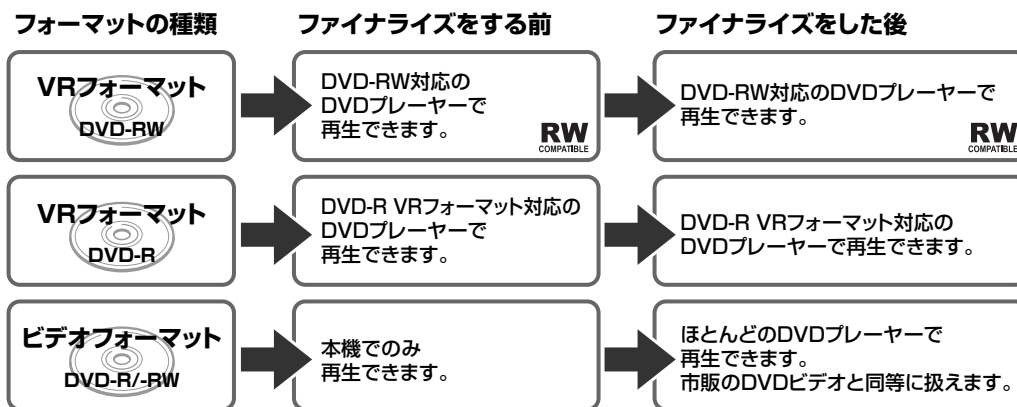
DVD-Rを使うとき

- 新品のDVD-Rをビデオフォーマットで使うときは、「初期化」の操作は必要ありません。販売時からビデオフォーマットで初期化されています。

DVD-R VRフォーマットについて

- 新品のDVD-Rは、VRフォーマットで初期化できます。
- DVD-RをVRフォーマットで初期化できるのは、未使用の状態で、1回だけです。（ビデオフォーマットに初期化し直すことはできません。）
- 本機の場合、DVD-R DL（2層）ディスクは、ビデオフォーマットでのみご使用いただけます。
- 編集で不用なタイトルやチャプターを削除できますが、削除した分のデータ容量は復帰しません。

他のDVDプレーヤーで再生するときは（ファイナライズ）

● 録画した後に「ファイナライズ」という操作をすると、他のDVDプレーヤーでも再生できる（互換性のある）ディスクができあがります。

- ファイナライズのしかたについては2. 操作編 170ページをご覧ください。

DVD-RWに録画したとき

- DVD-RWにビデオフォーマットで録画したときは、「ファイナライズ」という操作を行います。ファイナライズをすることによって、本機で録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生できるようになります。（再生できない機器もあります。）
- DVD-RWにVRフォーマットで録画したときは、DVD-RW対応のDVDプレーヤーで再生してください。ファイナライズをしなくても再生できます。DVD-RW対応のDVDプレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
  DVD-RW（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組は、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。

DVD-Rに録画したとき

- DVD-Rを初期化しないで録画したディスクは、ファイナライズをすると、市販のDVDビデオと同じように扱うことができ、ほとんどのDVDプレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）
- DVD-RをVRフォーマットで初期化して録画したディスクは、DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーで再生できます。DVD-R VRフォーマット対応のDVDプレーヤーでも再生できないときはファイナライズをしてください。DVD-R（CPRM対応）に録画した「1回だけ録画可能」の番組はCPRM対応のDVDプレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）

本機の録画フォーマットとおもにできること

録画フォーマットの種類

●本機では、以下の4つのフォーマットで録画できます。

① HDD(ハードディスク)にデジタル信号をそのまま記録する「HD／SD録画」
デジタル放送から送られてくる信号をそのままに録画する方式です。
ハイビジョン画質や5.1ch音声をそのまま録画でき、i.LINK機器へ録画したタイトルをダビングできます。
ただし、プレイリスト編集ができないなど、編集機能に制限があります。
また、録画画質は、デジタル放送によりHDまたはSDに固定されます。

② HDD(ハードディスク)に録画画質を選んで記録する「VR録画」
任意の録画画質(XP、SP、LP、EP、MN)で録画することができます。
録画したタイトルは、さまざまな編集ができます。
ただし、ハイビジョン画質や5.1ch音声などデジタル放送をそのままのクオリティで録画することはできません。

③ DVDディスクへの「VRフォーマット録画」
任意の録画画質で録画することができます。
②の録画と基本的には同じ方式ですが、録画したディスクはVRフォーマット対応のDVDプレーヤーでのみ再生できます。
また、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組をDVD-RW/-R(CPRM対応)ディスクに録画することができます。

④ DVDディスクへの「ビデオフォーマット録画」
任意の録画画質で録画することができます。
市販のDVDプレーヤーやDVD-ROMドライブと互換性のある録画方式です。
ただし、編集機能には大きな制限があります。
また、デジタル放送の「1回だけ録画可能」の番組を録画することはできません。

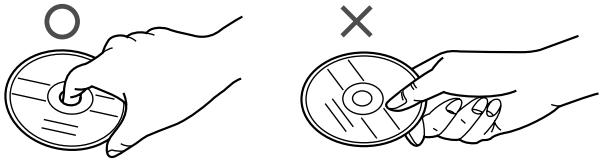
●4つの録画フォーマットでの、おもにできること／できないこと

	HDD(ハードディスク)		DVDディスク	
	① HD/SD録画	② VR録画	③ VRフォーマットで録画	④ ビデオフォーマットで録画
デジタル放送録画	○	○	○※1	×
裏録予約	○※2	×	×	×
アナログ放送録画	×	○	○	○※6
ハイビジョン画質での録画	○	×	×	×
デジタル放送5.1ch音声記録	○	×	×	×
字幕記録	○	△※7	△※7	△※7
連動データ記録	○	×	×	×
デジタルラジオ記録	○	×	×	×
ステレオニヶ国語音声記録	○	×	×	×
モノラルニヶ国語音声記録	○	○※3	○	×
追いかけ再生	○	○※4	×	×
同時録再	○	○※4	○※4	○
i.LINK(TS)出力	○	×	×	×
デジタルスーパーピクチャー	×	○	○	○
ドルビーバーチャルサラウンド	×	○	○	○
任意のチャプター設定	○	○	○	×
シーン消去	○	○	○	×
チャプター消去	○	○	○	×
プレイリスト編集	×	○	○	×
フレーム単位編集	○	○※3	○	×
高速ダビング	×	○※5	○※8	○※6
プログレッシブ再生(525i→525p)	×	○	○	○

※1 DVD-RW/-R(CPRM対応)ディスクでのみ可能。
※2 裏録予約は、デジタル放送(地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送)のみHDD(ハードディスク)に録画できる機能です。裏録の録画画質は「HD/SD」に固定されます。
※3 高速ダビング優先「しない」に設定しているとき。
※4 デジタル放送録画時は不可。
※5 ビデオフォーマットのDVDへダビングするときは、高速ダビング優先を「する」に設定しているときのみ高速ダビングが可能。
※6 ファイナライズ後は働きません。
※7 字幕が映像として送られてきている場合のみ可能です。(字幕の入／切の切換ができない映像のみ録画されます。)
※8 ハードディスクに録画画質「HD/SD」で録画した番組は、高速ダビングできません。

使用上のご注意

● ディスク（DVD・CD）の取り扱いはていねいに

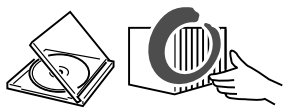
- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

● ディスク（DVD・CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

● ディスク（DVD・CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

● クリーニングディスクは使用しない

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。
  修理は、お買い上げの販売店またはシャープ修理相談センター（2. 操作編 **207**ページ）にご依頼ください。
- 市販されているクリーニングディスクは絶対に使用しないでください。レンズを破損する恐れがあります。

● つゆつきについて

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと　ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには　ディスクを取り出して電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

● HDD（ハードディスク）操作（録画・再生・タイムシフト視聴など）について

- 寒いところ（温度の低い場所）でご使用になる場合、電源を「入」にした後、HDD（ハードディスク）の準備が完了するまでは、放送視聴のみの動作となります。タイムシフト視聴や録画、録画リストの表示、録画番組の再生はできません。HDD（ハードディスク）の準備ができるまでお待ちください。

● 節電について

- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

その他

もくじ　ページ

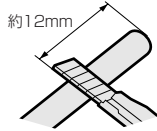
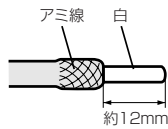
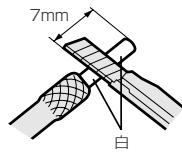
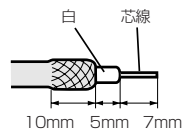
接続に関する補足説明

アンテナとの接続に関する補足説明

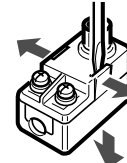
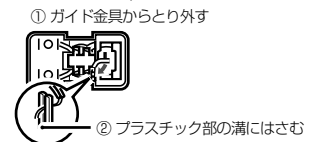
● アンテナ線がF型コネクターのついていない同軸ケーブルのときは、先端を加工してアンテナ線接続プラグ（別売品または市販品）を取り付けます。

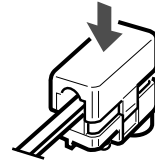
同軸ケーブルの先端加工のしかた

アミ線や芯線の長さは、取り付ける機器の説明書で確認してください。

1 黒い被覆にすじを入れ、切り取る。

2 アミ線を折り返す。

3 芯線に傷が付かないように、白い被覆を切り取る。

4 芯線を出す。

アンテナ線接続プラグの取り付け例

アンテナ線接続プラグ部品番号：QPLGF0129GEZZ　流通コード：003 524 0968

1 ツメを外側にひらき、カバーを外す。

2 線をガイド金具から取り外し、プラスチックにはさむ。

3 同軸ケーブルの先端をガイド金具に巻き付ける。

4 カバーをもとどおりにはめ込む。

テレビとの接続に関する補足説明

■ ここでは本機とテレビを接続したときの補足説明をします。

● 映像が乱れたり雑音が聞こえる場合は

- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。
- 「プログレッシブ出力設定」を「する」に設定しているときは、DVDの再生映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「視聴･再生設定」－「プログレッシブ出力設定」を「しない」に設定し直してください。（2. 操作編 **176**ページ）

● 初めて電源を入れたが、「初期設定」画面が表示されない

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合は、次の操作をしてください。

① スタートメニュー を押したあと、▲▼◀▶で「各種設定」を選び、決定を押す

② ◀▶で「管理設定」を選ぶ

③ ▲▼で「システムリセット」を選び、決定を押す

④ ◀▶で「リセットする」を選び、決定を押す

●システムリセットされ、本機の電源が切れます。

⑤ 再度電源を入れ、「初期設定」画面を表示する

●**49**ページの「初期設定→かんたん設定のながれ」にそって設定を進めてください。

● ケーブルテレビ（CATV）を受信して地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）をご使用になる場合について

- ケーブルテレビ（CATV）を受信しているときは、地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）データが受信できない場合があります。
  ケーブルテレビ（CATV）側で放送局の電波を改変せずに再送信している場合は、地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）が利用できます。ケーブルテレビ（CATV）会社にご確認ください。
- ケーブルテレビ（CATV）局より地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）データも送信されている場合は、次のように操作してください。

  ① お住まいの地域にもっとも近い地域番号を地域番号設定で入力する。
  ② 個別設定で、放送が映るようにチャンネルを設定する。

※ ホームターミナルなどを本機の外部入力端子へ接続して使用する場合は、地上アナログ放送の電子番組表（Gガイド）データは受信できない場合があります。

● 映像が映らないときは

- D−コンポーネント変換ケーブル･音声コードの接続（**35**ページ）をした場合、テレビによってはコンポーネント入力端子の切換え（メニュー設定やスイッチの切換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書にしたがって操作してください。

● テレビのオートワイド機能が働かないとき

- コンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。

外部機器との接続に関する補足説明

■ ここでは本機と外部機器を接続したときの補足説明をします。

●ビデオデッキを接続していて、テレビの映りが悪いときは

● ビデオデッキなどを中継してアンテナ線を接続すると、テレビの映りが悪くなる場合があります。そのときは、市販のブースターをご使用ください。

●ビデオデッキからの映像を正常に録画できないときは

● 市販のビデオソフトなど、コピー防止機能の入ったテープを再生すると、コピー防止機能の働きにより本機では録画（正常な録画）ができません。

●本機に接続したビデオデッキの再生映像が見られないときは

● 本機を使用（再生や録画）しているときは、接続したビデオデッキで再生しているビデオの映像が見られません。接続したビデオデッキからの映像を見るときは、本機の録画や再生を停止してからビデオデッキを接続している外部入力に切り換えてご覧ください。

●ディスクの再生時に音声が正常に聞こえないときは

● オーディオ機器と接続したときは、「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「映像・音声設定」－「DVD音声出力レベル」で設定を「ノーマル」にすることをおすすめします。「シフト」に設定すると、ディスク再生時に音声が正常に聞こえない場合があります。
（2. 操作編 177ページ）

●「デジタル音声出力設定」の各項目の設定について

市販の光デジタルケーブルを使ってオーディオ機器と接続したときは、接続するプロセッサーやアンプ、オーディオ機器の種類に応じて、かんたん設定（**55** ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目	接続する機器			選ぶ内容	設定し直すとき
オーディオ機器	2chオーディオ機器	―――	―――	ステレオオーディオ	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「オーディオ機器との接続」で設定し直します。（**55** ページ） •「各種設定」の「設置調整」－「映像・音声設定」－「デジタル音声出力設定」でも設定し直すことができます。（2. 操作編 **177** ページ）
	5.1ch オーディオ機器	「AAC デコーダー」	内蔵している	「5.1ch オーディオ」－「AAC デコーダー対応」	
			内蔵していない	「5.1ch オーディオ」－「AAC デコーダー非対応」	
		「ドルビーデジタルデコーダー」	内蔵している	「5.1ch オーディオ」－「ドルビーデジタルデコーダー対応」	
			内蔵していない	「5.1ch オーディオ」－「ドルビーデジタルデコーダー非対応」	

正しく設定されていないと、正常な音声が出力されません。

設定に関する補足説明

●テレビとの接続設定について

付属の映像・音声コードまたは市販のS映像コードを使用してテレビと接続したときは、かんたん設定（**52**ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子名		「通常のテレビ」－「映像入力端子」 または 「通常のテレビ」－「S映像入力端子」	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」で設定し直します。（**52～54**ページ）
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	ワイド（16：9）	
	4:3サイズのテレビ	通常（4：3）	

市販のD映像ケーブルを使ってD映像入力端子付きテレビと接続したときは、かんたん設定（**52**ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	D1、D2端子	「通常のテレビ」－ 「D1映像入力端子」※「D2映像入力端子」 （接続したテレビの端子名を選びます。）	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」で設定し直します。（**52～54**ページ） •「各種設定」の「設置調整」－「映像・音声設定」でも設定し直すことができます。（2. 操作編 **177**ページ）
	D3、D4端子	「通常のテレビ／ハイビジョン対応のテレビ」－ ※「D3映像入力端子」※「D4映像入力端子」 （接続したテレビの端子名を選びます。）	
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	ワイド（16：9）	
	4:3サイズのテレビ	通常（4：3）	

※「D2」～「D4」に設定していて「プログレッシブ出力設定」を「する」に設定しているときは、DVDディスクを再生したとき、DVDディスクの再生映像が乱れて見える場合があります。「スタートメニュー」－「各種設定」－「視聴・再生設定」－「プログレッシブ出力設定」を「しない」に設定し直してください。（2. 操作編 **176**ページ）

市販のD－コンポーネント変換ケーブル（RCAピンタイプ）を使ってコンポーネント映像入力端子付きテレビと接続したときは、かんたん設定（**52**ページ）で次の設定を行ってください。

設定する項目		選ぶ内容	設定し直すとき
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	DVD入力用 Y, C_B, C_R端子	「通常のテレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子Y, C_B, C_R」	「スタートメニュー」－「各種設定」－「かんたん設定」－「テレビとの接続」で設定し直します。（**52～54**ページ）
	ハイビジョン対応 Y, P_B, P_R端子 Y, P_B/C_B, P_R/C_R端子	「ハイビジョン対応のテレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子Y, P_B, P_R」 「コンポーネント映像入力端子Y, P_B/C_B, P_R/C_R」	
テレビのタイプ設定	16:9ワイドテレビ	ワイド（16：9）	
	4:3サイズのテレビ	通常（4：3）	

市販のHDMIケーブル（Aタイプ）を使ってHDMI入力端子付きテレビと接続したときの解像度とデジタル音声出力の設定は、スタートメニューの「各種設定」（2. 操作編 **177**ページ）で行います。

設定する項目	選ぶ内容
「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「映像・音声設定」－「HDMI映像出力設定」	「オート」「1125i固定」「750p固定」「525p固定」 ● 通常は「オート」に設定します。
「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「映像・音声設定」－「デジタル音声出力設定」	デジタル放送を視聴するときの音声信号形式 「PCM」「AAC」 DVDを再生するときなどの音声信号形式 「PCM」「ドルビーデジタル」「ドルビーデジタル／DTS」

よくあるお問い合わせ

■ アンテナの接続やチャンネル設定、電子番組表などでよくあるお問い合わせについて説明します。

よくあるお問い合わせ	回答
初期設定画面が表示されて、本機の操作ができない	● 接続後、初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます。 設定を行って設定画面を終了させないと、本機の操作が行えません。
BS アンテナを接続したが、BS 放送が映らない	● BS用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 ● アンテナケーブルは「BS・110度CS放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。 ● 「スタートメニュー」−「各種設定」−「設置調整」−「アンテナ設定」−「電源・受信強度表示」で下記 ①② を行ってください。 ① ご自宅にアンテナを単独で設置された場合は、BS・CS アンテナ電源を「入」に設定してください。（**81** ～**82**ページ） ② アンテナ受信強度が最高レベル（60以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。（**82**ページ）
地上デジタル放送が映らない、映りが悪い	● お使いのアンテナは UHF アンテナですか。 地上デジタル放送を受信するには、UHF アンテナが必要です。 ● 地上デジタル放送を視聴するための準備（地域選択、チャンネル設定など）ができているか、ご確認ください。（**80**・**84**ページ） ● VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 ● トランスモジュレーション方式の地上デジタル放送には対応していません。 ● アンテナケーブルは「VHF/UHF 用アンテナケーブル（付属品または市販品）」をお使いください。 ※状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。
地上アナログ放送が映らない、映りが悪い	● 地上アナログ放送のチャンネル設定ができているか、ご確認ください。（**63**ページ） ● VHF/UHF用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。 ● アンテナケーブルは「VHF/UHF 用アンテナケーブル（付属品または市販品）」をお使いください。 ※状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。
使わないチャンネルをスキップさせたい	● VHF/UHF や地上デジタル放送の個別設定で、チャンネルのスキップを「する」に設定してください。（VHF/UHF 放送：**69**ページ、地上デジタル放送：**90**ページ）
本機のリモコンでテレビの操作もしたい	● リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。（**62**ページ）
本機のリモコンで操作すると、他の DVD 機器（当社製）も動作してしまう	● リモコン番号を変更してください。（**60**ページ）
テレビ画面にスタートメニューが出ない	● テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力 1」など）に切り換えてください。 **D映像出力端子または HDMI 出力端子にケーブルを接続したときは…** ● デジタル放送の受信中は、S映像出力端子や映像出力端子からはスタートメニューや画面表示などの信号が出力されません。スタートメニューや画面表示を表示させたいときは、テレビの入力切換を、D映像出力端子または HDMI 出力端子を接続した外部入力に切り換えてお楽しみください。 ● D 映像出力端子と HDMI 出力端子の両方にケーブルを接続すると、どちらかの端子しか使えません。リモコンふた内の HDMI切換 を押して、出力を切り換えてください。
操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない	● 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。 ● 電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体表示部に「RESET」が表示されるまで本体の電源ボタンを押し続けてください。（※リセットしても、録画したタイトルや予約情報などはそのまま保存されています。ただし、録画途中や保存前の情報は、残らない場合があります。） ● 本体の電源ボタンを押し続けてリセットしても改善されない場合は、電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。 ● 「ディスクを確認しています。完了まで10分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されたときは、表示が消えるまでお待ちください。 ※状況が改善されない場合は、販売店またはシャープ修理相談センター（2. 操作編 **207** ページ）に相談ください。

よくあるお問い合わせ	回答
電子番組表（G ガイド）が表示されない	**電子番組表（G ガイド）は、データを受信しないと表示されません。** ● 時計合わせ（日付・時刻設定）は行いましたか。（**58**ページ） ● かんたん設定または地域番号によるチャンネル設定を行いましたか。（**57**・**64**ページ） ● 電子番組表（G ガイド）のホスト局（TBS 系列の放送局）は正しく設定されていますか。「地上アナログ番組表設定」（2. 操作編 **179**ページ）でホスト局を設定します。 ● 電子番組表（G ガイド）データ受信時刻の 10 分以上前に電源を切りましたか。本機は、電子番組表（G ガイド）データが送信される時刻の 10 分以上前に電源を切っておかないと番組表データが受信できません。 ● 電子番組表（G ガイド）データの受信については **77**ページをご覧ください。
地上デジタル放送の番組表が表示されない	● 地上A/D /BS/CS を何回か押して「地上デジタル放送」を選び、決定を押したあと、「スタートメニュー」－「各種設定」－「設置調整」－「デジタル番組表設定」－「番組表取得設定」で、「する」に設定してください。その後、電源を切ると自動的に番組表を取得します。（放送を受信すると、その放送局の番組表は表示されます。）

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

デジタルハイビジョンレコーダー DV-ARW22／DV-ARW25

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ 省スペース／低消費電力

ハードディスク、DVDドライブの2つのドライブを搭載しつつ、幅430mm×高さ68mm×奥行き335mmのコンパクト設計。（突起部含まず。）
また、消費電力も動作時47W（DV-ARW22）、55W（DV-ARW25）、待機時0.9W（BS・110度CSデジタルアンテナ電源供給切時・本体時計表示切時）の業界トップクラスの低消費電力を実現しました。

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

◎自動的に電源を切る設定を

① 当機では、予約録画実行中に録画開始地点から再生できる「追いかけ再生」をしたり、別のタイトルを再生したりといった同時操作が可能です。
予約実行中にこのような操作を行ったときは、同時動作終了後に「電源」ボタンを1回押すと、予約録画実行後に自動的に電源を切ることができますので、効率的な省エネになります。
② 各種設定内の「無操作電源オフ設定」により、操作をしない状態が約3時間続くと自動的に電源が切れるように設定できます。

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター
0120 - 078 - 178

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

	TEL	FAX
東日本相談室	TEL 043 - 351 - 1821	FAX 043 - 299 - 8280
西日本相談室	TEL 06 - 6792 - 1582	FAX 06 - 6792 - 5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時 （年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・
2. 操作編 207ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ
http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINSJA105WJZZ
06P04-JA-KK